滿洲日報
二月四日發行
(昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可)

尊氏問題を追究して内閣倒壞に躍進
衆議院の冷靜態度に反し貴院の一部に强硬論

【東京特電四日發】中島商相の足利尊氏論問題については三日衆議院豫算總會において商相の陳謝的釋明があつたが貴族院の一部はなほこれを追究してその責任を明確ならしめると敦圍いてゐる、衆議院の大勢は商相が陳謝した以上もはや追究することは大人氣ないとなし、殊に仔細にこれを觀れば一片の歷史論であつて尊氏の行を稱揚したものでないから、この際かゝる問題でいきりたて右翼の愛國業者に利用せしめては不得策であると冷靜な態度をとつてゐるが、貴族院の一部は例の綱紀問題で適確な材料を握り得ない上はこの問題で飽くまで突き進んで内閣瓦解にまで至らしめやうと意氣込んでゐるからこの論戰は何ほ暫く續くものと觀られる

林陸相議會終了後軍制改革着手
新たに全般的審議

【東京四日發國通】林陸相は三日衆議院豫算總會で政友の陸山貞吉氏から現在の常備兵力は近き將來改正する意思ありやとの質問に對し軍制の一般に亘つて將來改正を必要とする旨の答辯を與へ陸軍の態度を明らかにした、而して陸軍では曩に決定した軍制改革案は滿洲事件突發のためその實施を一時中止したがその後改善費によつて在滿兵力の增加、資材整備等一部の改革は實現をみたが滿洲國の獨立及日滿議定書の締約に基き滿洲國の國防に關する協同防衞など新情勢に對應する我陸軍の全般的改革を必要とするため近く林陸相から右の主旨を奏上して曩に決定した軍制改革案を一時打切り改めて常備兵力の全般に亘つて審議し改革を行ふ方針であつてその委員會は議會終了後五月頃設置する意向である

多門中將重態

【東京四日發國通】滿洲事變に勇名を馳せた多門二郎中將は昨年秋豫備役編入と共に仙臺より上京澁谷の自宅で宿痾の胃潰瘍で靜養中であつたが去月二十六日吐血したので同二十八日赤十字病院内科に入院、療養中だが可成の重態で家人は憂慮してゐる

事變論功行賞三月第一回發表
兩將軍には功一級

【東京四日發國通】陸軍では滿洲事件論功行賞は行賞に伴ふ一時賜金の公債發行等が議會の協贊を經れば直に逐次上奏御裁可を仰ぎ發令する方針で連日功績審査委員會を開いて審査を進め既に第二師團、第九師團、福岡混成第二十四旅團に關する審査を終つて目下善通寺第十一師團關係者の功績審査を行つてゐるが、三月中若しくは四月初めには第二師團關係者の行賞を第一回論功行賞として發令されることになつてゐる、何分同師團は事變勃發當時駐滿師團として數十倍の兵匪賊を掃討し全滿洲の曠野に轉戰しただけにその功績最も顯著であるので當時の師團長多門中將は前關東軍司令官本庄大將と共に事變第一の殊勳者として金鵄勳章功一級並に旭日大綬章を授けられる模樣である

ス總領事施代表を訪問

【ハルビン三日發國通】ソ聯總領事スラウツスキー氏は我北滿外交特派員施履本氏を訪問

一、北鐵ソ聯職員六名の釋放
一、北鐵運賃引下民衆運動
一、鋼山號警乘員白系露人十一名の釋放問題
一、北鐵管理局同理事會の窓硝子破壞事件

等につき約三時間半に亘つて會談する所あつたが施履本氏よりソ聯側の急所をつかれて辭去した

赤軍の逆宣傳

【ハルビン三日發國通】去る一月三日の深夜月光と雪明りを便りに外蒙桑貝子の赤色騎兵團より脫走……

關東軍參謀長に建川中將新任か
小磯中將は三月轉出

【東京特電四日發】關東軍參謀長小磯中將は三月の異動で師團長轉出に內定しその人選は最も苦心されてゐるが結局曩にジユネーヴ軍縮全權となつた現留守第○師團長建川中將を起用するものと部内の觀測は一致してゐる

【東京特電四日發】三月行はれる豫定の陸軍大異動は陸相就任後日淺いのと議會の關係で中央關係の分はこれを後廻しとなし八月の異動と二段に分けて人事の刷新を行ふ模樣である、卽ち師團長から二三勇退者があり、この跡へ秦憲兵司令官、小磯關東軍參謀長、支那軍司令官らが廻る豫定だと

議會の滿洲問題論戰(2)
治安工作も一段落根本方策樹立の時
總動員的機關が必要

一月二十九日衆議院豫算總會において委員加藤久米四郎氏(政友)と關係各大臣との間に行はれた滿洲關係諸問題に關する質問應答

加藤委員 滿洲事件が突發致しましてから、及びその以前から致しまして、我國の對支政策、特に對滿政策は、申すも畏きことでありますが、明治大帝の御意圖と拜承致して居ります、之を國是と致しまして、今日まで滿蒙政策が着々と進行の途上にあることは、私は國家の爲に洵に慶賀する次第と思ふのであります、而して過去を顧みますと、我國は十萬以上の生靈を失ひ、十數億の國帑を費しまして得たる權益であります、之を生命線、國防線といふ嚴然たる而も絕對的な形式において、この主張を貫徹して今日まで參り、而も之を中外に闡明し、國を擧げて今日まで邁進して來たのであります、隨つて私はこの場合我が國軍が今日まで擔はれました、一死以て君國に報ずるといふ其の赫々たる偉勳に對しましては、更めて衷心より深く感謝を致す者であります、同時に軍部以外、直接に人柱となつて此尊い犧牲を拂はれましたことに對しましても、衷心より謝意を表する者であります。

滿洲國の建設、日滿兩國の共存共榮、更に進んで日滿兩國間に於きまする所の經濟的聯繫が確實に效果的に具現することがなかつたならば、我帝國の國運を賭して滿洲國建設に努力致しまして、焦土外交までも敢て辭さないと云ふ固き我國の決心は、水泡に歸することに相成るのであります、幾多の先輩將士の英靈に對しまして朝野の官民、殊に此内閣の諸公は何の顏あつて之に對することが出來ませうかと私は衷心より申上げたいのであります。

又私は質問を進めて行く上に於きまして、其徑路に於て、自ら滿洲に於きまする所の我が軍部の施設計畫に對しまして公平なる論究を試むることがありまするが、是は……

北鐵ソ聯側秘密運賃を設定
拉濱線その他に對抗

【ハルビン三日發國通】北鐵ソ聯側首腦部は拉濱線又は馬車輸送に對抗すべく先般來貨物吸收のため秘密割引運賃を設け自我の利益を計ることに躍起となつてゐるがその秘密割引運賃の骨子は左の如くである

「貨物發送驛(北鐵南部線)双城堡割引料二十二圓」蔡家溝割引料三十三圓」三岔河割引料三十四圓」陶賴照三十三圓張家灣三十九圓

右の外更に責任車輛數及び貨物の渡し期間制度を設けて所謂赤色運賃策により北滿貨物を吸收し隣接鐵道に經濟的打擊を與へんとしてゐる

……もたさいふ蒙古人二名の齎した情報によるとソ聯教官は同地で折にふれては集會を催し日本及び滿洲國軍は近く蒙古を襲擊して來るから擧動不審の外來者を警戒し且つ防備を益々堅固にせねばならぬと宣傳してゐるが民心は相變らずの官僚に氣乘りせず王道樂土の滿洲國を無條件に謳歌してゐると

日滿統制經濟問題各方面も漸く理解
十河滿鐵理事歸任談

滿鐵改組問題、撫順炭內地移入協定問題のため上京中であつた滿鐵十河理事は四日入港うすりい丸で歸連したが語る

撫順炭移入協定は存外順調に運んだ、內地における石炭好況時代は諸工業の活況に併行してなほ

當分 はつゞくものと見られてゐるが既に需要のピークに達したことは一般の認めてゐるところで、これ以上に增加するやうなことはあるまい、滿鐵改組案は自分として何も言へぬがこの問題を機會に次のことが言へると思ふ、今までは日滿統制經濟ブロックとか日滿經濟などの問題は現在の資本主義制度を根本的に破壞するものとの考へがあり學者や思想家だけの理想論と考へられてゐたが最近では實際家が事業上の立場から眞面目に研究するやうになつて來た、卽ち內地の事業家に統制經濟の何であるかの眞相が解つて來たのだと思ふ、滿鐵改組問題に關する見方などもその

一例 で最初は社會主義の實行であるかの如くおびえてゐた連中も問題の眞相を知つて漸く落付いて來てゐるし社債募集の好成績もそれに原因するものと考へてゐる、特務部が如何に變化して行くかそれは自分の知つたことでない、然し特務部が如何に變らうとも經濟調査會は何等かの形で殘して置く必要があると思つてゐる、とに角現在經調の改革などは全然考へてゐない、東京に駐在員を置いたのは研究問題が具體化するに伴ひ內地と色々連絡協調をとる

必要 があるためで現在宮崎君の下に十名位の人がゐて仕事をやつてゐる、兎に角これから吾々は出來るだけ機會を見出して上京することで內地の事情が解らなくちや駄目だ

本溪湖煤鐵合同實現永引く
伍堂昭和製鋼社長談

……日鐵の評價が問題になつてゐるので大倉組が今のところ評價を出す見込もないと要するに大倉組で考へておくことになつてゐるといつた程度だ、それに合同の合同は強制的にやらすといつたものではないし合同意見には吾人共に贊成ながら相當實現が困難であることは事實だ、なほ合同實現の成否は製鋼所の諸計畫とは全然別で計畫は既定通りに進めてゐる、自分は今度の內地行の機會に製鋼所製品の取引先の支渉や重工業の現狀を視察をしたが過去五ケ年間の內地重工業の發達には驚ろいた、殊に吳の海軍工廠の技術的進步は非常なもので既に獨創時代に入りしかも他國にすぐれてゐることを知つた、軍器の精銳の點では他國に比して何等心配はない、日鐵創立に伴ふ製鐵合同問題が評價の點で議會で問題になつてゐるやうだが自分は內容も知つてゐるし結局問題にはならぬと思ふ、唯問題は製鐵合同をやつた以上より安い鐵を市場に供給するといふことが日鐵の責任でこれが實現されれば合同の効果はないことになる

撫順油頁岩工業獨立的に經營か
撫順炭礦當局の意見

【撫順特電四日發】注目裡に着々進められてゐた撫順の頁岩セメント試驗製造はいよいよ百パーセントの效果を保證されるに至つたので近く本格的生產に着手することになつた、この事業の經營形態について滿鐵本社の關係者間にあつては傍系會社を設立して滿鐵の手で經營する意向の模樣であるが、これに對し直接關係を持つ撫順炭礦當局は飽までもこれを滿鐵の事業より切り離し獨立的企業の

形態 によつて經營すべきであるとの意見を固持してゐる、それはこれを滿鐵に於て經營すると鞍山の小野田セメント、吉林の淺野セメント等と競爭的立場に立つた際、それらの會社との關係上非常に不利な關係に追ひこまれる虞があり、また事業の性質として獨立經營に何等無理がないので、民間企業を開發せしめる上からもこれを滿鐵より切り離すべきであるといふのである、しかしてこれは成るべく信用し得べき事業家に滿鐵のパテントを貸與し自由な立場において經營せしめるものであるが、この炭礦當局の意向に對して撫順市民は絕對的支持の態度を表明して居り、かうした

事業 の個人的經營は撫順の市況を活潑ならしめるものとして非常に期待をかけてゐる、なほ右につき久保炭礦長は語る

滿鐵本社の人たちは自分達の手によつて折角これまでにしたのだから飽までも滿鐵會社に經營させたいと考へるのは無理もないが、しかしなにしろ鞍山、吉林、撫順の三箇所の生產高は三十萬トンに達するが、現在の滿洲ではとてもそれだけは消費しきれまいと思ふ、さうなると勢ひ競爭となるが、撫順のセメントは滿鐵經營だからといふので他の會社からあまり手を伸ばさないで欲しいといふやうなことを持ちこまれたら

折角 の撫順のオイルセールも充分發展することが出來なくなる、そんな場合これが獨立企業となつてゐれば比較的自由な立場で競爭が出來ると思ふ、この邊のことは良く考へなければいけない、それにかうした事業までいちいち滿鐵の手で經營することはとかく民業壓迫だとかいつて痛くもない腹を探られるからなるべくこの際民間の手にこの經營をゆだねべきだと思ふ

阿部三井支店長歸連

昨年十一月中旬以來上京中であつた三井物產大連支店長阿部重兵衞氏は四日入港のうすりい丸で歸連左の如く語る

安川筆頭常務が勇退されたので自然今回の人事異動が行はれたのだ、自分の上京はこれとは全然關係なく單に年末の割合に閑な時機をみて上京したまでだ、神戶支店長代理がカルカツタ支店に榮轉したので、その後任には別に支店次長を置くことになつたが多分高雄支店長代理の井上知博君が來ると思ふ、こゝ兩三年は變革時代だから三井としても相當善處しなければならぬことは勿論だが、滿洲に於ける三井の業務方針が變更されるものとは思はない、非常時であるだけに民間の經濟力を充實することは緊要であるから我々としても一層努力の必要があると思ふ

內地財界の活況樂觀を許さない
古澤錢鈔專務歸連談

昨年十一月末上京し月餘に亘つて內地財界事情視察中であつた錢鈔信託專務古澤丈作氏は四日入港のうすりい丸で歸連したが船中左の如く語る

內地財界が活氣づいてきたことは御承知の通りだが、然し餘りに片寄り過ぎて普遍的でないことは必ずしも樂觀を許さないと考へられる、卽ち景氣の良いのは軍需工業や輸出商品等であつて一般的でないのは遺憾に考へられる、第一不動產が値上りしないのと金利が廉いことはこの間の事情を物語つてゐる、この意味からいつてもつと〳〵爲替を下げて輸出を獎勵する必要があると思ふ、現在輸出が旺盛だからとて日本人の生產技術の優秀を大いに誇つてゐる向もあるがこれは一種の自己陶醉ではないかと考へられる、この點もつと〳〵眞劍に考慮すべきものだと思ふ、次に滿洲國國幣の關東州內流通問題については大藏省方面ではさして切迫した問題として取扱つてゐなかつた、滿洲國としては速急に州內流通を希望するであらうが小銀貨の流通程度とか又關稅の納入といつた程度なら大藏省方面でも異存はあるまいと思ふ、要するに鈔票と國幣が共に流通する時期が來ることは自ら首肯されることであるが、鈔票の既得權益に影響を來すことはあるまいからこの點は心配ないと思ふ

人事

▲江崎重吉氏(大連鐵道事務所長)四日午前九時發の列車にて…へ
▲伊澤道雄氏(鐵路總局次長)列車にて奉天へ
▲沼田砲兵少佐　同上
▲築島信司氏(國際專務)四日午前七時四十分着列車にて歸連
▲下津春五郞氏(鐵路總局總務處長)同上來連
▲入江正太郞氏(滿電專務)同上歸連
▲伍堂卓雄氏(昭和製鋼所社長)四日入港うすりい丸で歸滿
▲十河信二氏(滿鐵理事)同上
▲田所耕耘氏(經調副委員長)同上
▲日笠芳太郞氏(滿日囑託)同上
▲阿部重兵衞氏(三井物產支店長)夫人同伴同上
▲前川郁夫氏(三井製藥支店長)
▲…彥氏(旅順博物館主事)
▲…和善雄氏(滿洲モータース取締役)同上
▲古澤丈作氏(錢鈔專務)同上
▲陸軍將校滿支視察團一行十八名同上

ばいかる丸船客

【門司特電四日發】六日入港ばいかる丸の主なる船客諸氏
瀧山野馬(三井合名)杉原武之助(會社員)太田利三郞、榊谷仙次郞(滿洲土建協會長)橫尾石夫、井上孝三、田中吉政

蛇角

◇故犬養首相は心境の變化、現中島商相は信念の異化。
◇…氏の亡靈よ、モウ大抵に引つ込むがよい。
◇今さら「滿洲の米作阻止」も氣の利かない話。
◇機密局面子の憾み、驅して「兒玉博士の召喚問題」といふ。
◇內は不一致、外はア內、鬼はア外、これは春の行事や近き世間の行事。
◇外交の…立春や滿の…春まだ遠き武藏の憾み。

生活の虹(34)
菊池寬作　志村立美畫

怪我(三)

醫者に、處置をして貰つて控室の方へ出て來ると、そこに綾子が心持蒼ざめた顏をして立つてゐた。

「いかゞでした?」

「何でもありませんよ。心配しないで下さい」

「お痛みになりません?」

「少し痛みますが、たいした事ありませんよ。貴女に心配せらると、その方が却てつらいですよ」

二人は、連れ立つてその部屋を出た。

綾子は、子爵の傷を自分の責任だと思ひ、子爵はそれを自分の責任だと思ひ合ふことに依つて、二人の間柄は、急速度に親くなつてゐた。

怪我が取りもつ緣のやうに、二人は一つの事件の責任を分擔することに依つて、他人でないやうな氣持になつてゐた。

「お仕事に差し支へないでせうか」

「大丈夫です。今日一日位、手を使はないでも大丈夫ですよ」

二人は、二階のエレヴエーターの所へ來た。

「どうぞ、早くお歸りになるやうに」

と、綾子は云つた。

「貴女が、さう云つて下さつた丈で、もう痛みが止まつたやうですよ」

と、子爵はほがらかに笑ひながら云つた。

「では、私これで失禮いたしますわ。お友達に代つて貰つてゐますので……」

さう云つて、綾子は、折から上つて來た中央のエレヴエーターが、止まつて扉が開いた。

「すみませんでした。私、代りますから」

さういつて、綾子は乘り込んだ。そして、子爵に目禮すると、下へ降りて行つた。

(怪我をしてよかつた。何といふ幸運な怪我だらう。この怪我がなかつたら、自分と綾子は、單なる顏見知りの間柄として了つてしまつたゞらう。この事件で、少くとも友達にはなれる。これを機會に、もつといろ〳〵な好意を見せることが出來る。少し痛いが、幸運な怪我だつた)

さう思つてゐると、綾子のエレヴエーターは、スル〳〵と上つて來た。

扉を開けて、綾子は笑みこぼれるやうな微笑で、

「お待ち遠さま」

と云つた。

へ行つて降りて來ようとする中央のエレヴエーターの前へ行つた。

「ぢや、僕も貴女のに乘りませう。貴女が下へ行つて來るのを待つてゐませう」

と、子爵は云つた。

「おほゝゝゝ」

と、綾子は全く安堵したやうに笑つて、

減刑及び復權の恩赦令は十一日發令
奏請方針が愈よ確定

【東京特電四日發】皇室の御慶事に伴ふ恩赦奏請方針は大體確定し御裁可を仰いで十一日を以て發令されるが減刑及び復權の二種に分れ二月十一日に刑の確定せるものについて死刑は無期懲役、無期懲役又は禁錮は二十年の有期懲役又は禁錮に、有期の懲役又は禁錮で刑の執行を始めないものは刑期の四分の一を減じ、刑の執行を始めそれが刑期の二分の一以上となつたものは殘りの二分の一を減ずること、皇室に對する罪その他兇惡犯の特別の罪に對しては減刑せずといふのであつて、五・一五事件の關係者はいづれも減刑を受け佐郷屋留雄は無期懲役となる筈

博士の起訴を檢察局に要求せん
高井檢察官けさ赴旅

公判三日目、高井檢察官の補充訊問によつて端なくも兒玉博士が事件の重大な役割を背負つてゐた事が明かとなり、兇行當夜階下において博士が中園から短刀を受取つた事が告白され「博士をかばふ爲に檢察官には嘘を云つてゐた」と供述、これにより法廷は最後に大きな波瀾を見せたが、萬一中園の陳述が事實なれば當然兒玉博士に關する殺人共犯の疑惑がいよ〱色濃くなるわけで更に兒玉博士が殺人共犯として認められゝば、當時兒玉博士を起訴猶豫にした檢察局の重大な過失ともなるべく同時に檢察當局の責任問題にまで進展するのではないかと見られ事態は複雜性を帶びて來た、一方檢察當局では中園の最後の陳述が事實とすれば當然その責を免れざる譯で檢察局ではこれが善後策を講じ上司の指示を仰ぐべく四日日曜日にもかゝはらず高井檢察官は池内檢察官同道下田檢察官長を旅順に訪問するところあつた、尚ほ事態がこゝまで進展した以上法院側としては當然兒玉博士を喚問すべく、召喚した以上當然、法院は檢察局に兒玉博士の起訴を要求するものと見られるが、その際檢察局が單なる面目問題でこれを拒絶するかまたは起訴要求に應ずるか、こゝもすこぶる興味をもつて成行注目されてゐる

何とも言へぬ
下田檢察官長談

池内、高井兩檢察官は四日午前十時頃下田檢察官長を旅順に訪問し何事か密議をこらし正午辭去したが右は兒玉博士召喚に關するものでその內容は知る由もないが、右につき折柄大弓場に赴いた下田檢察官長を訪問すれば語る

來た事は來たが何でもない、まだ新年になつてから一度も來なかつたのでその挨拶に來たのだ兒玉博士の召喚については一寸話も出た——しかしその事は今一寸云へない、繫屬中の事でもあり所謂きわものだから私の口からは何とも云へないのだ

愛鄕塾被告 全部控訴

【東京三日發國通】五・一五事件の被告は服罪するものとみられてゐたが判決が豫想以上に重いので愛鄕塾關係十七名の辯護士會館で協議の結果豫定を變更し全部控訴に決定したよつて被告が獄中より控訴を取下げれば格別だが控訴公判の審理を受ける筈である

西大連體協 發會式
けふ氷上競技

西大連體育協會では大連市役所、大連氷上聯盟、本社西部支局後援で四日午前九時から西市場裏スケート場で氷上運動競技會を開いたが出場者は小中學生を首め一般を合せ約五百名で各種競技を行ひ、午後一時閉會後、石川體育協會長、岡野大連市助役、森川市會議員その他西大連有志參列の上西大連體育協會の發會式を擧行した

けふ立春初午
風もなく暖氣は續く

けふは立春で初午も重なつた

藪こころやいづちもなく
春は來ぬ　蕪村

久しい間のべつ幕なしの三寒ばかりで四溫を忘れられてゐたやうだがこの三、四日來頓に暖氣を催し節分の宵は暖心地よく更けて殊にけふは春立つ日にふさはしい上天氣、午後一時の溫度は零度二だつた、戶毎に堅い窓を明け放ちて外氣を樂しみ初午詣りをする家族連やショッピングするカップルも多かつた、然し滿洲の氣候は暦の上の歲時に當篏まらぬ、殊に移ろひ易い冬空だ、如何?にと若草山に伺ひをたてゝみれば

急に暖くなつたのは大陸高氣壓が揚子江中流域に下り風が西に變つたためですが、この高氣壓は勢力が衰へつゝあるのでまだ二、三日は暖氣が續き風も大したこともありますまい

との御託宣である【寫眞は春日町稻荷神社の初午】

少女選手力鬪活躍し 續々、新記錄出づ
瀧孃日本滿洲新記錄

【安東特電四日發】全日本氷上聯盟主催の全日本氷上選手權大會第二日は、四日午前九時より鴨綠江リンクで續行、快晴なれども第一日に比し氣溫低下して零下六度風速四米三〇、殊にバックストレッチにおける向ひ風は選手を苦しめるにも拘らず李聖德、金正淵など相變らず好記錄を擧げ滿洲選手依然壓迫さる、女子千五百では瀧三七子（奉天）が三分六秒八の驚異的タイムで斷然日本滿洲新記錄を作れば大リンクの周圍を埋める萬餘の大觀衆はどよめき壹岐姉妹（安東）汾陽泰子（奉天）簗瀨暢子（奉天）など續々日本記錄を破り可憐な少女選手の力鬪に滿場涙ぐましき感激と興奮にさそはれる、戰績左の如し

男子千五百米

第一位　李聖德（關東）　二分三六秒四
第二位　河村泰男（奉天）　二分三七秒一
第三位　金正淵（關東）　二分三七秒二
第四位　木谷德雄（安東）　二分四〇秒
第五位　尹明珠（朝鮮）　二分四〇秒七
第六位　安達和男（奉天）
第七位　行田和（諏訪）　二分四三秒一
第八位　小池富治（諏訪）　二分四三秒四
第九位　潤間留十（諏訪）　二分四三秒五
第十位　三代正勝（撫順）　二分四五秒

出場選手二十五名、朝鮮の尹明珠は諏訪の潤間留十と三組にシードされる、最初より接戰を演ぜしめ第二周目のストレート半ばにて潤間躓いて倒れ後れる、第一日目の第四位崔龍振は撫順の三代と組んで最初より好調、日本記錄（二分三三秒）に及ばざるも河村の滿洲記錄（二分三八秒）を破り更に第一日の第二位李聖德は安東木谷と第一組に顏を合せ最初より猛烈にせり合つた結果、更に崔龍振の記錄を縮める、奉天河村は同じく奉天安達と十一組に組み好調、崔龍振、李聖德の記錄に及ばざるも自己の保持する滿洲記錄を破る

女子千五百米

第一位　瀧　三七子（奉天）　三分六秒八（日本滿洲新記錄）

第二位　壹岐　修（安東）　三分一四秒（日本新記錄）
第三位　汾陽　泰子（奉天）　三分一六秒一（日本新記錄）
第四位　壹岐　いさ（安東）　三分一九秒（日本新記錄）
第五位　簗瀨　暢子（奉天）　三分一九秒三（日本新記錄）
第六位　木谷　妙子（奉天）　三分二五秒四
第七位　岩田みよ子（撫順）　三分二五秒六
第八位　平野きみ子（奉天）　三分二八秒
第九位　木下みつゑ（安東）　三分二九秒五
第十位　四方ゆき子（奉天）　三分三三秒一

奉天汾陽は第四組で安東木谷と組み、最初より好調で、木谷を徐々に離し遂に三分十六秒一の日本新記錄（從來の記錄三分二十一秒）を作り女子五百米の首位、奉天の簗瀨と瀧は第七組に組んで出場、第一周は猛烈な競り合を演じ第二周目より瀧徐々に離してラスト・スパークも鮮かに遂に過般奉天において奉天木谷の作つた三分八秒八の日本最高記錄を更に縮めて三分六秒八の驚異的記錄を作り、また簗瀨も從來の日本記錄を破り期待の奉天木谷は安東壹岐と第八組に出場好記錄を期待されしも第二周目のゴール近くで顚倒して壹岐に敗れる、壹岐の記錄も日本新記錄となる、かくて戰績の結果女子選手權は奉天の瀧三七子が一二二、七七點にて獲得した、順位左の如し

第一位　瀧　三七子（奉天）　一二二、七七點
第二位　壹岐　修（安東）　一二六、四七點
第三位　簗瀨　暢子（奉天）　一二六、九三點
第四位　壹岐　いさ（安東）　一二八、四三點
第五位　木谷　妙子（奉天）　一三一、〇七點
第六位　岩田みよ子（撫順）　一三一、一三點
第七位　木下みつゑ（安東）　一三一、五〇點
第八位　平野きみ子（奉天）　一三三、五七點
第九位　四方ゆき子（奉天）　一三五、三三點
第十位　渡邊きよ子（奉天）　一三六、八點

滿鐵チーム優勝
對二中アイスホッケー決戰

大連氷上競技聯盟主催、アイスホッケー大連選手權大會優勝戰滿鐵對大連二中は四日午前十時より鏡ケ池リンクにて開催、熱戰に觀衆を熱狂せしめ大接戰の末三對二にて滿鐵勝ち、昭和九年度の覇權を握る

第一ラウンド…滿鐵優勢を示し盛んにシュートするも二中GK好守して得點に至らず七分中央の混戰を二中後藤取り山之內にパス、シュート成り一點を先取▲十二分小寺中央よりドリブルで拔きシュートして同點となり▲混戰を續ける內にタイム

第二ラウンド…滿鐵直に攻め入り小寺ゴール前の混戰をシュートしてゴール成る▲七分二中後藤のパスを山之內シュートして同點となり▲タイム直前二中ゴール前の混戰を左右田プッシュなりゴール滿鐵一點を勝越す

第三ラウンド…滿鐵二中陣に攻め入り盛んにシュートするもGKの好守に危機を脫し滿鐵優勢裡にタイムアップ

滿鐵 3（2—1、1—1、0—0）2 二中

滿鐵　FW 田寺浦倉吉垣田　DF 左右田 小松　GK 內有古尾
二中　FW 內藤 橋川 之山　DF 後藤 高西 泊田　GK 太

けさ遺骨凱旋

北滿戰線名譽の戰死者故江本敏武少佐以下二十七體の遺骨は四日午前七時大連驛着午前八時三十分より埠頭待合所でしめやかな慰靈祭執行午前十時出帆の香港丸で上野砲兵中尉輸送悲しき凱旋をなした

全大連フイガアー大會成績

大連氷上競技聯盟主催フイガアー選手權大會は四日午前十時より中央公園リンクにおいて擧行されたが成績左の如し

A組　一等東（平均點二六・九）、二等グリゴテリ（同二三・五）、三等千草（同二一・七）
B組　一等前川（平均點二一・七）、二等眞貴田（同九）三等宮本（同八・三）

全滿卓球個人選手權大會

滿洲卓球協會主催全滿卓球個人選手權大會は四日午前九時より滿日三階講堂で開かれたが試合は全出場者を四組に分つてリーグ戰式で開始、午前中にはA、D組のみ試合を終了、B、C組は大半を終了したが午後一時三十分までの各組成績左の如し（括弧內の數字は得點）

▲A組　鮫島（九）越山（八）田中（五）柴山（一）第一位鮫島、第二位越山
▲B組　岩崎（一一）河田（一〇）田谷（六）吉丸弟（六）安田（六）那須（三）澤田（二）
▲C組　中田（九）井上（六）加藤（三）小川（三）山田（三）金胡（一）
▲D組　丸田（一二）櫻井（九）柯森（六）佐藤（六）津田（三）第一位丸田、第二位櫻井

貨物列車と衝突卽死
モーターカー

【新京特電四日發】四日午前三時頃京圖線明月溝驛に於て裝甲モーターカーが構內に進入の際貨物列車に衝突しモーターカーは大音響と共に大破しモーターカー搭乘者五名は卽死したが明月溝は新京起點四百十粁のところである

天氣予報

五日　北西の風晴一時曇

各地溫度（四日）

	午前五時	午前十一時
大連	零下五	零度
旅順	同一三	二
營口	同一一	同二
奉天	同一八	同七
新京	同一六	同一〇
新義州	同一五	同七

出所した中岡艮一　寫眞向つて左から母親信子と弟庸三

滿洲國を承認せぬ極東大會は何處へ
解體するより途なし

極東オリムピック大會が難關に遭遇することは日本が國際聯盟を脫退した時からの吾々の懸念であつた、ジュネーブでは日本代表が立ち去つた後の委員會で萬國オリムピック大會とデビスカップ戰から**日本**を除名せよとの議案が出た、然しこれはあの際餘り子供らしい問題だからといふので葬られた、然しこれとても馬鹿には出來ない問題である、世界戰爭後ドイツの參加を長らく拒否して居た例もある

……◇……

大日本體育協會（滿洲體育協會の手を通じて）では滿洲國體育協會の依頼によつてロスアンゼルスのオリムピック大會に際し滿洲國參加の運動を試みて成功しなかつた只今でもその運動は續けて居る樣だが主義としてはこれとても不徹底極まる話ではある、だが日本運動界のオリムピックに於ける**勢力**は日本が考へて居る樣に強力なものではない、從つて滿洲國の參加不承認の問題でいきなり日本の面目が丸つぶれになるといふことはない、また世界四十何ケ國の加盟團體の承認を得ることもさう速急には行かぬ事情もある、然し主義としては飽くまで滿洲國參加を認めしむ可きである、のみならず萬國オリムピックは必ずしも獨立國家が單位となつて居るのではない、一つの獨立した旗とユニホームを持てる民族は一體と見做すと言ふので英國の場合はアイルランド、カナダ、濠洲、ニユージーランドなどそれ〴〵獨立して**加盟**して居る、近くは比律賓等もさうである、まして獨立を宣して居る滿洲國が參加出來ないと言ふわけは絕對に有り得ない

……◇……

これが萬國オリムピック大會の情勢である、然し極東大會に於ける場合は全然議が違ふ、日本が自任して居る樣に實力においても盟主の地位にある、水泳は全部の得點を奪ふだらうし、陸上でも五分の四の得點は間違ひない、庭球野球も必勝だら、たゞ蹴球排球籠球が互角か?互角以下にある程度であるその日本が滿洲國を引つ張つてこれに**參加**せしめ樣とした、比律賓はこれを承認したが支那は斷然不承認の投票をした、極東大會の憲法には斯かる重大問題は日本支那、比律賓の完全な意見の一致を要することゝなつてゐる

……◇……

恐らく支那は不承認と出て來るに違ひないといふ我々の豫想は見事的中した、さうなつた場合日本の執るべき態度は三つある

1、支那を說服して承認せしむ可し
2、支那を除外して大會を遂行する
3、解體せしむる（脫退ではない）

以上肚を決めてから交涉に取りかゝる可きであつた、然るに大日本體協の認識が不十分だつたのか肚がなかつたのか日本の態度はしどろもどろ**支那**の政治家達（運動政治家だけではない）に思ふまゝに飜弄されて居る、マニラに於ける準備委員會に出席する松澤委員が支那側委員の不出席聲明にあつて出發間際にこれを取消すなど全く呆れる外はない

……◇……

尙聞く處によれば今回から佛領印度支那や、シャムや、インドを招いて東洋在住の西洋人も加へたオープン・ゲームをやることになつて居て、それにさへ滿洲國選手の參加を支那は拒んで居る、これに對して斡旋役の滿洲陸聯、滿洲體協はおろか大日本體育協會は一向にこの問題を**公表**せぬ、日本選手の大部分はこの問題の性質を知らない滿洲體育協會に對しては特に滿洲からこの問題に對して輿論を起さぬ樣にと某氏へ親展祕密文書まで來てゐると傳へられてゐる

……◇……

何といふ醜態か、日本のスポーツマンだつて馬鹿ばかりの集まりではない、少しは骨の硬い人物も居る筈だ、何の必要あつて支那のいひ分ばかり通させるのだ、現在の體協の力では到底支那を脫退させてスポーツの正道に還させることは不可能だらう、また比律賓と相談して不承認を唱へる**支那**を除名して況東洋大會を決行するだけの勇氣も手腕もあるまい、とした吾々の期する所は極東大會の組織解體と言ふ一手あるのみだ

……◇……

體育協會のこんな良い加減な頰冠り政策の裏が解つたらそれでも極東大會に出場すると言ふ馬鹿な選手は居まい、少なくとも滿洲には居ない筈だ、こんな馬鹿な大會に國庫から六萬圓も補助しようと言ふ文部省も認識不足だ、解つたら金も出せまい、支那の不純なる政治家に操られつゝある極東大會は結局解體するより外に途はない、斯くてこそスポーツの空は晴れた

新講談

丹下左膳 (7)

林不忘作　小田富彌畫

出る佛に入る鬼

「おうッ！不知火が見える！生れ故郷の不知火が——」

これが最後の言葉、司馬先生はたうとう婿の源三郎に會はずに、呼吸を引き取つてしまつた。庭で左膳と源三郎に劍林を向けてゐた弟子達は、一せいに刀を引いて、われ勝ちに先生の臨終に駈けつける。

急に邸内がざわめいて、明あかと灯が點つたと見る間に、サッと潮のひくやう、圍みの人數が引き上げて行くから、左膳と源三郎、狐につまゝれたごとき顔を見合はせ、

「鳥の子が、巣へ逃げ込みをつた何が何やら、さつぱりわからぬ、うはゝはゝゝ」

その時……。

ツーイと銀砂子の空を流れる、一つ星。

「あ、星が流れる——ウ、ム、さては、ことによると老先生がお故くなりに……し、しまつたッ！」

刀を納めた源三郎へ、左膳は、

「あばよ」と一聲吠えて、

「星の流れる夜に、又會はうぜ」

一言殘して、そのまゝズイと行つてしまつた。

勝負無し……流石の左膳も、この柳生源三郎に一太刀浴びせるには、もう一段、腕の工夫が必要と見たに相違ない。

このおれと、ほとんど對等に立ち合ふとは、世の中は廣いもの——かれ左膳、ひそかに心中に舌を捲いたのです。

一方、品川の旅宿へ立ち歸つた源三郎は。

こけ猿の茶壺は手になくとも、最早一刻の猶豫はならぬと、急遽供を纏めて本郷の道場へ乗り込んで來た……あられ小紋の裃に、威儀をただした正式の婿入り行列。

丁度この日、妻戀坂では、伊賀の暴れン坊を待ち切れずに死んだ司馬十方齋の葬儀。

その威勢大名をしのいだ、不知火流の家元のおとむらひですから、イヤその盛大なこと。

白黒の鯨幕、四旒の生絹、唐櫃、胡床、眞榊、四方流れの屋根をかぶせた坐棺の上には、紙製の供命鳥を飾り、棺の周圍には金襴の幕……昔は神佛まぜこぜ、佛式七分に神式三分の様式なんです。

この日、門前に蝟めく群衆に撒き錢をするのが、司馬道場の習慣だつた。當時、江都評判の不知火錢といふのは、これです。

その、山のやうに撒くお捻りのなかに、たつた一つ、道場のお孃樣萩乃の手で、吉事ならば紅筆で今日のやうな凶事には墨で、御禮と書いた一包みの錢がある。これを拾つた者は、お乞食さんでも構はぬ拾ひでも、一人だけ邸内へ許されて、靈前に焼香する資格があるのだ。われこそはその萩乃のお墨つきを手に入れて、今日の幸運にならうと、眼の色變へて押すな押すなの騒ぎだ。

こゝへ駒を乗り入れた源三郎を眼がけて、錢撒き役の峰丹波、三寶ごと殘りのお捻りを投げつけたのだが、偶然源三郎の掴んだ一つが、その、萬人の狙ふ萩乃のお墨つきでありました。

入場切符みたいなもの——招かざる客、伊賀の暴れン坊は、かうしてとんとん焼香の場へ通つてしまつた。

出る佛に入る鬼。

けふ故先生の御出棺の日に、司馬道場、飛んだ白鬼を呼びこんだもので。

「遲ればせながら、婿源三郎、確に萩乃どのと道場を申し受けました。よつて、これなる父上の御葬儀は、只今より直に喪主として……」

源三郎の立派な挨拶に、室内の一同、聲を失つてゐる。あの戀する植木屋と、見ずに嫌ひぬいてきた伊賀の若殿とが、同一人であることを知つた萩乃の胸中、その驚きと悦びは、何んなでしたでせうか。

女學生と與太者

松竹蒲田作品　中央映畫館上映

「與太者と海水浴」に次ぐ野村浩將監督の蒲田與太者トリオ作品である。池田忠雄の原作脚色で朗かなナンセンスの一手で笑はそうとした意味なく面白かつた傾向から漸く一轉して來た作風を示してゐる。

卽ち與太者トリオの阿部、磯野、三井が小學時代の恩師北島先生の未亡人(吉川滿子)とその娘和子(水久保澄子)を助けるためにペンキ屋になつて働くといふ概念は子弟美談で、これに絡つて和子が三人の力で通ふ洋裁學校のインチキ振りを暴露し學校のパトロン近藤(坂本武)がギャングのために大金庫に封じこめられたのを救ふまで——

阿部だけが與太者トリオの異端者でギャングの手下になつて金庫破りの名人の暗い影を持つてゐる。

その金庫破りの妙手を以て近藤の一命を救ふのであるが、過去を清算すべく最後に警官の手に引かれて行く。

この結末も今までの目出度しくと違つたところでありインチキ學校の暴露と言ひ、この最後の扱ひ方と言ひ從來の與太者映畫のツマであつた正義感がこゝでは一層强調されてゐる。この與太者シリーズがまだ續いて製作されるならばこの一篇が一轉期を劃しそうである。勿論シナリオのネタにも行詰つてゐるだらうが、與太者トリオでは相變らず阿部が一番面白く金庫や鍵をあける度毎に忍術の手印を切るのはナンセンスものにうつてつけの思ひつきである。

（日刊）（昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一ヶ月金一圓五十錢

發行所　大連市東公園町　滿洲日報社

拘禁中のソ聯從業員　數日中釋放に決定す

滿ソ兩代表けふ具體的取極

北鐵交涉急速に開始

【ハルビン特電四日發至急報】北鐵從業員六名の釋放問題については日滿蘇政府當局の間にしば〳〵折衝が重ねられたが最大の難關たる後任問題についても適當に善處すべく略々諒解が成立したので滿洲國では近く御大典を控へ國際關係の圓滑をはかる意味も含め愈々釋放するに決定したらしく施外交部代表スラウツキ右問題に關し四日それ〴〵政府の訓令に接した模樣で兩代表は五日會見具體的取極め尙六名の釋放は玆數日中なるべくその結果北鐵讓渡交涉も急速に開始される模樣

ス總領事を召還說

【ハルビン四日發國通】在ハルビンソ聯總領事スラウツキー氏は對滿洲國…いてモスクワ政府の非難を受け近く本國に召還される事となつたと取沙汰されてゐる

北鐵に又一悶着か

【ハルビン四日發國通】蘇聯側北鐵職員は一九三四年度の北鐵收入豫算局長張明哲氏の重要書類を何時の間にかかつぱらつてゐることが判明した、斯くて又復一悶着は免れぬこと、なつた

蔣介石氏等四巨頭

杭州にて重要協議

廣東にも軍事行動か

【上海四日發國通】財政部長孔祥熙氏は目下杭州滯在中の蔣介石氏の招電により三日午前十時同地に飛行し張學良を混へ三人鼎坐して長時間に亘り協議する所あつたが更に午後に至り宋子文氏も自動車で杭州に急行した、四巨頭の協議內容は不明であるが福建戰事の終焉を機として蔣介石氏は共匪討伐を徹底的に行ふと同時に從來目の上の瘤とされてゐた廣東に對してもその出方如何に依つては軍事行動に出るも敢て辭せずとの牢固たる決意を有しその爲多額の軍事費を要するのでその捻出方に就き協議を遂げたものと一般に觀測されてゐる、何のび〳〵となつてゐる張學良の就任問題についても四巨頭間に完全な一致をみた模樣で近く正式に發表されるものと觀られてゐる

副官李義芳は蔣介石及び張學良に對し馬占山の外遊に對する打合せ及び挨拶をなすため一月二十一日南京に向け出發した

顏惠慶歸國

【上海三日發國通】駐ソ大使顏惠慶氏は三日午後五時イタリー汽船コンテロツソ號で歸國した、過般來噂されてゐる顏惠慶の駐ソ大使辭任乃至外交部長就任說に關して如く語つた

今回の歸國は全く私事處理のためだ、明晩邊り南京に赴き一應報告をなした上鄉里天津に歸る心算だ

伊國航空教官　米教官に代る

【上海四日發國通】最近歐米各國政府は頻に南京政府に對し飛行機賣込運動を策してゐるがイタリー政府は歸國したばかりの張學良を通じ猛運動をつゞけた結果最近國民政府招聘の外國飛行教官更改期に當り從來の米國教官を全部イタリー人教官に掘替へさせるに成功したと傳へられ支那空界へのイタリー勢力の進出は目覺しいものがある

萬福麟反對

學良新任拒絕の理由

【北平三日發國通】張學良の剿匪副司令就任東北軍の南遷は殆ど確定的だつたが突如萬福麟何柱國より反對が起り果然無期延期の形となつた、萬福麟等の反對理由は北支の地盤に團結してこそ東北軍の勢力も認められ學良も重視されるがその軍隊を諸地方に分駐する時は結局蔣介石の云ふ儘に解決せられる惧れがあると云ふのでこの見地から斷然南方移駐を肯じない態度を示すに至つたものである

馬占山米國へ

【新京四日發國通】當地に達した情報に依れば馬占山は昨秋以來張家口に在り反滿抗日工作に努めつゝあつたが十一月末頃北平に移住、最近張學良の命に依り約七、八月の豫定を以て米國に軍事研究のため外遊することゝなり中央政府より三萬元の補助を受けたと、なほ出發は二月初旬天津より上海經由渡米する豫定でこれがため馬占山

大元帥陛下御佩刀　新形式に改めらる

宮內省で愼重調査

【東京四日發國通】陸軍では武人の魂である軍刀を日本古來の陣太刀作りに改む可く正式に制定されることになつたが皇軍を統べさせ給ふ大元帥陛下に於かせられても陸軍にて決定の上は陸軍樣式御佩刀を新軍刀の形式に改めさせられる由にて目下宮內省參事官にて御刀の體裁裝飾等愼重調査研究申上げてゐる、御決定の上は皇室令を以て御制定あらせられるが大體は新軍刀の形式にて陣太刀作りになり菊花御紋章を附され口金、石突、帶取り等柄、鐔、鞘の作りは色彩も古雅に日本刀の威容をあらはしたものに定められる御模樣である

西部內蒙古に　反中央運動

北平で代表等暗躍

【新京特電四日發】內蒙古は遼隔の地にある爲に兎角中央政府の威令が行はれない憾みがあつたので南京中央政府は內蒙統治の目的で昨夏中央政府委員黃紹雄氏を使者として同地に特派し內蒙自治法案を作成し統治上稍整備を見たが聞く所によれば蒙古旗人は該施政方針に不滿を抱き內蒙旗人潘王及王房吉英など首腦者となり反中央運動を起すと共にその部下を北平方面に派遣し在平蒙古旗人間に潛行反中央宣傳に努めつゝあるが最近北平より來關した交通銀行書記の語るところによれば左の如し

在平蒙古旗人は滿洲國の帝政實施に刺戟され齊しく滿洲國を思慕すると共に益々現在の施政方針に不滿を抱き北平蒙古同鄉會員約百名會合協議の結果南京において開催中の四中全會議に對し內蒙古自治法案反對意見書を提出すべく決議した

西北三省動搖　中央政府狼狽

【南京四日發國通】寧夏、甘肅、靑海三省の計略を豫想し既に寧夏省で計略の目的を殆ど遂げた孫殿英はその陷落が時期の問題となつた寧夏省城の包圍に一部兵力をあてその主力及び騎兵部隊は第二の目的地甘肅省目指して南進を起した、騎兵部隊は現に甘肅省境に近き廣武中衞に迫つてゐる

取引國に貿易通信員

滿洲國七、八月頃派遣

【新京四日發國通】滿洲國の帝制實施聲明以來各國の同國に對する再認識的態度濃厚となり經濟的には領事館の復活、經濟調査委員の派遣等となつて現れてゐるが滿洲國においても自國産業が漸く國際經濟の軌上に乘りつゝあるを自覺し從來の片貿易より相互貿易に躍進すべく種々考慮を拂つてゐる、卽ち實業部では曩に來京せる駐日獨大使館商務官クノール氏が滿洲國政府を訪問し大豆の輸入に對しドイツ特産品を輸出したしと懇談せるを謎としてその後各關係機關と相互貿易につき協議を進めてゐるが大體意見一致しその具體化として先づ貿易通信員を取引國並に主要各國に派遣し販路の擴張、國際經濟事情調査、相互貿易の研究等を行ふことゝなつた、尙その時期は七、八月頃となる模樣だが第一回の派遣は上海、ベルリン、ロンドン及び日本の主要各地である

豫算案衆院通過確實

政府側は原案可決を確信

議會の中心貴院へ

【東京四日發國通】衆議院に於ける豫算總會は愈々五日を以て質問を打切り六日より分科會に移り十日に各派の討議決定、十二日午前に分科を決定、同日午後豫算總會を開いて最後の決定をなし十三日の本會議に上程可決の上貴族院に送附することゝなつてゐるが豫算案に對する各派の態度は政府が農村對策に就いて相當の對策を講ずる模樣となつて來たので豫算案に對する空氣も好轉したものとして政府は原案可決を確信するに至つた、かくて議會は再開後二週日を經衆議院は五日豫算總會の質問を打切り第二期戰に入るが貴族院は議案なく連日綱紀問題を中心とする質問戰で白熱化して居り五日も關直彥氏が綱紀肅正、教育疑獄に關して政府に追擊を加へることゝなつてゐるので同日の中島商相の答辯にして疑惑を一掃し得なければ問題は一層惡化する模樣であり更に商相の足利尊氏論を始め軍紀肅正、軍民離間問題、滿洲問題、國防問題、農村問題、財政建直し問題等につき大河內子、菊池男、岩倉男、村松男等を始め貴族院の精銳一齊に起つて本會議豫算總會等で政府追擊の擧に出ることとなつてゐるので議會の中心は暫く衆議院より貴族院に移るかの觀を呈するであらう、これに對して政府が如何なる防禦陣を張るとしても現在の貴族院の情勢からすれば相當難關たるを免れないものとみらる

警告附きで可決か

各黨の對豫算案態度

【東京特電四日發】衆議院豫算總會は五日を以て終結を告げ六日より分科會を開き細目に亘る審議をなし十日迄に終へ十二日は豫算に對する各黨の態度を決し總會に於て決定後十三日の本會議に上程討論することゝなつて居るが豫算案に對する各黨の態度は大體左の如くである

〔政友〕豫算案に最も不滿をいだいて居る點は農村救濟對策の缺如せることで同會は農林追加豫算を提出するやう迫り若し本會議上程までに提出せられなければ附帶決議若しくは警告を附して同會の態度を表明することゝならう

〔民政〕同黨は財政立直しを力說し行財政、稅制整理の必要、增稅斷行を主張したがこの點本會議で贊成演說の際希望意見として述べる程度とならう

〔國同〕現內閣と認識を異にするため豫算案にも反對である

各黨の態度は大要右の如く政民兩黨とも豫算案に全面的反對をなすものでないから何かの警告附で通過確實と見られる

けふの兩院

【東京四日發國通】五日の貴族院は午前十時より本會議を開き大臣の演說に對し關直彥氏、大河內輝耕子質問をなす筈、衆議院は午前十時より豫算總會を開き鷲野米太郎、本田義成、三宅磐、上田孝吉、一松定吉、中村繼男、三善信房、宮崎一、中村三之丞、船田中、西村茂生、淸瀨規矩雄氏等政府を追究し豫算總會の質問を打切り分科委員會に移す筈である

佛內閣危機

陸、藏兩相辭表提出

【パリ三日發國通】去る三十日成立したダラヂエ內閣の陸相ファブリ、藏相ピエトリ兩氏は三日辭職し新內閣は早くも危機に瀕するに至つた、右はセウタン內閣瓦解の原因となつたバイヨンヌ氏疑獄事

極東に反蘇運動

益々擴大する傾向

【ハルビン四日發國通】…の報道に依ればザバイカル州、シベリアの各地方…頻々として勃發しつゝ…運動はシベリア獨立…

形勢益々惡化

【ハルビン四日發國通】…沿線カルイムスカヤ及び…ナヤ方面では赤軍兵士…

ソ聯子弟教育

北滿のソ聯共産黨員分解

陸相後任決定

議會に於る

賴りない首相

寧ろ悲壯な藏相

往年の政敵を援ける山本內相

大臣ぶり（上）

◇…非常時內閣もはじめて通常議會に直面してゐる…

相首藤齋

相藏橋高

相內本山

伯國日本親善團

田所耕耘氏

佐々木中佐

齋藤大使　米國に出發

社說

五・一五事件 民間側の判決

五・一五事件の民間側の判決があつた。控訴するかどうかまだ不明だから、確定ではないが大體此の事件のくゝりがついたと見るべきだ。判決を見るに、橘孝三郎の無期懲役、後藤圀彦の懲役十五年、林正三の懲役十二年、池松武志の懲役十五年、本間憲一郞の懲役十五年、大川周明の懲役十五年、右は何れも檢事論告の通りになつてゐる。其他は論告無期が判決十二年になつたのが一名、十二年が八年になつたのが一名ある。十年が八年になつたのが一名、七年になつたのが三名、五年になつたのが二名だ。それから八年が七年になつたのが一名と七年が五年になつたのが一名、三年六ケ月になつたのが三名とがある。これによれば檢事の論告と、判事の判決とは大體に於て一致してゐるから、その所見は大略同樣だと察せられる。量刑に於て多少の差あるは判斷者の心持の差であつて、意見の差ではなからう。

◇

判決理由は改めて說くまでもない。論告にもあつた通りで、愛國心の發露であることは認めるが、犯行は明白であり、法律に抵觸するのも明瞭であるから法文の解釋通りにするより外はない。只、量刑に當りて法律規定の範圍內に於て輕重を定めるのは判官の心持次第である。神垣裁判長の談に、淚を揮つて馬謖を斬る感であるといふ通り、裁判官としては法規以外に出ることは出來ない。又責任を持つ裁判官の氣持には他より掣肘することも出來ない。尙執行猶豫のないことも論告の通りであつて、此の點も裁判官は法の嚴正と社會一般に對する影響を考慮したものと察せられる。畢竟行爲の動機は良くても法規に觸るゝもの及び社會の秩序に影響するものは寬假出來ないといふ主旨によりて一貫されたものと見るべきだ。

◇

之れを同一事件である陸海軍側の判決と對照するに、陸軍側十一名は全部反亂罪で禁錮四年となつてゐる。法規の許す範圍內で最も輕く取扱ひ、量刑は三年と五年の中間を採られたのだ。海軍側では、反亂罪が六名で禁錮十五年、十三年、十年の差をつけ、反亂豫備罪が四名で禁錮二年、一年の差がつけてある。豫備罪の方には執行猶豫がある。海軍側が陸軍側に比して重いのは、此の方が主動側と見られて領袖の地位に立ち、且つ年齡も社會的地位も高いから、その責任は自から重いと見られたのだと解釋される。而して民間側の判決は海軍側よりも概して一段重く判決されてゐるやうだ。直接手を下さなかつた橘が無期となり、殺人幇助に過ぎざる大川其他が十五年、十年、八年を課せられてゐるのによりては、此の感を與へる。此の點に就いては、判決の當日、衆議院に於て中井代議士が質問してゐる。之れに對して、首相は考慮すると云ひ、法相は承つておくと云ひ、陸海兩相は各自獨立の權限內の事だからと答辯し、柳に風の態度を執り、敢て論辯を重ねない、但し海軍側が豫備罪だけに執行猶豫を與へ他はすべて執行猶豫を與へないのは三裁判同樣であり、軍人側は禁錮であるのに、民間側は懲役となつてゐるのは適用の法律が異なるから已むを得ない。尙軍人側、民間側共に未決拘留日數を刑期に加へてあるのは同樣である。

◇

要するに三裁判共に夫々、法規の解釋と、裁判官自身の信念と、社會一般の空氣とを調和化合せしめて、法の威嚴、國家の安寧、社會の秩序を維持せんことに苦心した跡は見える。更に吾人の特に注意を引く點は、裁判長もいふ如く、被告は法廷に於て極めて柔順であつたといふ點である。被告等が法廷に立ちて、社會の腐敗を慨歎し、社會構成の要人の所爲に憤慨する所は頗る激烈で、隨つて法の不備を議論するが、國家そのものに不滿の意はなく、國家機關たる裁判所の取扱ひにも不平の態度がなかつたことである。此の點に於て左傾派の法廷と空氣を異にする事が注目される。

吉林討匪從軍記 東京城にて 築山特派員發

宿營にも家はなく 酷寒下を進擊 老將軍の眼に光る露

見渡す限りの雪野ケ原を武歩堂々前進する中村部隊は嶮峻なる森林山岳重疊の地帶を西に東に交通不便な坂道を橫斷して住民稀薄なる寒村を追擊に追擊を續けてゐる、宿營するには宿屋なく酷寒零下四十度餘を下る寒天の野原に漸く搔き集めた枯草に火を點じ僅かに感ずる溫度に一日の勞苦を慰めつゝ固パンを嚙じる時は形容し難いセンチメンタルな氣分となつて將校も下士も皆一樣に手と手を固く握り合ふ、寄る年波に中村老將軍も何時とはなく部下の有樣を眺めて兩眼に一滴の白露を宿して居る、皆我が子である

苦しいだらう寒いだらう、御國の爲だ笑つて働いて吳れ

とは口には出さないが部下思ひの老將軍は絕えず部下の辛勞を氣遣つて居る

夜の更けるに從つて焚火は消えて行く、寒さは增す、既に凍死しさうな冷氣である、麾下の滿洲國軍よりは絕えず、傳令が來る、書信を開いて見ると共匪の一團は附近の密林地帶に在る、洞窟に陣取つて不意を襲はんとして居る、拂曉の四時を期して滿洲國軍は一齊急襲せんとする計畫である、時夜半の二時四十分、折柄月は皎々と冴え薄積りした白雪は月光に映じて絕景である、晝夜の別なく作戰に頭を捻る三木中尉も假睡の夢を破られて直に地圖を片手に作戰計畫に沒頭して居る、俄然司令部內は緊張の空氣が漲り各將士の手には期せずして銃は握られて居る――かすかに……聞える鷄鳴は暗を破つて曉を報じた突如として銃聲の響き、友軍は起つた、可成り激戰の模樣である約一時間も過ぎた頃友軍萬歲の[illegible]、老將軍の滿面には只ならぬ喜びが溢れて居る、明けて二十九日滿洲國軍騎兵團は附近殘匪を掃討しつゝ鏡泊湖畔を征服して夜半東京城に入城したと聞く我が軍の士氣益々旺盛、鐵氷の上を大馬の如く走驅する將士の勇姿は侮らぬ我が大和民族の現れだ

第一線にあつた記者は二十九日敦化に引返す、去る二十七日鏡泊湖東方地區に於て救國軍の約三百名と交戰した敦化第五旅第九團は匪首双盛以下三十四の首を二十八日の午前敦化に還送して來た、之れを西門外の樹に懸けて曝し一般民衆の戒めとして居る、首の中には婦女の三十歲位の美人がゐた、これは間島方面の討伐により壓迫されて遂次鏡泊湖方面に逃走したもので松乙溝附近にはこれ等共產匪が吳義成匪に合流し冬營の準備中である、之等の兵共匪の掃滅されるも早や目睫の中に迫つて居る

二十九日午後の傳令に依ると鏡泊湖附近の共匪は騎兵團の北進に依り續々東方露滿國境に逃走しつゝあるが、松乙溝及び房身溝附近には于學榮及び九龍の約五百名が潛伏し目下行德部隊及び滿洲國軍第五旅はこれを討伐中で相當激戰を展開し頑强に刄向ひする該匪も今や我が日滿軍の掌中に握られ殲滅間近に迫つて居る、記者は從軍して三十日午前七時寒風を冒して數十臺の自動車を連れ〇〇を出發、威風堂々折柄の白雪を蹴つて猛進した、〇日午後六時東京城に入城、車上より一望する鏡泊湖一面は絕景の一言他に形容詞なし目下鏡泊學園の建設要地なる鏡泊湖畔は雪薄く光つた氷上を見渡す限り一面の海だ、點々と見る孤島は眞に瀨戶內海の樣だ、南湖頭は何と云つても一番よい所だ、全く中禪寺湖畔の氣分がする、併し追々通信方法の杜絕することを記者は殘念に思ひ且つ苦心して居る

吉林省の奥に 麗しい美談

よい經驗と老將軍語る

二十九日某地で中村將軍と記者の二人は討匪談に花を咲かせて居ると將軍は左の如く語つた

敦化には昨年の二月に初めて來た、その頃は電燈もなし暗から城內までは單獨で步けない、必ず護衞の日本兵がついて往來したのである、一年後の今日全く見違へる樣に發展して大變落着いて居る人口も九百名にも增して著しい躍進である、今回の討伐は吉林省東部に殘存する匪賊を討伐するのであるが蘇聯側に對し尖銳化せしむる樣なことはないから安心してもらひたい、殊に極寒時の討伐は實に愉快だ、未踏の地區を行動することは掃匪のみに止まらずよい經驗を得ることであらう

學良時代の縣長と云へばいばることゝ、土民から金を搾ることを以て任じてゐたのであるが此處に滿洲國として麗しい美談がある、昨年夏から結氷期に亘り各縣共に治安維持會に於て道路を新設して產業の開發に努めたのである、十一月上旬敦化縣長は敦化馬號間交通路視察に出張の途中雨の降る日暮方三名の土民が一生懸命土を運んで道を造つて居る、縣長はこれをみて何故こんなに遲くまで働いてゐるかと尋ねると私は明日他所へ働きに行かねばならぬので今日中に明日の分を働いて置かねばならぬとのことに縣長はその言葉に感謝してこれに御苦勞であると述べ若干の金子を與へて進むうち次は八名一組の作業するのを見てこれも前同樣に二日分を働いて居る土民の社會奉仕であることがわかりこれにも感謝の言葉を與へた、土民は縣長の言葉に深く感謝して恭しくこれを見送つた、縣長が田舍を視察することは昔から初めてのことであるのにましてや御苦勞であるとの言葉を與へ若干の金まで與へたことは土民に對し深い好印象を與へ滿洲國を眞に理解せしめて將來のため喜ぶべきことである

共匪の精銳部隊 完全に滅亡

汪淸縣下の討匪進む

【局子街三日發國通】我快足部隊の爲め後方退路を斷たれ大包圍網の中に陷つて斷末魔の悲鳴をあげながら死の狂舞を演じてゐる國境共產黨は刻一刻と迫る最後的審判の前に內訌分裂到る所に流血の慘を演じて自らの墓穴を掘りつゝあり汪淸縣中部地方を根據とする共匪金一派の如きは過日轉向した八百九十名（內十六名は妙齡女黨員）を捕へ酷寒零下四十度の寒天に一糸纏はぬ裸體となし汪淸河の銀盤上に死の舞踏を演じさせた上斬り殺しの極刑に處した事判明附近掃討中の人見部隊の大瀨戶部隊長は積雪隊を率ゐて密林の間を拔いて急行軍、一日夜彼等の巢窟たる火燒舖を襲擊したので流石共匪中の精銳を誇る彼等俄然才を執つて數時間に亘り反抗したるも遂に屈し三百五十名は我大瀨戶部隊の軍門に降り、西起を胸に抱く尖銳分子八十名は河を越えて逃走せんとし彼等が虐殺せる轉向派の死骸の上に折重なつて斃れ共匪に相應しい最期を遂げた、今回の討匪行第一收穫として大瀨戶〇隊に名をなさしめたが何ほこの戰鬪にて皇軍を案內せる延吉自警員四名戰死し惜まれてゐる

高森部隊出動

【咸北南陽特電四日發】琿春奧地の匪賊大討伐に向ふ林中尉以下〇〇名は高森中佐の引率する部隊に參加し四日午前三時圖們驛より臨時列車で勇躍出動した

滿洲國稅收激增

大同二年中の成績 一億二千七百萬圓

【新京四日發國通】滿洲國の財政狀態は順調な進展振りを示しつゝあるが大同二年一月より十二月に至る一ケ年間の租稅收入總額は一億二千七百七萬圓に達し大同元年度總額八千五百三十七萬八千圓に比し四千百六十九萬二千圓の激增を示して滿洲國財政の大躍進を如實に物語つてゐる、內譯左の如し（單位千圓）

稅目	金額
關稅	七〇、二四二
噸稅	四九九
鹽稅	二〇、七九五
田賦	三、五二八
契稅	一、四一八
出產稅	八、二二四
礦業稅	六四二
營業稅	四、二一五
牲畜稅	一、二一一
煙酒稅	三、〇四一
統稅	九、八六四
印花稅	一、八八四
雜稅	二〇〇
雜收入	一、三〇七
合計	一二七、〇七〇

石黑中佐歸還

匪賊多數歸順

【局子街四日發國通】五色の滿洲國旗を黎明の風に靡かして匪賊討伐に當り消息不明となつてゐた石黑中佐は突如四日朝英姿颯爽として蛟河郊外に現れた、同中佐は一月以來太平匪の巢窟たる高爪店に乘込み極力說得に努めた結果匪團は中佐の熱と誠に動かされ無條件歸順を誓つたものである、なほ吉林匪賊の龍虎として太平匪と併稱せられてゐる德林もこれに倣うて歸順すべく老黑溝一帶に部下四百名を集結中である、斯くて石黑中佐の決死的冒險により吉林中原の匪賊一千吉林より出で王道仁政の陽光に浴する譯であり同中佐の功績は吉林匪賊史最後の一頁を飾るものとして讚へられる

單衣一枚の滿洲行脚

沙門　田口省吾

◇…滿洲行脚に就て特に御鞭撻に接し有難く感謝致します。人類は自然を征服して物質、キカイ文明を築き其の極に達したかの觀……然し事實は其れに反し苦惱の淵に彷徨してゐます。世界人類に眞の平和と幸福を願ふならば、今一度、原始に還れば良い。

◇…人類は風俗に依つて其の國の差別もしてゐます、然し其の表皮を脫げば、絕對に人類は平等である、其の平等の眞實性、絕對愛より生れるものでなければ眞の幸福は望まれないのでせう……ではありますまいか。

◇…新興の滿洲……積年の苦惱と殘忍さの巷から脫れて世界人類の幸福と平和との眞實の女神として、リーダーとしての光榮は寧ろ感謝せねばならない。日滿支露米等々ではありますまいもの。

◇…正義と人道と平和との爲には飽くまで、強く、根強く、永續性を持たねばならない、如何に頑迷の徒が云々するとも。

◇…滿洲の平原を望む時朝霧の雲間から浮き出るあの日の本の光り……何んと輝かしきものでせう。新興の滿洲を畫いてゐるかの感じが致します、自然の調べのリズムの中に、呼吸してゆくの自然、自然は自然によつて宇宙を形成しつゝある。何にも不思議はありますまい。

◇…着奉以來十日、皇軍、滿鐵、警察、奉天驛、中學、座談、等々寧日なく、愈々二十九日益々元氣、益々すこやかに、酷寒の四十度、等々目指して奧地へ――、行脚さして戴くことを神佛に感謝致します。又何れ。合掌。

滿洲移民協會 設立を提唱す（下）

南智坊生

（本篇は今春淸水本之助氏と行を共にしたる「南智坊」氏の手記なりし所、原稿發送者が淸水氏なりしため同氏を作者と誤認したるものにつき茲に正誤します（編輯係））

然しながら彼の福島關東都督により創設せられた邦人農業團體移民の草分け關東州內愛川村における二十ケ年の體驗によれば滿洲における移民問題は或る一部の人々によつて考へらるゝ如く簡單容易なものでは決して在り得ない、否な寧ろ非常なる難中の難事であることを痛感するものである、たとひ夫れが單なる試驗的小規模の事業であつても今日の如く未だ一般的に關心も認識も淺く關係者とへも亦樂悲兩論に分れて論爭し國としての方針が決定しない以前に於て各自銘々の體驗や信念に基き思ひ思ひの理想に向つて進みつゝある事は（今日の場合實に已むを得ない事ではあるが）勢ひ過大なる犧牲を餘儀なくされ、而も不成功に終る場合が多からざるを得ない而して比較的統制を缺ける事業の常としてたとひ夫れが成功したる場合と雖もその體驗又は資料が將來の計畫に對して範とするの價値なく又失敗の場合も同樣に戒とするに足らざる場合が多く所謂勞して功少なきのみならず却て恐るべき有害な結果を招來する場合がある、卽ち國民嚴視の中にあつて先鋒を行く此の種の事業が不用意中に不成功に終はりし場合は單なる失敗といふに止まらずして進んで世人をして事業そのものが終局的に絕望なりとの錯誤を深く腦裡に刻ましめ折角芽生えし國民の海外發展の氣運を永く冷却し去るが如き結果となるのである

要するに滿洲移民の如き重要なる特殊使命を有し而も至難なる事業に對しては官民並日滿兩國の間に十分理解ある協力の存することがその根本條件であつてこの協力なくしては到底事業の遂行は出來るものでない、而してこの協力を得るためには此の問題に專念し得る特別機關がなくてはならぬ、卽ち日滿兩國の輿論を喚起統一しその國策を指導し得る底の强力なる機關が日滿協力のもとに設立せられこれに依つて移民に關する根本の諸方策その他實行上一切の問題を愼重に調査研究せられなければならぬ、又斯くして凡てが科學的に經濟的に而も實際に卽して無理のない何人をも首肯せしむるに足るべき意見が纏まり之に基いて國策が定められなければならぬ、一旦國策が決定せられし以上は國民は全力を傾倒して其遂行に邁進すべきである

さり乍ら如何に强力なる機關が設立せらるゝとも確乎不動なる國策が直に樹立せらるるものでない事は甚だ明かであるが只此處に見逃す事の出來ない一事がある、夫れは移民問題に關しては世に表はれたる權威者の外にかくれたる篤學の研究者や實際家が相當にあつて名論卓說や得難き體驗や秀でたる着眼を有して居る、又年々調査研究の爲めに渡滿する者が頗る多數であつて新聞、雜誌「パンフレット」等に有益なる意見を發表して居るが中には淺薄有害なるものもあり又一見部分的には頗る合理的なるが非實際的なものもあり、甚だしきは世人を毒するが如きものもある、然れども未だ之等を綜合統括して短を補ひ長を集めて活用せしむる處の何等の機關もなく折角の貴重なる資料も多く看過散逸してしまふものが多い、誠に國家のために評價し能はざるの損失といはねばならぬ、單に之等に對しても此際有力な機關が一日も早く設立せらるゝことを必要とするのである

協會の設立方法、構成、機能等については有力適任なる發起人に於て立案せらるべきものなれども大體に於て次の如き骨子を有するのが望ましい

一、日滿協力の公益法人たる協會を設け本部は東京又は新京に置き各地に支部を設くる事

二、協會には權威ある評議機關と權威ある常設調査研究並事務機關とを有し輿論を喚起統制し國策を指導し得る丈けの實力を有する事

三、協會首腦者には國際聲望ある練達の士にして本事業の爲めに犧牲的に一身を獻ぐる底の人物を戴き會員には日滿兩國の各方面官民有力なる巨頭、關係方面の官公吏、權威ある學者、實際家其他移民事業に直接或は間接に關係を有する者及本協會の主旨に贊し援助をなす者等を以て充つる事

四、本會の經費は基金の利子、補助金、寄附金等より支出するのであるが成るべく基金の利子を主とする事

五、本會の事業としては滿洲移民に關する根本諸方策の研究、案畫並建議、國家機關の諮問に應ずる事

移民に關する一切の調査並研究指導、宣傳、機關誌發行、或る程度の助成並救濟、斡旋、移民並移民指導員の養成其の他必要なる事項

滿洲國大典に 慶祝方法協議

【ハルビン三日發國通】溥儀執政の登極の大典に際し當地の慶祝方法に就き北滿特別區公署、協和會等關係各方面では二日午前九時より特別區公署に第一回籌備委員會を開いたが慶祝方法に就いては數日後委員を選定の上具體案を決定の筈

萬寶山農場 民會で買收

【新京特電四日發】新京朝鮮人居留民會では在留鮮人の繁榮を期するため曩に同民會の經營に移した萬寶山農場五百天地を五萬圓にて買收十ケ年々賦で一ケ年八千圓宛返濟し十年後には完全なる自作農となすべく具體案を作成目下各方面に於て資金調達に奔走中であるが近くその實現を見るべく、右實現の曉は在留鮮人の繁榮上一大貢獻をなすものと期待されてゐる

奉天省では 建國精神宣傳

【奉天特電四日發】滿洲國の大典に際し奉天省教育廳では全省各縣に宣傳工作班を派遣し建國の精神と國體の確立その他について教育者を通じて指導し學生に精神教育を施すことになつてゐるが二月二十、二十一の兩日に亘り全省五十八縣の教育局長を奉天に招集しこれが打合せのため協議會を開催する

井上司令官

【安東特電四日發】井上獨立守備隊司令官は三角地帶の討匪狀況視察を終へて四日午前十一時三十五分着列車で五龍背より來安岡本領事招待の午餐會に臨んだのち午後一時半から安東守備隊を視閱した

奉天に歸還

【奉天特電四日發】三角地帶の殘匪掃蕩東邊道方面の治安狀況視察中の井上守備隊司令官は土肥原機關長三谷警務廳長千田司令と共に四日午後二時安奉線で歸奉した

土肥原少將

【奉天特電四日發】海城方面治安狀況視察中であつた土肥原特務機關長は四日午後二時歸奉した

人事

▲吉澤淸次郞氏（駐滿大使館一等書記官）四日午後七時三十分着列車にて來連
▲宇佐美寬爾氏（鐵道總局長）同上
▲猪子一到氏（鐵道部輸送課長）同上
▲江崎重吉氏（大連鐵道事務所長）四日午前九時發列車にて新京に赴いたが途中豫定を變更引返し同上歸連
▲藤森正平氏（滿鐵商事部營口販賣事務所庶務主任）五日午前九時發列車にて赴任

大觀小觀

滿鐵社債……發表すると直ぐに一億……になるか豫想されぬといふ盛況、財界はなる程現金なもの▲法相、共產黨には防止の爲に刑を重くする必要あるのみならず、シンパも重く罰する必要ありと明言す、政府の意思明白、誰も異存なし▲多年の米作獎勵政策見事に奏效したのは結構だが、爲めに米價調節法は無效になつた▲滿洲の米作は考へものと、拓相も議會で言明す、滿洲移民の爲めに重大な根本問題たるを失はぬ▲機械工業を發達させて困るのも、農作を發達させて困るのも、畢竟は同樣な理窟で、經濟政策の根本問題を攻究せねばならぬ時代になつたのだ▲南部新疆の獨立には、英國の後援があると、南京政府の視察員が報告した▲恐らく間違ひあるまい、一方にはソ聯の手が入つてゐることも間違ひあるまい▲中央アジアにおける英露競爭が益々激化すべきも間違ひない▲米上院、債務不拂國には報復的に、金融市場の門戶を閉鎖する事を決議し、下院に廻した▲結果如何は不明だが、アメリカも追々とせちからくなり、大國振りを示して居るわけにいかなくなつた。

金選手新記錄を出し 九年度選手權を獲得

全日本氷上大會終る

【安東特電四日發】日本氷上選手權大會第二日目の午後は引續き四日鴨綠江リンクにて擧行、午前中女子五百米に驚異的日本新記錄を作り男子選手は最終レースたる一萬米に全能力を注ぎ各組とも白熱的レースとなり加ふるに午前中の強風落ちて一米弱の微風となり氣溫亦昇つて一度五分の絕好なるコンディションとなり遂に待望の如く關東の金正淵選手は小池富治選手の保持する一九分四秒一の記錄を更新して一九分二秒八の日本新記錄を樹立し、前年度選手權保持者李聖德選手を破り二一五・六二點を以て昭和九年度の選手權を獲得した、右一萬米終了後選手役員一同中央役員席前に整列し交野聯盟會長より竹田宮賜盃並に滿鐵總裁盃及び滿洲體育協會盃を男子優勝者金正淵選手に又女子優勝者瀧選手にそれぞれ授與し國旗降下式後關屋安東地方事務所長の發聲で萬歲を三唱し午後三時半盛會裡に終了したが男子競技に於て二つの新記錄を又女子競技に於ては四つの日本新記錄を作り氷上日本の異常なる躍進振りを示した

男子一萬米

第一位 金正淵(關東) 一九分二秒八(日本新記錄)
第二位 李聖德(關東) 一九分一八秒四
第三位 小池富治(諏訪) 一九分二六秒二
第四位 行田和(諏訪) 一九分三一秒
第五位 潤間留十(諏訪) 一九分三七秒四
第六位 潤間正見(諏訪) 一九分四一秒
第七位 安達和男(奉天) 一九分五一秒三
第八位 尹明珠(朝鮮) 二〇分一秒三
第九位 河村泰男(奉天) 二〇分七秒五
第十位 崔龍振(關東) 二〇分九秒三
第十一位 南洞邦男(奉天) 二〇分三三秒三
第十二位 木谷德雄(安東) 二〇分三四秒四
第十三位 三代正勝(撫順) 二〇分三八秒九
第十四位 石塚庄三(撫順) 二一分四一秒

大會規程によりベスト十四名で最終の一萬を行ふ、氣溫一度五分、風速西北一米弱の絕好のコンディション第三組の尹明珠は行田と最初よりせり合ひ行田七周目よりリードせしも十周目に轉倒した爲新記錄への躍進ならず又木谷は崔龍振と第四組に組み十周まで兩者併行せしも後木谷遅れ河村も亦ものに成らず漸く最終回にシートされた金正淵は最初より急ピッチで走り小池これを追ひ拔く能はず遂に金正淵の日本新記錄なる

總得點順位左の如し

第一位 金正淵(關東)
第二位 李聖德(關東) 二二五・六二點
第三位 崔龍振(關東) 二三三・〇九點
第四位 河村泰男(奉天) 二三三・二三點
第五位 木谷德雄(安東) 二三三・三三點
第六位 小池富治(諏訪) 二三三・三四點
第七位 安達和男(奉天) 二三四・一二點
第八位 尹明珠(朝鮮) 二三四・一九點
第九位 潤間留十(諏訪) 二三四・三三點
第十位 行田和(關東) 二三五・二〇點
第十一位 南洞邦男(奉天) 二三八・一九點
第十二位 三代正勝(撫順) 二三八・三七點
第十三位 潤間正見(諏訪) 二三八・八二點
第十四位 石塚庄三(撫順) 二三五・五四點

岡部氏批評

好晴と鴨綠江としてはめづらしい微風に惠まれて從來にない好記錄を得た、中にも金正淵君の五千メートルと一萬メートルの日本新記錄は世界的に見ても素晴しい記錄で、世界選手權大會に出場しても十位以內には入り得ると思ふ、唯一萬メートルのタッソタイムが餘り區々になつてゐたと、後半に弱味を見せたことは更に研究の必要がある、フォームは李聖德君が最も理想的で重心が後に充分かゝり上體の態態もよくブレードの使方も全選手中一番合理的に思はれる、たゞ氷を抑へる場合一息足なのばし強く力を使ひ得ないが、諏訪選手得意のがんばりさればりで五千一萬に見事な成績を見せ特に行田君が會心のスピードに乘つて一萬の時全般の五千を九分十五秒(日本記錄九分二十六秒九)で走つたが轉倒したのは惜かつた

……◇……

滿洲選手は前にも批評したやうにもつと考へなければならぬ、女子競技で瀧さんは千五百メートルに非常に見事なフォームと力の分布に依り大記錄を出して優勝されたのは滿洲女子競技のために萬丈の氣を吐くものである、この競技に木谷孃が轉倒されたのは惜かつた

中園から短刀を受取り何をしたか?

謎を解くは博士のみ

兒玉博士邸の殺人事件は中園の供述によつて波瀾の輪を大きくし兒玉博士の共犯關係の疑ひがある程度まで明かにされ、五日午前九時半より開廷される公判四日目の空氣は雨か風かをはらんで緊張裡に開かれるが、萬一中園の供述が眞とするならば博士は當然喚問さるべきで恐らく訊問の點は公判三日目中園が最後に見得を切つて「自分は博士が罪になる樣な事があつては檢察局では噓をいつた」との陳述に置かれ飽までその點が追究さるゝ事と見られてゐる、しかも中園が依然として博士に短刀を渡したと陳述すれば結局博士がその短刀をどう扱つたか興味のある所で、この事實を語り得るものは兒玉博士を措いて他になく愈々博士の召喚如何は注目の的となつて來た

重要な本日の公判

中園の陳述を確めて 女中ウメを證人喚問

檢察局では中園の供述が最後のドタン場で一轉して博士に對する幾多の疑念が深まると共にこれを起訴猶豫とした事實に對し頗る狼狽し、これが善後策に對して高井檢察官に池內檢察官同道、四日旅順に下田檢察官長を訪問、種々重要協議を遂げるところあつた、萬一中園の供述が眞實なれば當然檢察局としてはそこに責任問題が生じるわけで、その成行は注目されるが五日の第四日目公判こそ中園の供述の眞僞を判然とさせる重要な公判でその結果によつて博士喚問が決定することゝなるわけで、さうなれば既報の如く喚問問題が相當論議される模樣である、なほ本日の公判では兇行當夜を知れる唯一の證人兒玉博士邸の下女馬場ウメ(二〇)を證人として出頭を命じ種々審問することゝなつた

被告の意思尊重 控訴を取下げん

茨城法曹團で協議

【東京四日發國通】五・一五事件民間側の愛鄕塾關係被告に對する判決を不滿とし辯護人獨自の立場から即日控訴の手續を執つた茨城縣法曹團代表は四日午前十時市ケ谷刑務所に赴き橘等十七名の被告に一々面接右事情を報告被告側の意見を確めたところ橘等は今回の大事決行は一身を捧げて國家本位にやつた事だから潔よく國法に服したいが一切は辯護人にお任せすると固き決心の程を示したので代表はこれを諒として引揚げた、よつて茨城法曹團では改めて兩三日中に今後の打合せを行ふ事となつたが被告達の意思を尊重し辯護人側の控訴取下げ潔よく一審を以て服罪せしむるものと觀られてゐる

中田選手優勝

全滿卓球大會

滿洲卓球協會主催全滿個人卓球選手權大會は四日午後も引續き擧行されたが滿洲一流選手を網羅してゐることゝて物凄き白熱戰を演じ美技續出に觀衆熱狂し手に汗を握らし豫選終了後各組の優勝者及び次點者のリーグ戰を行ひ結局中田全試合を通じて敵に一ゲームも許さぬ驚異的の記錄を以て九年度の覇を握り入賞者にそれぞれ賞品を授與盛會裡に午後四時閉會したが豫選以後の成績左の如し

▲各組優勝者戰 一位中田(九)二位岩崎(五)三位鮫島(四)四位丸田(一)

▲各組次位者戰 一位河田(九)二位越山(六)三位小川(六)四位櫻井(一)

頭腦的プレー

優勝者中田選手は昨年三月京城齒科醫專を卒業し四月大連醫院に勤務、滿洲での卓球大會に出場したのは今回が初めてであるが京城時代から齒專の主將として鳴らしてゐた▲けふの同選手の試合振りを見るのに殆んど地味な受身の戰法で巧妙な球捌きに敵の失を待つてゐたが、これは確かに強氣一點張りで頭腦的プレーに多大の缺陥を持つ從來の滿洲プレーヤーには大きな教訓となつた

北支滿洲視察

今回休暇を利用比較的隊付勤務の長い各兵科將校並に同相當官陸軍教授、法務官一行三十六名は一班九名宛四班に分れ約一ケ月の豫定で北支、滿洲の一般的實情視察のため來滿することゝなり、先發隊として第一班小阪步兵少佐、第三班安岡三等獸醫正の一行十八名は四日朝入港うすりい丸で來連、旅大を視察の上五日出帆天津丸で北支視察へ出發する

慶應快勝

對早大ホッケー

【東京四日發國通】早慶アイスホッケー戰は四日午後三時半から芝浦リンクで擧行四對二で慶應勝つ

慶應 4 (2―2、2―0、0―0) 2 早大

滿洲の寒さを思へば 怠ける氣は起らぬ

教子が副官への音信

【奉天特電四日發】子弟の情が世間から忘れられやうとする時守備隊第二大隊の坂口副官に元の教子であつた大阪中外商業學校の一生徒から熱情をこめた師弟間の音信が到着し副官を感激せしめてゐる

内地も近年にない寒さです、滿洲は零下三十度と云ふ酷寒ださうで私共は想像もつきません、かうした寒帶に毎日我が生命線を護つて下さいまして私共が內地に居て無事に勉強出來るのも全く皆樣のおかげと淚を以て感謝して居ります、教官が私共の學校に居られる時教官のいはれることを聞かす話をして叱られたことがありますが今となつて私の悪かつたことがよく分り只今の教官の命を聞いて一生懸命勉强して居ます、やがて將來は學校の爲に盡し教官と共に滿洲の第一線に立ち働く時が來るであらうと考へて樂しんで居ります、何か遊んで怠けたくなる時教官の酷寒と闘つて奮闘されて居られることを思ふ時とても怠ける氣にはなれません、何とか萬分の一でも報恩したいといふ氣持が心の奧底から湧き上つて參ります

衝突した刹那 彈藥が爆發

明月溝驛の椿事後報

【局子街四日發國通】四日午前三時二十分京圖線明月溝構內にて敦化に向ふ裝甲モーターカーが新京發圖們行の貨物列車と衝突モーターカーは滿載せる彈藥發火一大爆音と共に炎々たる焰に包まれ乘車員七名中兵四名軍屬三名全部燒死す急報に接したる延吉よりは林大尉、軍醫、看護兵と共に臨時列車にて現場に急行した、衝突原因は目下調査中、燒死兵は敦化部隊にして其の氏名左の如し

上等兵宮本昭、二等兵太田原勇、井關厚、高橋平內、軍屬の氏名は未だ判明せず

執政御乘用の大典自動車

金色の御紋章入りの パツカード三四年型

【東京四日發國通】三月一日即位大典に際し溥儀執政の乘用せらるべき自動車は曩て赤坂の三輪自動車會社に御用命あつたが四日漸く完成六日横濱から海路發送する事となつた、自動車は米國パッカード製作のセダン三四年型でラヂエーターキャップとドアに一寸八分の金色の御紋章附で外部は上が黒無地、下は赤、窓の周圍は赤色で極めて美しくその他從者用のセダン六臺護衛用オープン二臺も出來上り同時に發送する事となつた

交通整理を 人出を利し實習

昨日浪速町と大山通の角で 交通專任巡査が指導

年の中に春立つ四日の日曜日は朝來の好天に惠まれ、加へて珍しく節分につゞく初午でもあり、それに午前十時から開催のアイスホッケー及びフィギアー選手權大會、午前九時からは本社西部支局後援の下に開始された氷上運動競技會、また午前十一時入港のうすりい丸も一杯に客を乘せて四日の埠頭は出迎へ人のため混雜を呈するなど近來珍しい人出を見たが、更に午後に入つて連鎖街から浪速町にかけこれら人出の流れで步道も埋まる程であつたこの混雜時を利用して大連署交通係では岩井保安主任指揮の下にさきに警視廳より招聘され來任した六名の交通巡査を指導員として午後二時から三時間に亙つて最も人盛りのする浪速町、大山通り角に於て交通係員總出動の下に將來の交通整理完備を期するに先づ交通係員の訓練を行ふべく五名の係員によつて整理實習を行つたが、何分市民が從來の不規則的交通に慣れ切つてゐるせゐかストップの信號を無視して停止線を飛び出し一々係員の注意を受けたりゴーの場合にも拘らず尙不安氣にキョロ〳〵周圍を警戒する等先づ大連市民の交通智識は落第の方に近いものだつた、これに鑑み大連署では漸次交通行人訓練の方法によるべく午後は毎日の雜踏時を見計らつて訓練をする筈である、尙市民が實際に此整理方法に慣れて來たら櫻井式ゴー・ストップ機に替へることゝなつてゐるが同機は近く內地に向つてこれが註文を發せられる筈である【寫眞は浪速町大山通の交通整理】

明大堂々と勝つ

對濠洲ラグビー試合

【東京特電四日發】全濠洲學生軍と明大とのラグビー戰は四日午後二時半より神宮競技場にて擧行された

◇前半 濠洲のキックオフで開始三分辻田よくぬけてミスのタックルを受けながら右ポスト下にトライゴール▲二十一分明治右三十五ヤードタイトから明大左オープンへパスし鳥羽は出足早や過ぎた濠洲バックをぬき左タッチに沿うて快走六十ヤード中央へまはりコンデトライ(笠原コンバート)▲明大壓迫な重れ丹波右オープンへキックするを渡邊受けて左へ丹波、辻田、鳥羽と渡つてトライ(笠原ゴールならず)

◇後半 五分鳥羽のトライ(ゴールならず)▲十分濠軍明陣右五ヤードへのタッチで好機を迎へルーズとなり明大側に出た球をビヤース抑へ濠軍最初のトライ(ゴールならず)▲十五分明大右隅へトライ(コンバートならず)▲更に明大は二十二分スクラムトライで明二四、濠三、二十五分中央へトライし二十八分シルコックのトライで、三十二分鳥羽の左中間トライしそのまゝで押切つてタイムアップ、三四對八で明大軍堂々と勝つ

明大 34 (21、13)(8、0) 8 濠洲

赤城艦上機 海中墜落

渡邊兵曹絕命

【鹿兒島四日發國通】鹿屋飛行場にて訓練中の第一航空戰隊赤城艦上攻擊機三五四機に渡邊三等兵曹大澤一等航空兵同乘柴田中尉操縱して四日午前十時半頃有明灣上にて爆彈投下演習中機體に故障を生じ不時着陸せんとしたが及ばず海中に沈沒し搭乘者は漁船に救助されたが渡邊兵曹は手當の効なく絕命した飛行機は驅逐艦出動引揚中

空巢狙ひ檢擧

四日午前十時ごろ小崗子露天市場内を徘徊してゐた擧動不審の支那人を小崗子署刑事が發見去る一日市內富久町孫文魁方を襲つた強盜犯人容疑者として本署に連行取調べたところ原籍山東省×縣生れ住所不定無職張玉福(二二)と判明、昨年暮れより市內連鎖街方面に空巢專門の窃盜を働いてゐた旨一部自白したが餘罪多數の見込で嚴重取調べ中

司厨長天然痘

四日早朝入港した洮南丸司厨長古館健五郎氏(四七)は航海中一月三十日發病入港と同時に診斷の結果天然痘と確定、療病院に入院した

楠本選手 決勝戰へ

【マニラ三日發國通】フィリッピンオールカマーズ庭球選手權試合に遠征の楠本平井兩選手は地元選手を連日打破り共に準決勝戰に進んだが三日楠本選手はフェリスアムポン選手を破つて決勝戰に殘つた平井選手は四日セオナルドガピア選手と對戰の筈

楠本選手 (六、六、六)(二、〇、二) アムポン選手

安樂子

「法師ほど世にすさまじきものはなし」とかいつた兼好、自分の事は忘れてゐたのか、とも角近頃の僧侶の勇猛果敢さは、さこそ求道捨身の人と知られる。そのエピソード一つ……。

……◇……

熱河聖戰のまだ始まらぬ前、關東廳の藤原秘書課長を訪れたのは日蓮宗の僧二人、用向を聞くと「北滿へやつて下さい」その面魂、精進料理の加減か蒼白だ一寸揶揄する氣になつた藤原氏「行くなら熱河へ行き給へ、行つて殺されたがいゝ、それで君達の仕事はすむのだ」

……◇……

ところが僧はこはがるどころか大乘氣でその場は歸つたが、さてそれからは三日にあげず「熱河行はまだですか」とやられ、流石の秘書課長も到頭悲鳴をあげて「助けてくれえ!」折も折かの熱河聖戰が始まつたのでその話もお陰でオヂヤン、最近藤原氏ツクヾ歎じて曰く「俺はあの時ほど弱つた事はなかつたぜ、ハヽヽ」(寫眞は藤原氏)

北満特産の出廻り増加の傾向現はる
中旬よりも下旬に五萬餘瓩増
漸次活況をみるか

【奉天】北満特産出廻は依然振はず齊克線の如き一月下旬は三萬五千五百五十七瓩で前旬より四百十三瓩の減少を來して居る、而して一月下旬の國線全線の貨物發送瓩數は卅七萬五千五百七十八瓩で前旬に比し五萬六千百廿四瓩の増加を示して居る即ち次の如くである

	一月下旬	前旬比較（△印減）
京圖線	八四、〇八二瓩	△八七〇瓩
吉海線	一三、一五〇	六、六五五
四洮線	六〇、八九五	一〇、二七五
洮昂線	三六、九九九	八、三三三
齊克線	三五、五五七	△四一三
洮索線	五、七二八	四、二四八
瀋海線	五六、四六六	一五、五七五
呼海線	三三、〇四八	九、六五〇
奉山線	五二、〇五三	二、六七七
合計	三七五、九七八	五六、一三四

この内國線搬込瓩數は二十七萬八千四百二十四瓩で中旬に比して二萬二千百六十七瓩の増加を來して居る、猶旬末在貨は八萬三千六百六十九瓩で前旬末在貨より一萬八千六百四十四瓩の増加で追々と出廻り活潑を見る樣になつたが南満に比し北満京圖線の出廻りが減少の傾向を見せて居るのは特産出廻り惡さ考へられるが何れはぼつ〳〵出るものと樂觀して居る向もあるが北鐵の運賃割引等を待機して居るのだらうと見て居る向など區々な觀察が行はれて居る

何と珍しい靜かな就職戰線
總局の電氣技術員募集
奇現象、應募者なし

【奉天】鐵路總局は國線の機能を充分發揮せしむるため特に通信機能を司る電氣關係從事員の充實をはかるため既に二月十日を締切として電氣業務技術從事員を募集してゐるがあこがれの滿洲を目指してルンペンが押し寄せてゐるに拘らず滿洲でのこの求人に對しては餘りに應募者がないといふ奇現象を呈してゐる、希望者は大いに希望申込まるべきだ

▲應募資格　一、高等小學校卒業以上の學力を有し且つ通信電線路及び通信機の建設及び保守に五ケ年以上の經驗を有する者で年齡二十歳以上三十五歳以下のもの

一、電氣學校卒業程度以上の學力を有し且つ通信電線路及び通信機の建設保守並に試験の何れかに三ケ年以上の經驗を有する者で年齡二十歳以上三十五歳以下の者

▲募集人員　日本人約五十名

▲應募者は次記書類を受付締切期日迄に總務處人事科宛提出すること

一、履歴書自筆のもの

一、身體檢査證滿鐵醫院作成のもの

一、寫眞手札形半身像

一、電氣學校以上卒業者は卒業證明書

▲試驗施行期日　二月十八日午前九時より學科並口頭試問を鐵路總局

尚試驗に合格採用されたものは總局員として滿洲國内鐵路總局各鐵路局沿線に配屬の豫定

佳き日を迎へて北満邦人の奉祝
皇子殿下御降誕御五十日と紀元節の奉祝決定

【チチハル】來る二月十日は皇太子殿下御降誕御五十日に亙らせられ全國津々浦々に至るまで國をあげて奉祝すべく準備中であるが、チチハルにおいてもこの佳き日と翌日の紀元節を併せ奉祝し且つ非常時日本の第一線に立つ同胞の人心を振作するため記者團を中心に領事館、居留民會、滿鐵事務所、婦人會、畑部隊官傳班にて奉祝行事を協議の結果大體次の通り決定を見るに至り、直に準備に着手する事となつた

▲御降誕奉祝

一、日滿各戸に國旗を掲揚し奉祝の意を表明すること

一、邦人各家庭に於て奉祝の意義を徹底せしむること

一、小學校に於て兒童に對し奉祝の訓話をなし紅白饅頭を與ふ

一、官民合同奉祝大會を居留民會主催にて十日正午より博濟工廠に於て開催し、會場にて婦人會員が奉祝徽章を販賣すること

一、奉祝大會終了と同時に邦人官市民及小學兒童は旗行列をなし領事館、〇團司令部にて萬歳を三唱すること

一、記者團主催にて花トラック、馬車に女給を滿載して市中を遊行すること

一、各團體の假裝行列が市内を遊行すること

一、十日午後一時半飛行隊で奉祝編隊飛行をなすこと

一、航空會社の飛行機は間斷なく奉祝飛行をなし五色の奉祝ビラを撒布すること

一、記者團主催にて午後六時より龍江飯店に於て奉祝の夕を開催すること

▲紀元節奉祝

一、各戸國旗を掲揚し奉祝の意を表明すること

一、此日を期し西曆紀元のみを用ひたるカレンダーその他の印刷物に皇紀を書き入るゝこと

一、野砲隊にて正午に皇禮砲を發射すること

一、記者團主催にて十一日午後六時より龍江飯店に於て建國の夕を開催すること

斯くして佳き日を重ねて迎へる第一線邦人の歡喜は最高潮に達し當日は全市をあげて鼎の沸くが如き賑はひを呈するであらう

長城第一線を視る(4)
今にして聞く…
遵化攻撃の苦心
古北口にて　鵜川特派員

河北省は暖かい、河も凍つて居り雪も積んでゐるが熱河省のやうな寒さではない、山には松林があり、農家も草葺屋根が多く一寸風色を異にしてゐる、此處は日支兩國の停戰協定に基き非武裝地區となり、支那公安隊の駐屯により表面治安を維持されてゐるが最近英米を始め各國の間諜が潛入し且つ于學忠軍や共産黨の密偵が暗躍して相當物騷を極めてゐるとのこと、皇軍の河北作戰以來この國境地帶も一躍して世界的の舞臺に登場した譯である、一行が撒河橋を出發したのは午前七時であつた◇

トラックは夫れより漢兒莊の戰跡に向つて進行したが灤河の渡河危險な爲めその河べりで望見したのみ再び撒河橋に引き返しけふ二十六日の宿泊地薊州に向つて突進した、途中三屯營の市街を通つたが此處は敵將宋哲元が司令部を置き喜峰口の部下を指揮した處、わが空軍の爆撃を受け倉皇として逃げ出したと云ふが城壁は原形を止めぬ迄に破壞されて實に慘澹たる最後を止めてゐる、この附近より河北平野は徐ろに開けて遵化附近は全くの盆地、土地も肥沃のやうに見受けられる、遵化は排日の中心地、今でも國民黨の支部があり相當根強い排日工作を行つてゐるとの事である◇

一行は遵化手前に下車、民家に入つて晝食をとつたがこの攻擊は三月十六日早朝より開始され午前十時半服部部隊の司令部到着と共にこれを包圍し一層猛烈を加へた然るに敵は頑强に抵抗し容易にこれを拔く事出來なかつたが午後四時ころになり砲兵の南門攻擊が奏功し城壁の崩れるを俟つて一氣に突入し、つひに占領する事が出來たのだと云ふ、神谷副官は當時の戰況について　午前十一時半ころでした、街の代表が司令部に來て無辜の市民を傷ける事は本意でないから支那軍を全部退却させる、だから三日間の猶豫期間を與へて吳れと云ふ交涉でした、だが服部部隊長は三日間は長い、二時間だけ猶豫するから敵將にその意を傳へよ、若し二時間經つても返答なければ我軍は直ちに砲彈をお見舞するぞと回答してやりました、案の定返答がなかつたので再び攻擊を開始したのであるが後で聞くと商務會と立退料の駈引でゴタ付いてゐたとの事でした◇

一行を乘せたトラックは東門より入城、眞一文字に横斷し西門に拔けて通過したが遵化城はこれまで見て來た各地の城壁にその比を見ない程堅固なもので市中も商舗櫛比し頗る繁榮を極めてゐる、

鞍山の協議

【鞍山】地方事務所では五日午後一時より市内各機關代表者會議を開き十一日の紀元節當日の催しに關し協議する由であるが本年は建國紀元の當日を意義あらしむべくかつは非常時國民の覺醒緊張を促すため大々的に祝賀行事を行ふ豫定であると

映畫會を開催

【鞍山】鞍山青訓後援會では十一日紀元節を卜し富士小學校において大海戰映畫「敵は太平洋」その他の映畫會を開催するが、晝間は小中學生、夜間は一般公開、入場料三十錢であると

鐵嶺金組業績

【鐵嶺】月と共に躍進しつゝある鐵嶺金融組合一月中の業績は從々良好を示し會員の異動は無かつたが預金、貸出し等何れも左の如き好成績であつた

預金十二月末	一四、九七一圓
一月中の受入	四、六一二圓
一月中拂出し	二、三六〇圓
一月末現在高	一七、二二三圓
貸出金十二月末	七七、三七〇圓
一月中貸出高	四六、五九三圓
一月中回收高	四九、八九八圓
一月末實在高	七四、〇六四圓

なほ組合が鮮銀と金組聯合會に預金してある準備金は四萬二千九百圓あり春の市中商人躍進には充分援助する力あり基礎は愈々固くして組合員は意を強くしてゐる

鐵嶺縣下自衞團近く解散に決定
先づ縣下の狀況調査

【鐵嶺】鐵嶺縣公署では昨年來縣下の治安全く整備し事變前以上に靜穩な平和鄉となつたので事變後警察隊の補助機關として編成せる自衞團の措置に就て考究中であつたが縣下の治安は最惡の場合を豫想しても現在の警察力で充分であり自衞團の必要を認めないので愈々近く解散せしむるに決定したが解散團員の處置に就ては充分考慮し生家に歸り正業に就く者は歸鄉せしめ若し失職するものあれば就職斡旋の勞を執り萬遺憾なからしむる筈であるが解散準備のため警務局指導官をして縣下各區自衞團に就て親しく狀況を視察せしむることゝなり五日から七日まで左記の如く各區に出張せしむると

第一、二區中村(金)指導官、第三、四區桑原指導官、第五、八區中村(智)指導官、第六、七區本間指導官

なほ右豫定により親しく視察せしむるほか縣公署では宣撫班をして自衞團員は勿論各區民に對しても自衞團解散理由を充分徹底せしめ然る後解散に着手する模樣である

宣撫工作實施

【鐵嶺】鐵嶺縣公署は去月上旬縣下西方各地に第一期宣撫工作を實施して多大の效果を擧げたるに鑑み今回更に第二期宣撫班を組織して東方各地に出動すべく目下準備中なるが今回は鎌倉縣參事官、梅美副參事官もこれに參加して親しく民情を視察する筈で宣撫工作の目的とするところは帝制慶祝の徹底自衞團解消の眞意、惡疫豫防方法勵行、村制の改善、勤儉節約副業の獎勵、教育の徹底等にあり施療班も同行し各地では講演會坐談會を開催する筈、宣撫班の陣容は第一班鎌倉參事官、馬警務局長終視學、楊農會長、楊通譯、施療班(二名)を以て組織し來る七日より宿老屯大甸子、鶏冠山、阿達火清、白旗塞等を經て九日歸鐵し第二班梅美副參事官、阮教育局長、中山協和會主事、馬通譯、黃屬員、施療班二名は明六日より大汎河、大鮑崗子、蕊路、李千戶屯、茨榆嶺、遼海屯等各村を宣撫して八日歸鐵の筈

撫順社員會役員決定

【撫順】昭和九年度の滿鐵社員會撫順聯合會の幹部役員を選出する評議員會は三日午後一時より炭礦事務所會議室に開催されたが、その結果滿場一致を以て左の如く役員の決定を見た

幹事長三上安美氏、幹事（庶務部長兼任）梅本正倫氏、同（事業部長兼任）佐々木雄哉氏、同（會計部長兼任）兼安長右衞門氏、同（通報部長兼任）松本重平氏、相談部長原田周藏氏、消費部長百田詞郎氏、婦人部長酒井肇氏、宣傳部長田崎淺四郎氏調査部長木村孝知氏

なほ今回勇退した伊藤幹事長はいまだ曾てない聯合會としての重大時期に遭遇し、幾多の難懸案を献身的努力によつて解決しその功績は絶大なもので、今回の勇退は非常に惜まれてゐる

鮮人の就籍願漸く増加す
奉天總領事館に提出

【奉天】昨年十二月一日より在滿鮮人の無籍者に對する簡易就籍法が施行されることに決定したが滿洲國の情勢の一變により商租登記の施行實施の權利主張が出來ることゝなり無籍者としてはその主張が出來ないので最近奧地鮮農の無籍者の就籍願ひ出をなす者が漸次增加し奉天總領事館に提出されたものが既に七、八件に上つてゐる

鞍山中學高女入學志望者

【鞍山】鞍山中學の入學試驗は來る三月六、七兩日又新設の鞍山高女入學試驗は同七八兩日施行の由滿鐵社報發表の通りであるが、入學志願書締切は何れも二月二十日迄にして本年は兩校とも地元及び沿線その他から多數の志願があるが模樣で三日までの志願者は鞍中第一志望者百三十六名第二同四十四名計百八十名に達し鞍山高女も第一、二志望者計百五十餘名を數へてゐるしなほ期日までには餘日もあるので相當激烈な競爭が行はるゝわけである

救世軍を擴充

【奉天】キリスト教總部參謀長梅普氏は二月十二日着奉、在奉救世軍南北兩軍の歡迎を受けた後安東を視察し、滿洲各省縣下の救世軍組織に着手する豫定にして奉天部隊を以て奉天省救世軍の總隊とし各地の部隊を分隊とし吉林黑龍江省に擴充を計る豫定なりと

姚主任の廳葬

【奉天】去る二十九日早朝北大營南方老瓜堡子において匪賊の一味を逮捕に向ひ不幸賊彈のため殉職した第五署司法主任姚殿昌氏の葬儀は三日午前十時より大南關風雨壇馬神廟において瀋陽警察廳葬を以て盛大に擧行された臧省長、三谷警務廳長、水原守備隊長、于芷山警備司令官等の弔辭あり會葬者三百餘名の多數に上つた

勇士の遺骨

【奉天】三日午後八時三十五分勇敢なる兵士の遺骨二十四體は戰友に守られて着奉東本願寺に安置された

鐵の都鞍山に石炭の饑饉
撫順に宛てゝ抗議

【鞍山】鞍山石炭合同販賣所では急激なる當市街の膨脹に伴ふ石炭の需要激增に早くも供給難を感じ最近は中塊炭の不足から滿洲人側ではこれが代用として二號塊炭を奬めてゐる有樣であるが炭質粗惡等の關係で中には邦人名をかりて中塊炭を註文し來る等滿人側の不平を買ふといつた工合でこゝもさ鐵の都も石炭饑饉時代を現出してゐるが會社側では右に鑑み撫順側同業者に對し炭質、供給量につき嚴重抗議を發するとゝもに一方煙

◇奉天　二日午後十時頃富士町三番地伊藤洋行店員山○(二六)は八幡町四番地カフエーロッコで散々飲食した揚句圓七十錢を未拂のまゝタクシーに飛び乘り行方を晦したので屆出により奉天署では同人搜査中のところ一時頃西塔大街朝鮮料理快樂に於いて逮捕し目下嚴重取調中であるが彼はモロッコから自動車で暖房に赴き金泉館、明月等の料理店において暴行を働きその後塔大街へ赴き快樂へ登樓したものである

◇奉天　奉天驛では乘降客の增加とその事故防止に鋭意努力中であるが十日より十三日迄盜難防止週間を實施し旅客携帶貴重品を特に注意することゝなつた

◇營口　營口稅關では來る二月十三日(除夕)及十四日(春節)の六日間は舊年末年始に當するため休暇することとし小包郵便物及航空機旅客の檢査徵稅は平常通施行すると第一號松原營口稅關長より發表した

◇鐵嶺　來る四月當小學校に入學する兒童は百六名あり從來に多いが新學期から學級を增し訓導一名增員となるから喜ばれてゐる

◇鞍山　新設の鞍山劇場株式會社代表末宗安吉氏は會社創立並ひ愈々事業の具體的進行を見ることゝなつたので二日午後六時在鞍記者團を銀蝶に招待し會社の主旨及經過並に今後の方針につき懇談淸宴を張つた

營口商議役員會

【營口】營口商業會議所にては四日午後四時より同所樓上にて本年の初役員會を開會し左記報告等を爲し會議後恒例により宴を催した

第十一回全滿商議理事會に關する報告、關東廳商工會議所令發布準備調査に關する件、營業協會に關する件等々

月十日午前十時より開校式を擧行することゝなつた

大連JQAK　二月五日

南蠻彩船(33)
鈴木氏亨作　布施長春畫

石川五右衞門(三)

新刊紹介

滿日柳壇課題

（明治四十八年十月二十五日第三種郵便物認可）
滿洲日報
朝刊夕刊共十二頁
定價　一ヶ月金一圓五十錢
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

拘禁中のソ聯從業員 數日中釋放に決定す

滿ソ兩代表けふ具體的取極 北鐵交渉急速に開始

【ハルビン特電四日發至急報】北鐵從業員六名の釋放問題については日滿蘇政府當局の間にしば〳〵折衝が重ねられたが最大の難關たる後任問題についても適當に善處すべく略々諒解が成立したので滿洲國政府は近く御大典を控へ國際關係の圓滑をはかる意味も含め愈々釋放するに決定したらしく施外交部代表スラウツキー蘇聯總領事は右問題に關し四日それ〴〵政府の訓令に接した模樣で兩代表は五日會見具體的取極めをなす筈、尚六名の釋放は茲數日中なるべくその結果北鐵讓渡交渉も急速に開始される模樣である

ス總領事を召還説

【ハルビン四日發國通】在ハルビンソ聯總領事スラウツキー氏は對滿洲國政策遂行上においてモスクワ政府の非難を受け近く本國に召還される事となつたと取沙汰されてゐる

日本農村の救濟に滿洲の米作阻止

朝鮮米の輸入奬勵 永井拓相衆議院で答辯

【東京特電三日發】農村對策が議會の中心問題として眞劍に討議されるに際し三日衆議院豫算總會では内地米作の過剩生産處理に關聯して朝鮮米處分、及び滿洲の水田開發問題が憂慮せられ滿洲に米作奬勵の結果その生産品が内地に逆流して來る惧れあるに對し如何なる方策をとるかとの質問あり永井拓相は朝鮮米が現在約三十萬石滿洲に輸出されるが將來なほその増加を圖るとともに滿洲の米作に就いて愼重の考慮を拂ひ我が政府の力の及ぶ限りにおいては米作の出願を許さず、また滿洲國政府とも連絡して内地農業を脅威しないやうに注意しつゝあると答へた

治維法上程

衆議院本會議（三日）

【東京三日發國通】三日の衆議院本會議は治安維持法改正案上程され論戰が豫期されるので議場は頓に緊張傍聽席も早くからすし詰の裡に午後一時二十三分開會議事日程を變更し加藤鯛一君（國同）緊急質問として議事進行に關し

内閣が選擧法改正案其他重要法案を未だに提出せぬのは怠慢だ秋田議長は政府に如何なる措置を執りしやと問へば

秋田議長　此の際政府の所見を聽くに好都合と思ふ

齋藤首相　政府も議案提出を急いでゐる追々提案すると信ずる

次いで日程に入り

一、治安維持法中改正法律案

を上程、小山法相提案理由を説明して質問に入る

高見之通君（政友）登壇　我國體を疑ふ者を嚴罰するは毫も異論はない、生活難からの赤化に對しては社會政策を加味し取締を嚴重にすべきだが純理論により共産黨に入る者に對して政府は如何なる對策を有するか、これに對する理論の統一につき政府は如何に考へてゐるか又我國體を内外に闡明し思想善導のため各省の現機關を統一し社會省の如きものを設置の意なきや

小山法相（登壇）理論的共産主義者にはそれ以上の理論で説諭の方針の下に司法當局は努めて居り眞の轉向者には起訴猶豫をなしてゐる又主義者の理論克服に就いては御説の通り大和魂によることに同感であるこれが統一機關としては關係當局たる文部、内務、司法各省連絡してゐるから今は社會省の必要ないと信ず

齋藤首相も法相と全く同意見の旨を述べ次いで

小林錡君（政友）登壇　首相の思想對策を具體的に説明されたい、又刑法改正を急ぐ意思なきや、私有財産制否認に就いては種々疑問があるが此の條項を今回の國體變革の重大規定と並べてゐるのは不都合ではないか、次に外廓團體に對する處罰規定は嚴に過ぎぬか、また豫防拘禁の新規定は果して實效ありや

首相　思想對策としては治安維持法改正の外思想善導、教育制度改善等各般の努力を續けてゐる

法相　刑法改正は何時成案を得るか明言出來ぬ

最近の共産黨は兇暴性を有し外廓團體に關する法案も至急改正の必要を痛感した結果今回の如くしたわけで外廓團體嚴罰は以前からの事だ、又私有財産制否認の社會主義思想と共産主義思想とは國體變革を計る點に於て密接なる關係を有してゐる

比佐昌平君（民政）登壇
一、政體變更と國體變革の限界如何
一、議員の議場外に於ける行爲はすべて個人の行爲なりと前議會で政府委員が言明した法相の所見如何

法相即答を避け比佐君再質問するも答へず

久山知之君（政友）登壇　この頃から議場漸くダレ氣味となり質問者にも政府側にも熱なし

久山君

法相　忠君愛國を表看板にして不逞をなすものを取締る條項を治安維持法に規定するのは立法技術上困難だ

内相から軍部、警察の協調増加せる事や山岡軍務局長より軍の統制につき簡單に答へ

松谷與二郎君（國同）登壇　思想善導の具體案如何と質し、實例を擧げ警察の不當なる取調を難じ、私立學校より官立に主義者多き事及び長野縣教員赤化事件を擧げて今議會始めての文相の責任を追及すれば議場騷然、松谷君秋田議長より「共産黨發生は警官の暴逆なる取調に依る」との言を取消しせんとするものに對し法相は如何に考へるか

法相　共産黨防止には今日の事情として刑罰を重くする必要がある

東鄕文部次官も簡單に答辯し松谷君更に警官の殘虐行爲を質し、内相輕く「無いと信ずる」と答ふ、秋田議長は「掲載禁止に觸れるものは速記録より除く」旨を述べ「さい」と勸告されアッサリ取消す一幕あり

龜井貫一郎君（第一）登壇　資本主義修正の意義如何民間と軍部とが同一政治犯の時軍は檢察當局と協調するか

法相　資本主義修正とは何の意か、具體的にいはれたい

山岡軍務局長　從來とも檢察當局と協調して來た

龜井君（再登壇）國體否認と私有財産制否認を同一に取締るは無理だ、政府は私有財産制否認に關する事項を本法から削除せぬか又法相は曾て社會制度改善を説かれたが今日の心境如何

法相　五・一五事件の論告が違つたのは已むを得ぬ、私有財産制否認に關する罰則は削除せぬ

社會の一部に缺陷ありとは今でも思つてゐる

これにて質疑を了へ委員附託とし
一、臺灣事業公債法中改正法律案
一、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案
を一括上程堀切次官よりこれを説明九名の委員附託となり、午後五時三十四分散會

取引國に貿易通信員

各國の承認氣運濃化に乘じ 滿洲國七、八月頃派遣

【新京四日發國通】滿洲國の帝制實施聲明以來各國の同國に對する再認識的態度濃厚となり經濟的には領事館の復活、經濟調査委員の派遣等となつて現れてゐるが滿洲國においても自國産業が漸く國際經濟の軌上に乘りつゝあるを自覺し從來の片貿易より相互貿易に躍進すべく種々考慮を拂つてゐる、即ち實業部では曩に來京せる駐日獨大使館商務官クノール氏が滿洲國政府を訪問し大豆の輸入に對しドイツ特産品を輸出したしと懇談せるを諒としてその後各關係機關と相互貿易につき協議を進めてゐるが大體意見一致しその具體化として先づ貿易通信員を取引國並に主要各國に派遣し販路の擴張、國際經濟事情調査、相互貿易の研究等を行ふことゝなつた、尚その時期は七、八月頃となる模樣だが第一回の派遣は上海、ベルリン、ロンドン及び日本の主要各地である

最近の極右運動は共産黨と同じ目的に向つてゐる、而も彼等は軍部に呼びかけてゐる、我等が多少でも軍部の攻撃論をなせば數日ならずして憲兵の訪問を受ける

さて青年將校に配布せる極右團體の「昭和維新工作豫定」を讀み上げ斷る暴力を以て國家革命を招來

選擧法改正法案 今議會提出

衆議院豫算總會（三日午後）

【東京三日發國通】衆議院豫算總會は午後一時卅分再開、直に

青山憲三君（政友）漁村問題に關し詳細に亘り農相と一問一答を重ね

青山君　日ソ漁業條約の改正に關する外相の意見如何

廣田外相　漁業問題解決は兩國政治關係を良好に導くから充分研究準備を進めてゐる

大石倫治君（政友）米穀政策として米の消費増加を計らぬか

農相　今後充分調査研究する積り

大石君　その調査研究機關を設ける意思無きや

農相　臨時會議を開き研究してゐるが常設化するや否や決してゐない

大石君　臺、鮮兩地の米消費増進策如何

永井拓相　朝鮮人に米食を勸め臺灣でも米を原料とする麵類酒精製造を研究中である

土屋清三郎君（民政）選擧法改正法案は今議會に提案するや

山本内相　提案する積りだ

土屋君　貴族院令を改正華族制度を改革して議會政治完成の意思なきや

内相　政府は改革意見を持たない

土屋君　選擧法改正案中には破産者を缺格條項中から除外してゐるか

齋藤内務次官　目下樞府諮詢中だから申上げられない

土屋君　破産者にも選擧權を與へるは理論上當然でないか

内務次官　理論上は同感だが社會的事情から考慮せねばならぬ

土屋君　女子にも選擧權を與へ政治的、思想的國家總動員の實を擧げる意思なきや、特に政治に干與せぬ軍人の家族たる女子に與へるべきでないか

内務次官　我が國として時機尚早だ

林陸相　御説は尤もだが充分調査研究を要する

次いで**佐藤與一君**（民政）大學、專門學校の勅語、詔書捧讀に關し内相と又**林路一君**（政友）は私設鐵道補助金、北海道拓殖計畫に關し内務當局と夫々質疑應答した後**蔭山貞吉君**（政友）農村問題より軍備問題に轉じ

陸相　四割

蔭山君　農村子弟は陸軍に何割るか

陸相　つき兼ねる

小野寺局長　豫算に關して目安の意思なきや

蔭山君　常時兵力を近き將來改正

陸相

蔭山君　なほも防空、國防及び退役軍人に對する就職斡旋等に關し質問、陸海兩相これに答へ

蔭山君　ワシントン條約改訂會議に比率破棄の意思ありや

大角海相　當局としては沈默を守つてゐる方がよし

中井一夫君（政友）農村救濟に偏し何故商工業を救濟せぬか

首相　對策考究中

中井君　商相は何故商工業救濟の經綸を行はぬか

商相　財政上その他で滿足な施設は行へぬが常に萬全を期してゐる

中井君　陸相は兵農一致といふが兵、農、商、工一致といはれたい

陸相　私は兵農一致といふたことはない

中井君　今日の五・一五事件判決を見るに同じ犯行でありながら陸海軍のそれに比し極めて重刑なのは不當である、國民はこれを何と見るか、こんな事なら軍部に這入つてやればよいとの感を持たせるではないか、國家のため誠に遺憾だ

首相　政府として篤と考慮しておく

法相　御説はよく承つておく

陸相　軍制裁判兩權を持つ事が國軍のため必要だ

海相　軍法會議は獨立の權限で容喙するわけには行かぬ

中井君華族の赤化問題につき首相、法相と問答を重ね六時三十分散會

雜貨關税引上案審議を完了

印度立法議會委員會

【デリー三日發國通】中央立法議會特別委員會は三日を以て雜貨關税引上法案の審議を完了した、委員會は第三十一項毛織物條項に關し一部字句の修正を加へた以外原案をそのまゝ採擇したと確聞する但し一部委員はメリヤス類に就き修正意見を提出した、右提案は容れられず近く中央立法議會に綿人絹織物新關税法案が提出される場合再び右提案を蒸し返すものとみられる、委員會の報告書には更に二個の少數意見書が附加される見込みである

“好漢尊氏は日本のクロムウェル”

中島商相は斯くいふ

◇…中島商相の筆禍事件として國體擁護聯合會、愛國法曹團體聯盟代表などの宮内省訪問に端を發し、俄然政界の重大問題化した所謂「足利尊氏禮讃論」は雜誌現代二月號に掲載されて居るものでその内容は隨筆風に約四頁にわたつて記述されて居る、即ちその一節を取ると

◇…「或年の正月、俳友松瀨青々子と共に興津の清見寺に遊んで足利尊氏自作の木像といふものを觀た……」といふ書き出しで問題になりさうな處を拾つて見ると

◇…「一見するところ、所謂廣額豐頰、下膨れのした福徳圓滿の相で、寧ろ英雄豪傑らしい容子を認め得ない。青々子は、何んといふ穩やかな風貌でせうと評はれる。實に尊氏といふ人は個人としてこの木像に現はれて居る如く高貴な品性の持主で、其の心情は宏博にして寛裕、その度量は洪大眞に海の如きものがあつた、余は獨りならず平素最も尊氏の人物に傾倒して居る者である……」

◇…次に「…史上、南北朝の爭ひといふも、一言すれば公卿と武家との格鬪である……」とて歴史觀を述べ、要するに「……南北朝の爭ひは、公卿の進歩主義と、武家の保守主義との衝突……」であるとあり所謂尊氏禮讃説を述べて

◇…天空海闊の好漢足利尊氏は、偶々此の時代の潮に棹して遂にクロムウエルの事業を行うたのである。……」と斷じて居る、なほ個人としての尊氏の政治的立場と苦衷を論じた上

◇…「尊が終始後醍醐天皇の知遇を重しとして、官軍と戰ふことの苦衷に堪へざりしことは、容易に之を察することが出來る。されば帝の崩ずるや、文を作りて之を祭り、帝の恩を述べて細々悲惜の情を盡し、更にその菩提のため天龍寺を創建した……」と書いてある

議會に於る大臣ぶり（上）

賴りない首相 寧ろ悲壯な藏相 往年の政敵を援ける山本内相

◇…非常時内閣もはや三度目の通常議會に直面してゐる。首相はじめ藏相、内相と三長老が大黑柱となつてゐる寄合ひ世帶のこの内閣も、今期議會の如く、政黨が久し振りに元氣をとり戻し、しかも内外非常時の重要問題を眞劍に論議するやうになつては、内閣全體としても、またこの「大黑柱」の長老連にとつても相當以上の負擔であることは爭はれない。過去二年來非常時の重壓を支へたこの内閣が如何に疲勞してゐるか、寄木細工のこの内閣が如何に不一致であるか、この議會を通じて何人も容易に看取することが出來やう。

齋藤首相

◇…各大臣を通じて議會の論陣に最も賴りないものは齋藤首相その人である。歴代の首相の中原敬氏の如く、首相兼各省大臣として優れた手腕を見せた人、若槻男の如く、周到老獪な應酬振りを示したものは特殊の存在といはねばならぬが、首相としては簡にして要を得る大綱的の答辯をなし得れば先づ足れりとしなければならぬ。ところが齋藤子のそれは簡にして而も要を得ず、多くの場合一切輪長が陰にあつて答辯をメモに書いて出すのであるが、時に首相としての估券にかゝはるとまで思はれ、渡された紙片を握り潰してか、答辯するので見當違ひのことを言つて嘲笑される。斯くて議會は首相その人の口から責任ある明答を聞かうとは固より期待せず、單に順序の上から一應引つ張り出すだけのことである。

◇…非常時財政の全責任を一身に負つて奮鬪する高橋藏相の姿は寧ろ悲壯である。藏相の本會議「予算委員會を通じて、閣僚中最も多く矢面に立ち、最も多くの説明をなして諄々倦まざるものは此の人である。各黨各派の財政通が蹶起

高橋藏相

となつて突つかゝるが殆ど角力ではない。高橋翁は自ら一歩高い見地から國家の大局を達觀してゐると確信してゐる。局部的、一時的の意見などは問題でないといふ調子である。此の議會では公債政策の是正と増税による財政の建て直しが頻りに論ぜられる。藏相は「そんなことは判りきつてゐる」といふ趣旨を噛んで含めるやうに説く「増税増税といふが、今折角立ち直りかけた財界の景氣の芽をつむやうなことは大いに考へる必要がある」「増税は眞の非常時までとつて置かなくてはならぬ、いよ〳〵といふ場合に國民の懷がカラになつてゐては何もならない」等々。

◇…近年高橋翁は心身衰へて往年樂觀藏相として議會を煙にまいたやうな豪快振りは失せてゐる。「一身を國家に捧げるとはいひながら、また國家のために自らの健康を氣遣ふ老藏相は、長時間の論戰に應酬した先日の豫算總會で、質問が六時を過ぎやうとすると、つか〳〵と委員長席に近より「此の上ながくなると健康上御迷惑をかけるやうになつては困るから」と散會を催促した。普通の場合なら「怪しからぬ」と委員連がいきり立つのであるが、この人のこの希望に對して何人も異存ないふものはない。

◇…齋藤、高橋兩相に比すれば山本内相は、立場が樂であると同時に、身體も元氣さうに見える。例の選擧法改正案でも提出されない限り、この議會は大いに暇の折れる問題もないであらう。議場では高橋翁に並んで三番目の處に腰かけ、豐頰を膨らませながら、ロイド眼鏡越しに議場を睨んで、反り返つてゐるところ手持無沙汰の觀がある。往年山本氏は政友會時代、高橋氏とは政見感情全く對蹠的であつて、政友會分裂の眞因も此に在つたといはれてゐる。ところが奇しくも非常時内閣に椅子を列べて以來、財政の點では總て高橋氏に信賴して一言も容喙せぬのみか、難關に立つ藏相のために陰に陽に極力援助の手を伸ばしてゐる。兩相が議場で時々何か耳語しながら笑つてゐるさまを見てはこれが往年犬猿も啻ならなかつた兩氏とは到底受けとれない（つゞく）

山本内相

【東京支社　一記者】

田所耕耘氏

過般私用にて歸鄕中の總調査委員長田所耕耘氏は四日入港のうすりい丸で歸連したが特務部との合流並に新京移轉に關し船中次の如く語つた

特務部との合流は程度の問題だ移轉に就いては兼務の關係もあり滿洲と支那とは民族的、文化的、經濟的に極めて密接な關係にあり地理的に見て開港場を通じて仕事をすることは重要なことだから結局は部分的の問題になる譯だ

社說

五・一五事件民間側の判決

五・一五事件の民間側の判決があつた。控訴するかどうかまだ不明だから、確定ではないが大體此の事件のくゝりがついたと見るべきだ。判決を見るに、領袖株と見らるゝ、橘孝三郎の無期懲役、後藤圀彥の懲役十五年、林正三の懲役十二年、大川周明の懲役十五年、本間憲一郎の懲役十年、右は何れも檢事論告の通りになつてゐる。其他は論告無期が判決十二年になつたのが一名、十二年が八年になつたのが一名ある。十年が八年になつたのが一名、七年になつたのが三名、五年になつたのが二名だ。それから八年が七年になつたのが一名と七年が五年になつたのが一名、三年六ケ月になつたのが三名とがある。これによれば檢事の論告と、判事の判決とは大體に於て一致してゐるから、その所見は大略同樣だと察せられる。量刑に於て多少の差あるは判斷者の心持の差であつて、意見の差ではなからう。

◇

判決理由は改めて說くまでもない。論告にもあつた通りで、愛國心の發露であることは認めるが、犯行は明白であり、法律に抵觸するのも明瞭であるから法文の解釋通りにするより外はない。只、量刑に當りて法律規定の範圍內に於て輕重を定めるのは判官の心持次第である。神垣裁判長の談に、涙を揮つて馬謖を斬る感であるといふ通り、裁判官としては法規以外に出ることは出來ない。又責任を持つ裁判官の氣持には他より掣肘することも出來ない。尙執行猶豫のないことも論告の通りであつて、此の點も裁判官は法の嚴正と社會一般に對する影響を考慮したものと察せられる。畢竟行爲の動機は良くても法規に觸るゝもの及び社會の秩序に影響するものは寬假出來ないといふ主旨によりて一貫されたものと見るべきだ。

◇

之れを同一事件である陸海軍側の判決と對照するに、陸軍側十一名は全部反亂罪で禁錮四年となつてゐる。法規の許す範圍內で最も輕く取扱ひ、量刑は三年と五年の中間を採られたのだ。海軍側では、反亂罪が六名で禁錮十五年、十三年、十年の差をつけ、反亂豫備罪が四名で禁錮二年、一年の差がつけてある。豫備罪の方には執行猶豫がある。海軍側が陸軍側に比して重いのは、此の方が主動側と見られて領袖の地位に立ち、且つ年齡も社會的地位も高いから、その責任は自から重いと見られたのだと解釋される。而して民間側の判決は海軍側よりも概して一段重く判決されてゐるやうだ。直接手を下さなかつた橘が無期となり、殺人幇助に過ぎざる大川其他が十五年、十年、八年を課せられてゐるのによりて此の感を與へる。此の點に就いては、判決の當日、衆議院に於て中井代議士が質問してゐる。之れに對して、首相は考慮すると云ひ、法相は承つておくと云ひ、陸海兩相は各自獨立の權限內の事だからと答辯し、聊に風の態度を執り、敢て論辯を重ねない、但し海軍側が豫備罪だけに執行猶豫を與へ他はすべて執行猶豫を與へないのは三裁判同樣であり、軍人側は禁錮であるのに、民間側は懲役となつてゐるのは適用の法律が異なるから已むを得ない。尙軍人側、民間側共に未決拘留日數を刑期に加へてあるのは同樣である。

◇

要するに三裁判共に夫々、法規の解釋と、裁判官自身の信念と、社會一般の空氣とを調和化合せしめて、法の威嚴、國家の安寧、社會の秩序を維持せんとことに苦心した跡は見える。更に吾人の特に注意を引く點は、裁判長もいふ如く、被告は法廷に於て極めて柔順であつたといふ點である。被告等が法廷に立ちて、社會の腐敗を慨歎し、社會構成の要人の所爲に憤慨する所は頗る激烈で、隨つて法の不備を議論するが、國家そのものに不滿の意はなく、國家機關たる裁判所の取扱ひにも不平の態度がなかつたことである。此の點に於て左傾派の法廷と空氣を異にする事が注目される。

吉林討匪從軍記　東京城にて　築山特派員發

宿營にも家はなく酷寒下を進擊

老將軍の眼に光る露

見渡す限りの雪野ケ原を武步堂々前進する中村部隊は嶮峻なる森林山岳重疊の地帶を西に東に交通不便な坂道を橫斷して住民稀薄なる寒村を追擊に追擊を續けてゐる、宿營するには宿屋なく酷寒零下四十度餘を下る寒天の野原に漸く掻き集めた枯草に火を點じ僅かに感ずる溫度に一日の勞苦を慰めつゝ固パンを噛じる時は形容し難いセンチメンタルな氣分となつて將校も下士も皆一樣に手と手を固く握り合ふ、寄る年波に中村老將軍も何時とはなく部下の有樣を眺めて兩眼に一滴の白露を宿して居る、皆我が子である

苦しいだらう寒いだらう、御國の爲だ笑つて働いて呉れとは口には出さないが部下思ひの老將軍は絕えず部下の辛勞を氣遣つて居る

夜の更けるに從つて焚火は消えて行く、寒さは增す、旣に凍死しさうな冷氣である、麾下の滿洲國軍よりは絕えず、傳令が來る、書信を開いて見ると共匪の一團は附近の密林地帶に在る、洞窟に陣取つて不意を襲はんとして居る、拂曉の四時を期して滿洲國軍は一齊急襲せんとする計畫である、時夜半の二時四十分、折柄月は皎々と冴え薄積りした白雪は月光に映じて絕景である、晝夜の別なく作戰に頭を捻る三木中尉も假睡の夢を破られて直に地圖を片手に作戰計畫に沒頭して居る、俄然司令部內は緊張の空氣が漲り各將士の手には期せずして銃は握られて居る――かすかに……

聞える鷄鳴は暗を破つて曉を報じた突如として銃聲の響き、友軍は起つた、可成り激戰の模樣である約一時間も過ぎた頃友軍萬歲の吉報を齎した、老將軍の滿面には只ならぬ喜びが溢れて居る、明けて二十九日滿洲國軍騎兵團は附近殘匪を掃討しつゝ鏡泊湖兩岸を征服して夜半東京城に入城したと聞く我が軍の士氣益々旺盛、鐵氷の上を犬馬の如く走破する將士の勇姿は偽らぬ我が大和民族の現れだ

第一線にあつた記者は二十九日敦化に引返す、去る二十七日鏡泊湖東方地區に於て救國軍の約三百名と交戰した敦化第五旅第九團は匪首双盛以下三十四の首を二十八日の午前敦化に還送して來た、之れを西門外の樹に懸けて曝し一般民衆の戒めとして居る、首の中には鮮女の三十歳位の美人がゐた、これは間島方面の討伐により壓迫されて逐次鏡泊湖方面に逃走したもので松乙溝附近にはこれ等共產匪が吳義成匪に合流し冬營の準備中である、之等の兵共匪の掃滅されるも早や目睫の中に迫つて居る

二十九日午後の傳令に依ると鏡泊湖附近の共匪は騎兵團の北進に依り續々東方露滿國境に逃走しつゝあるが、松乙溝及び九龍身溝附近には于學棨及び房居約五百名が潜伏し目下行德部隊及び滿洲國軍第五旅はこれを討伐中で相當激戰を展開し頑强に刄向ひする該匪も今や我が日滿軍の掌中に握られ殲滅間近に迫つて居る、記者は從軍して三十日午前七時寒風を冒して數十臺の自動車を連れ○○を出發、威風堂々折柄の白雪を蹴つて猛進した、○日午後六時東京城に入城、車上より一望する鏡泊湖一面は絕景の一言他に形容詞なし目下鏡泊學園の建設要地なる鏡泊湖畔は雪薄く光つた氷上を見渡す限り一面の海だ、點々と見る孤島は眞に瀨戶內海の樣だ、南湖頭は何と云つても一番よい所だ、全く中禪寺湖畔の氣分がする、併し追々通信方法の杜絕することを記者は殘念に思ひ且つ苦心して居る

吉林省の奥に麗しい美談

よい經驗と老將軍語る

二十九日某地で中村將軍と記者の二人は討匪談に花を咲かせて居ると將軍は左の如く語つた

敦化には昨年の二月に初めて來た、その頃は電燈もなし驛から城內までは單獨で步けない、必ず護衛の日本兵がついて往來したのである、一年後の今日全く見違へる樣に發展して大變落着いて居る人口も九百名にも增して著しい躍進である、今回の討伐は吉林省東部に殘存する匪賊を討伐するのであるが蘇聯側に對し尖銳化せしむる樣なことはないから安心してもらひたい、殊に極寒時の討伐は實に愉快だ、未踏の地區を行動することは掃匪のみに止まらずよい經驗を得ることであらう

張學良時代の縣長と云へばいばることゝ土民から金を搾ることを以て任じてゐたのであるが此處に滿洲國として麗しい美談がある、昨年夏から結氷期に亙り各縣共に治安維持會に於て道路を新設して產業の開發に努めたのである、十一月上旬敦化縣長は敦化馬號間交通路視察に出張の途中雨の降る日暮方三名の土民が一生懸命土を運んで道を造つて居る、縣長はこれをみて何故こんなに遲くまで働いてゐるかと尋ねると私は明日他所へ働きに行かねばならぬので今日中に明日の分を働いて置かねばならぬとのことに縣長はその言葉に感謝してこれに御苦勞であると述べ若干の金子を與へて進むうち次は八名一組の作業するのを見てこれも前同樣に二日分を働いて居る土民の社會奉仕であることがわかりこれにも感謝の言葉を與へた、土民は縣長の言葉に深く感謝して墓はしくこれを見送つた、縣長が田舍を視察することは昔から初めてのことであるのにましてや御苦勞であるとの言葉を與へ若干の金まで與へたことは土民に對し深い好印象を與へ滿洲國を眞に理解せしめて將來のため喜ぶべきことである

高森部隊出動

【咸北南陽特電四日發】琿春奧地の匪賊大討伐に向ふ林中尉以下○○名は高森中佐の引率する部隊に參加し四日午前三時圖們驛より臨時列車で勇躍出動した

共匪の精銳部隊完全に滅亡

汪清縣下の討匪進む

【局子街三日發國通】我快足部隊のため後方退路をたたれ大包圍網の中に陷つて斷末魔の悲鳴をあげながら死の狂舞を演じてゐる國境共產黨は刻一刻と迫る最後的審判の前に內訌分裂到る所に流血の慘劇を演じて自らの墓穴を掘りつゝあり汪淸縣中部地方を根據とする共匪金一派の如きは過日轉向した八百九十名（內十六名は妙齡女黨員）を捕へ酷寒零下四十度の寒天に一糸纒はぬ裸體となし汪淸河の銀盤上に死の舞踏を演じさせた上嬲り殺しの極刑に處した事判明附近掃討中の人見部隊の大瀨戶部隊長は積雪隊を沒する密林の間を拔いて急行軍、一日夜之等の巢窟たる火燒鋪を襲擊したので流石共匪中の精銳を誇る彼等俄然矛を執つて數時間に亙り反抗したるも遂に屆し三百五十名は我大瀨戶部隊の軍門に降り、再起を胸に抱く尖銳分子八十名は河を越えて逃走せんとし彼等が虐殺せる轉向派の死骸の上に折重なつて斃れ共匪に相應しい最期を遂げた、今回の討匪行第一收穫として大瀨戶○隊に名をなさしめたが何ほこの戰鬪にて皇軍を案內せる延吉自警員四名戰死し惜まれてゐる

滿洲國稅收激增

大同二年中の成績　一億二千七百萬圓

【新京四日發國通】滿洲國の財政狀態は順調な進展振りを示しつゝあるが大同二年一月より十二月に至る一ケ年間の租稅收入總額は一億二千七百七萬圓に達し大同元年度總額八千五百三十七萬八千圓に比し四千百六十九萬二千圓の激增を示して滿洲國財政の大躍進を如實に物語つてゐる、內譯左の如し（單位千圓）

稅目	金額
關稅營業稅	四、二二一五
牲畜稅	一、二一一一
𤇆酒稅	三、〇四一
統稅	九、八八六四
印花稅	一、八八四・
雜稅	二〇〇
雜收入	一、三〇七
計	一二七、〇七〇

滿洲國大典に慶祝方法協議

【ハルビン三日發國通】溥儀執政の登極の大典に際し當地の慶祝方法に就き北滿特別區公署、協和會等關係各方面では二日午前九時より特別區公署に第一回籌備委員會を開いたが慶祝方法に就いては數日後委員を選定の上具體案を決定の筈

奉天省では建國精神宣傳

【奉天特電四日發】滿洲國の大典に際し奉天省敎育廳では全省各縣に宣傳工作班を派遣し建國の精神と國體の確立その他について敎育者を通じて指導し學生に精神敎育を施すことになつてゐるが二月二十、二十一の兩日に亙り全省五十八縣の敎育局長を奉天に招集しこれが打合せのため協議會を開催する

萬寶山農場民會で買收

【新京特電四日發】新京朝鮮人居留民會では在留鮮人の繁榮を期するため曩に同民會の經營に移した萬寶山農場五百天地を五萬圓にて買收十ケ年々賦で一ケ年八千圓宛返濟し十年後には完全なる自作農となすべく具體案を作成目下各方面に於て資金調達に奔走中であるが近くその實現を見るべく、右實現の曉は在留鮮人の繁榮上一大貢献をなすものと期待されてゐる

井上司令官

【安東特電四日發】井上獨立守備隊司令官は三角地帶の討匪狀況視察を終へて四日午前十一時三十五分着列車で五龍背より來安岡本領事招待の午餐會に臨んだのち午後一時半から安東守備隊を檢閱した

奉天に歸還

【奉天特電四日發】三角地帶の殘匪掃蕩東邊道方面の治安狀況視察中の井上守備隊司令官は土肥原機關長三谷警務廳長于芷山司令と共に四日午後二時安奉線で歸奉した

土肥原少將

【奉天特電四日發】海城方面治安狀況視察中であつた土肥原特務機關長は四日午後二時歸奉した

佐々木中佐

【新京特電四日發】滿洲國軍政部は滿洲國軍の幹部將校養成の爲に各軍中より選拔した軍官を日本士官學校に入學せしむることになりこれが打合せの爲同部顧問佐々木中佐は四日午前九時發はとで赴日の途に上つた

米總領事赴哈

【ハルビン三日發國通】奉天駐在米國總領事チャイス氏は事務打合せのため三日午後二時十分着列車にて來哈した、尙同氏は四日間滯在の上歸奉する豫定

外務辭令

【東京三日發國通】
外務書記官　宇佐美珍彦
任總領事（三等）福州在勤を命ず

關東廳辭令（三日）

旅順高等公學堂敎諭中村鐵一、富山民藏、厚見武雄、森增一、古賀保一郎、岩田達雄、新井勝男、江崎重春、天道正遠、大浦優雄、大野豐子、旅順高等公學堂訓導牛島春英、青柳國雄、鮫島宗範、羽場尙恕、林田俊信、勝尾榮、旅順高等公學堂囑託小野谷初美、松岡守義、楊韻村、趙香堦、坂本高、松浦勝夫、李鳳翰、敎員于長運、關東廳視學須藤精一郎
關東州普通學堂及び關東州公學堂敎員檢定試驗臨時試驗委員を命ず（各通）

人事

▲藤森正平氏（滿鐵商事部營口販賣事務所庶務主任）五日午前九時發列車にて赴任

大觀小觀

滿鐵社債應募額、發表すると直ぐに一倍半、どれだけになるか豫想されぬといふ盛況、財界はなる程現金なもの▲法相、共產黨には防止の爲に刑を重くする必要あるのみならず、シンパも重く罰する必要ありと明言す、政府の意思明白、誰も異存なし▲多年の米作奬勵政策見事に奏効したのは結構だが、爲めに米價調節法は無効になつた▲滿洲の米作は考へものと、拓相も議會で言明す、滿洲移民の爲めに重大な根本問題たるを失はぬ▲機械工業を發達させて困るのも、農作を發達させて困るのも、畢竟は同樣な理窟で、經濟政策の根本問題を攻究せねばならぬ時代になつたのだ▲南部新疆の獨立には、英國の後援があると、南京政府の視察員が報告した▲恐らく間違ひあるまい、一方にはソ聯の手が入つてゐることも間違ひあるまい▲中央アジアにおける英露競爭が益々激化すべきも間違ひない▲米上院、債務不拂國には報復的に、金融市場の門戶を閉鎖する事を決議し、下院に廻した▲結果如何は不明だが、アメリカも追々さうせちがらくなり、大國振りを示して居るわけにいかなくなつた。

滿洲移民協會

設立を提唱す（下）

南智坊生

本篇は今春淸水千之助氏と行を共にしたる「南智坊」氏の手記なりし所、原稿發送者が淸水氏なりしため同氏を述作者と誤認したるものにつき茲に正誤します（編輯係）

然しながら彼の福島關東都督により創設せられた邦人農業團體移民の草分け關東州內愛川村における二十ケ年の體驗によれば滿洲における移民問題は或る一部の人々によつて考へらるゝ如く簡單容易なものでは決して在り得ない、否な寧ろ非常なる難中の難事であることを痛感するものである、たとひ夫れが單なる試驗的小規模の事業であつても今日の如く未だ一般的に關心も認識も淺く關係者さへも亦樂悲兩論に分れて論爭し國としての方針が決定しない以前に於て各自銘々の體驗や信念に基き思ひ思ひの理想に向つて進みつゝある事は（今日の場合實に已むを得ない事ではあるが）勢ひ過大なる犧牲を餘儀なくされ、而も不成功に終る場合が多からざるを得ない

而して比較的統制を缺ける事業の常としてたとひ夫れが成功したる場合と雖もその體驗又は資料が將來の計畫に對して範とするの價値なく又失敗の場合も同樣に戒とするに足らざる場合が多く所謂勞して功少なきのみならず却て恐るべき有害な結果を招來する場合がある、卽ち國民凝視の中にあつて先端を行く處の此の種の事業が不用意中に不成功に終はりし場合は單なる失敗といふに止まらずして進んで世人をして事業そのものが終局的に絕望なりとの錯誤を深く腦裡に刻ましめ折角芽生えし國民の海外發展の氣運を永く冷却し去るが如き結果となるのである

要するに滿洲移民の如き重要なる特殊使命を有し而も至難なる事業に對しては官民並日滿兩國の間に十分理解ある協力の存することが其の根本條件であつてこの協力なくしては到底事業の遂行は出來るものでない、而してこの協力を得るためには此の問題に專念し得る特別機關がなくてはならぬ、卽ち日滿兩國の輿論を喚起統一しその國策を指導し得る底の强力なる機關が日滿協力のもとに設立せられ之れに依つて移民に關する根本の諸方策その他實行上一切の問題を愼重に調査研究せられなければならぬ、又斯くして凡てが科學的に經濟的に而も實際に卽して無理のない何人をも首肯せしむるに足るべき意見が纏まり之に基いて國策が定められなければならぬ、一旦國策が決定せられし以上は國民は全力を傾倒して其遂行に邁進すべきである

さり乍ら如何に强力なる機關が設立せらるゝとも確乎不動なる國策が直に樹立せらるるものでない事は甚だ明かであるが只此處に見逃す事の出來ない一事がある、夫れは移民問題に關しては世に表はれたる權威者の外にかくれたる篤學の研究者や實際家が相當にあつて名論卓說や得難き體驗や秀でたる着眼を有して居る、又年々調査研究の爲めに渡滿する者が頗る多數であつて新聞、雜誌「パンフレット」等に有益なる意見を發表して居るが中には淺薄有害なるものもあり又一見部分的には頗る合理的なるが非實際的なものもあり、甚だしきは世人を毒するが如きものもある、然れども未だ之等を綜合統括して短を補ひ長を集めて活用せしむる處の何等の機關もなく折角の貴重なる資料も多く看過散逸してしまふものが多い、誠に國家のために評價し能はざるの損失といはねばならぬ、單に之等に對しても此際有力な機關が一日も早く設立せらるゝことを必要とするのである

協會の設立方法、構成、機能等については有力適任なる發起人に於て立案せらるべきものなれども大體に於て次の如き骨子を有するのが望ましい

一、日滿協力の公益法人たる協會を設け本部は東京又は新京に置き各地に支部を設くる事

二、協會には權威ある評議機關と權威ある常設調査研究並事務機關とを有し輿論を喚起統制し國策を指導し得る丈けの實力を有する事

三、協會首腦者には閱歷聲望ある練達の士にして本事業の爲めに犧牲的に一身を獻ぐる底の人物を戴き會員には日滿兩國の各方面官民有力なる巨頭、關係方面の官公吏、權威ある學者、實際家其他移民事業に直接或は間接に關係を有する者及本協會の主旨に贊し援助をなす者等を以て充つる事

四、本會の經費は基金の利子、補助金、寄附金等より支出するものであるが成るべく基金の利子を主とする事

五、本會の事業としては滿洲移民に關する根本諸方策の研究、案畫並建議、國家機關の諮問に應ずる事

移民に關する一切の調査並研究指導、宣傳、機關誌發行、或る程度の助成並救濟、斡旋、移民並移民指導員の養成其他必要なる事項

八相　五十行以內　投書歡迎　中傷はさらず

單衣一枚の滿洲行脚

沙門　田口省吾

◇…滿洲行脚に就て特に御緣に接し有難く感謝致します。人類は自然を征服して物質、キカイ文明を築き其の極に達したかの觀……然し事實は其れに反し苦惱の巷に彷徨してゐます、世界人類に眞の平和と幸福を願ふならば、今一度、原始に還れば良い。

◇…人類は風俗に依つて其の國の差別もしてゐます、然し其の表皮を脫げば、絕對に人類は平等である、其の平等の眞實性、絕對愛より生れるものでなければ眞の幸福は望まれないのでせう……ではありますまいか。

◇…新興の滿洲……積年の苦惱と殘忍さの巷から脫れて世界人類の幸福と平和との眞實の女神として、リーダーとしての光榮は寧ろ感謝せねばならない。日滿支露米等々ではありますまいもの。

◇…正義と人道と平和との爲には飽くまで、强く、根强く、永續性を持たねばならない、如何に頑迷の徒が云々するとも。

◇…滿洲の平原を望む時朝霧の雲間から浮き出るあの日の本の光り……何んと輝かしきものでせう新興の滿洲を謳いでゐるかの感じが致します、自然の調べの……リズムの中に、呼吸してゆくの自然、自然は自然によつて宇宙を形成しつゝある。何にも不思議はありますまい。

◇…着滿以來十日、皇軍、滿鐵、警察、奉天驛、中學、座談、等々寧日なく、愈々二十九日益々元氣、益々すこやかに、酷寒の四十度、等々目指して奧地へ――、行脚として戴くことを神佛に感謝致します。又何れ。合掌。

博士の嫌疑濃化し 强制的に召喚か
中園の新告白から鳩首協議
五日法院の態度決定

三日午後の公判に於て中園繁雄が兒玉博士を完全に殺人共犯に捲き込み、一大波紋を公判廷に描いたまゝ中園に關する事實審理を終つた、この重大疑問符（對質訊問を參照）を解くためいよ〳〵兒玉博士の證人喚問の必要を生じたものと見られ川畑裁判長は三日公判閉廷後、田中、平井兩陪席判官と博士喚問に就いて重大協議を遂げたが、その結果第二回の證人喚問狀は日曜明けを待ち月曜早朝發せられるものと見られてゐる、或は單なる證人喚問狀ではなく明治四十四年發令の司法事務共助法第五十二條により、博士居住の所轄檢事局に囑託して令狀を發し强制的召喚を行ふやも知れぬ形勢にあり、興味の渦はクライマックスに達して來た

なほ辯護士側の作戰としては勝美の辯護人大内、田村兩辯護士は法理論として博士喚問に反對意見を有してゐるが、その他の證人卽ち安東博士、上野園生、佐藤三輪子、馬場ウメ、園部又三郎諸氏の證人申請は月曜の公判廷において行はれ、中園の辯護人長辯護士は當日中園に對し補充訊問の結果博士の證人申請を決定する筈である、なほ公判進行のプランは博士喚問問題が決定するまで未定である

起訴猶豫にしたは 檢察局の落度か
短刀を博士に渡した

中園の事實審理の終了と共に高井檢察官の要求により午後六時より勝美、中園に對する補充訊問が行はれた、最初勝美に對しては兇行當夜における兒玉博士の動きを重ねて聽取したのみで引つゞき中園の訊問に移る、俄然法廷は緊張し檢察局における中園の數度の審理結果が公判では午前中否認したものが午後に至つて是認したと云ふ中園の太々しい態度に因を發し高井檢察官の追及物凄く、廷内は一同正にかたづを呑んでその成行を注目する有樣

卽ち、中園は高井檢察官の數度の取調べに對し兇行後階下で血糊のついた短刀を博士に渡した事をあくまで否認してゐたが、三日午後にいたり川畑裁判長の審理に對し短刀を正しく

博士に渡したと新事實を打明けた

この事實如何はこの事件における博士の身邊に重大な影響を與へるもので、それを安つぽい中園のヒロイックな嘘言が最後において訂正さるゝは意外であると云ふのである、激怒した檢察官が「お前は短刀のこの事實を忘れてゐたのか或ひは嘘を云つてゐるのか」と詰問したが、これに對し中園は「かうなれば仕方ない本當は檢察局では嘘を云つてゐた」と圖太く告白したもので、この告白が事實なれば博士を起訴猶豫とした檢察局の重大な手落と見らるべきで、この中園の投じた嘘言は意外の方面に反響をもたらすであらう

園はそれて自殺する氣は最初からなかつたこと等々を反駁して中園をやり込めた、裁判長は最後に博士の殺人共犯の點を確めるため中園と左の一問一答をした

●裁判長● 被告が青柳を刺した時兒玉は制止したか
●中園● 制止しません
●裁判長● 兇行に援助を與へなかつたか?
●中園● 援助はしません
●裁判長● 兇行を二人共同でやつてゐると思つたか
●中園● その氣持ちでした
●裁判長● 兒玉の手の傷はいつ受けたと思ふか
●中園● いつ受けたか知りません、傷は歸る時見ただけです
●裁判長● 兒玉の着物に多量の血がついてゐたことは本當か
●中園● 多量の飛血がついてゐました
●裁判長● 兒玉と責任の分擔を約束したのは如何なる譯か
●中園● 二人で殺したと思つたからです
●勝美● 中園は兇行後二日目に私に對し夢中でメチャ〳〵に突いたと申しました
●中園● 私がメチャ〳〵に突いたといふ意味ではありません

對質訊問
灼熱の戀醒めて 泥試合の穢さ
勝美攻勢をとつて 中園タジ〳〵

裁判長は中園、勝美を立たせ陳述の食ひ違ひについて對質訊問を試みたところ、兩被告の口は全然合はず水掛論となり、かつては互に灼熱の戀に身を焦した二人が端しなくも法廷で泥試合の醜狀を暴露したが、中園のしどろもどろの答辯に對し勝美は簡明な口調で條理整然と答辯した

先づ裁判長は中園に向ひ
●裁判長● お前は勝美の初戀の男に化けて勝美を誘惑したのであらう
●中園● 全然そんなことはありません
●勝美● 私は騙されました、第一老虎灘へ行く時中園は帽子は被つてゐないと陳述してゐますが、確かに白いフエルトの帽子を深く被り顏を見せぬやうにしてゐました
●中園● イヤ私は被つてゐません
●勝美● それから私は老虎灘で明日ね、小平島で肌を許すとは申しませぬ、また私から中園にもたれかゝつた覺えもありません
●裁判長● もたれかゝつたのは中園だらう
●中園● イ、エ勝美さんの方からです
●勝美● 人違ひでもいゝから會ひませうと申したのは中園が川崎でありながら人違ひといふのを口實に會はないと思つたからですまた小平島へ行くまでは身を許す考へはありませんでした
●裁判長● 勝美に訊くがネクタイを中園に贈つた理由は?
●勝美● 實はあのネクタイは佐藤さんと三越へ行つた時佐藤さんから〃中園さんが赤いネクタイ一本より持つてゐないから買つて上げなさい〃といはれて買ひ、いつか會つたとき渡さうと思つてゐましたところ、その後中園が落した書類を渡すとき添へて渡したものです
●裁判長● 中園は嫉妬の爲め勝美に暴行した覺えはないといふがどうか
●勝美● そんなことはありません、私に暴行を加へる時はカフエーダンスホールで青柳の姿を見た時に限つてゐました

更に兒玉博士を殺人共犯に捲き込んだ中園の陳述を確める爲め裁判長は勝美に兇行當夜の模樣を訊す
●裁判長● 兒玉の手の傷はどうした時受けたと思ふか
●勝美● 中園の兇行を制止しようとして受けたと兒玉はいつてゐました
●裁判長● 兒玉の着物の血はどの程度についてゐたか、又どうして血がついたと思ふか
●勝美● 着物の血は僅かよりついてゐませんそれは兒玉の指から流れ出る血が着物についたのであります

と極力博士をかばひ、始めて妻らしい態度を明かに示し傍聽席の興味を惹いた、更に勝美は理路整然として中園が女中殺しを話した際「情交して置けば口外する憂ひはない」といつたこと、おキミを殺す爲め博士が中園に渡したチフス菌といふのは他の藥であつたこと、中

〃短刀を渡した〃と語つた瞬間
上、高井檢察官　下、中園

問題の核心
兇行の模樣 短刀は博士へ
〃博士を庇ふ爲の嘘〃

互に泥試合的な供述をなし、中園がかう云へば勝美が違ひますと打消し、勝美がかう云へば中園が打消すなぞ徒らに係官を焦躁せしむるのみ、嘗ては愛し合つた兩名が今は醜く相爭ふやうな世の嘲笑を買ふところで中園の如き青柳殺害の理由を問はれてしどろもどろに「夢中で解らなかつた」と答へる位であつたかくて五時一先づ打切

かくて兩者の對質訊問はおりつぎに高井檢察官の補充訊問に移る、檢察官まづ勝美を呼び出し
●檢察官● 今迄も何度も繰返した事だが第一に九月五日の夜兒玉誠が青柳に摑み掛つたと云ふがどんな工合にか
●勝美● 兒玉が青柳の肩に兩手をかけてゐました
●檢察官● 毆つたのか
●勝美● 毆つたのでなく押しつけた樣な氣がします
●檢察官● その時の中園は
●勝美● その時は氣がつかなかつた
●檢察官● 兒玉と中園の青柳との距離は一度に兩方見えたのか
●勝美● 兒玉の方がよく見えました私は斜に居りましたからよく解りました
●檢察官● 三人がどう云ふ順に下に行つたのは知らないのだね、しかし「何故止める」と云ふ言葉を聞いたと云ふが、それは何處でだ
●勝美● 下の方だつたと思ひますハツキリ私の耳に殘つてゐるのは「何故止めるか」と「すべては破滅だ」とうめき聲でした
●檢察官● その聲のどちらが先か
●勝美● 「何故止めるか」でした
●檢察官● 中園が胸のところへ手をやつてすつと突いて行つたのを見たか
●勝美● さう見えました
●檢察官● ガタ〳〵する音は?
●勝美● 女中と居る時です下で兇行が濟んでから下へ行つて寢ろと云はれ寢てゐた時でした中園がガタ〳〵いはせたのです
●檢察官● 女中も知つてゐるか
●勝美● 大きな音でしたから知つてゐたでせう
●檢察官● 七日に下宿へ行つた時止めなかつたら下まで汚さずに濟んだのにと云つたさうだね
●勝美● エ、間違ひありません

勝美の訊問終了

かくて午後五時半中園の訊問を終つたが三日目の公判はかくて最後に大波瀾を見せた

被告の意思尊重 控訴を取下げん
茨城法曹團で協議

【東京四日發國通】五・一五事件民間側の愛鄕塾關係被告に對する判決を不滿とし辯護人獨自の立場から卽日控訴の手續を執つた茨城縣法曹團代表は四日午前十時市ケ谷刑務所に赴き橘等十七名の被告に一々面接右事情を報告被告側の意見を確めたところ橘等は今回の大事決行は一身を捧げて國家本位にやつた事だから潔よく國法に服したいが一切は辯護人にお任せすると固き決心の程を示したので代表はこれを諒として引揚げた、よつて茨城法曹團では改めて兩三日中に今後の打合せを行ふ事となつたが被告達の意思を尊重し辯護人側の控訴取下げ潔よく一審を以て服罪せしむるものと觀られてゐる

赤城艦上機 海中墜落
渡邊兵曹絶命

【鹿兒島四日發國通】鹿屋飛行場にて訓練中の第一航空戰隊赤城艦上攻擊機三五四機に渡邊三等兵曹大澤一等航空兵同乘柴田中尉操縱して四日午前十時半頃有明灣上にて爆彈投下演習中機體に故障を生じ不時着陸せんとしたが及ばず海中に沈沒し搭乘者は漁船に救助されたが渡邊兵曹は手當の效なく絶命した飛行機は驅逐艦出動引揚中

金選手新記錄を出し 九年度選手權を獲得
全日本氷上大會終る

【安東特電四日發】日本氷上選手權大會第二日目の午後は引續き四日鴨綠江リンクにて擧行、午前中女子千五百米に驚異的日本新記錄を作り男子選手は最終レースたる一萬米に全能力を注ぎ各組とも白熱的レースとなり加ふるに午前中の强風落ちて一米弱の微風となり氣溫亦昇つて一度五分の絶好なるコンディションとなり遂に待望の如く關東の金正淵選手は小池富治選手の保持する一九分四秒一の記錄を更新して一九分二秒八の日本新記錄を樹立し、前年度選手權保持者李聖德選手を破り二一五・六二點を以て昭和九年度の選手權を獲得した、右一萬米終了後選手役員一同中央役員席前に整列し交野聯盟會長より竹田宮賜盃並に滿鐵總裁盃及び滿洲體育協會盃を男子優勝者金正淵選手に又女子優勝者奉天の瀧瞭にそれ〴〵授與し國旗降下式後關屋安東地方事務所長の發聲で萬歲を三唱し午後三時半盛會裡に終了したが男子競技に於て二つの新記錄を又女子競技に於ては四つの日本新記錄を作り氷上日本の異常なる躍進振りを示した

男子一萬米

順位	氏名	所屬	記錄
第一位	金正淵	關東	一九分二秒八（日本新記錄）
第二位	李聖德	關東	一九分一八秒四
第三位	小池富治	諏訪	一九分二六秒二
第四位	行田和	諏訪	一九分三一秒
第五位	潤間留十	諏訪	一九分三七秒四
第六位	潤間正見	諏訪	一九分四一秒
第七位	安達和男	奉天	一九分五一秒三
第八位	尹明珠	朝鮮	二〇分一秒三
第九位	河村泰男	奉天	二〇分七秒五
第十位	崔龍振	關東	二〇分九秒三
第十一位	南洞邦男	奉天	二〇分三三秒三
第十二位	木谷德雄	安東	二〇分三四秒四
第十三位	三代正勝	撫順	二〇分三八秒九
第十四位	石塚庄三	撫順	二一分四一秒

大會規程によりベスト十四名で最終の一萬を行ふ、氣溫一度五分、風速西北一米弱の絶好のコンディション第三組の尹明珠は行田と最初よりせり合ひ行田七周目よりリードせしも十周目に轉倒した爲新記錄への躍進ならず又木谷は崔龍振と第四組に組み十周まで兩者併行せしも後木谷遲れ河村も亦ものに成らず漸く最終回にシートされた金正淵は最初より急ピッチで走り小池これを追ひ拔く能はず遂に金正淵の日本新記錄なる

總得點順位左の如し

順位	氏名	所屬	得點
第一位	金正淵	關東	二一五・六二點
第二位	李聖德	關東	二一五・六二點
第三位	崔龍振	關東	二二三・〇九點
第四位	河村泰男	奉天	二二三・二三點
第五位	木谷德雄	安東	二二三・三三點
第六位	小池富治	諏訪	二二三・三四點
第七位	安達和男	奉天	二二四・一二點
第八位	尹明珠	朝鮮	二二四・一九點
第九位	潤間留十	諏訪	二二四・三三點
第十位	行田和	關東	二二五・二〇點
第十一位	南洞邦男	奉天	二二八・一九點
第十二位	三代正勝	撫順	二二八・三七點
第十三位	潤間正見	諏訪	二二八・八二點
第十四位	石塚庄三	撫順	二三五・五四點

岡部氏批評

好晴と鴨綠江としてはめづらしい微風に惠まれて從來にない好記錄を得た、中にも金正淵君の五千メートルと一萬メートルの日本新記錄は世界的に見ても素晴らしい記錄で、世界選手權大會に出場しても十位以内には入り得ると思ふ、唯一萬メートルのタツノタイムが餘り區々になつてゐたと、後半に弱味を見せたことは更に研究の必要がある、フオームは李聖德君が最も理想的で重心が後に充分かゝり上體の體態もよくブレードの使方も全選手中一番合理的に思はれるたゞ氷を抑へる場合一息足なのがし强く力を使ひ得ないが、諏訪選手得意のがんばりとねばりで五千一萬に見事な成績を見せ特に行田君が會心のスピードに乘つて一萬の時全般の五千を九分十五秒（日本記錄九分二十六秒九）で走つたが轉倒したのは惜かつた

……◇……

滿洲選手は前にも批評したやうにもつと考へなければならぬ、女子競技で瀧さんは千五百メートルに非常に見事なフオームと力の分布に依り大記錄を出して優勝されたのは滿洲女子競技のために萬丈の氣を吐くものである、この競技に木谷孃が轉倒されたのは惜かつた

中田選手優勝
全滿卓球大會

滿洲卓球協會主催全滿個人卓球選手權大會は四日午後も引續き擧行されたが滿洲一流選手を網羅してゐることゝて物凄き白熱戰を演じ美技續出に觀衆熱狂し手に汗を握らし豫選終了後各組の優勝者及び次點者のリーグ戰を行ひ結局中田全試合を通じて敵に一ゲームも許さぬ驚異的の記錄を以て九年度の覇を握り入賞者にそれ〴〵賞品を授與盛會裡に午後四時閉會したが豫選以後の成績左の如し

▲各組優勝者戰　一位中田（九）二位岩崎（五）三位鮫島（四）四位丸田（一）
▲各組次位者戰　一位河田（九）二位越山（六）三位小川（六）四位櫻井（一）

頭腦的プレー

優勝者中田選手は昨年三月京城齒科醫專を卒業し四月大連醫院に勤務、滿洲での卓球大會に出場したのは今回が初めてであるが京城時代から齒專の主將として鳴らしてゐた▲けふの同選手の試合振りを見るのに殆んど地味な受身の戰法で巧妙な球捌きに敵の失を待つてゐたが、これは確かに强氣一點張りで頭腦的プレーに多大の缺陷を持つ從來の滿洲プレーヤーには大きな教訓となつた

北支滿洲視察

今回休暇を利用比較的隊付勤務の長い各兵科將校並に同相當官陸軍教授、法務官一行三十六名は一班九名宛四班に分れ約一ケ月の豫定で北支、滿洲の一般的實情視察のため來滿することゝなり、先發隊として第一班小阪步兵少佐、第三班安岡三等獸醫正の一行十八名は四日朝入港うすりい丸で來連、旅大を視察の上五日出帆天津丸で北支視察へ出發する

空巣狙ひ檢擧

四日午前十時ごろ小崗子露天市場内を徘徊してゐた擧動不審の支那人を小崗子署刑事が發見去る一日市內富久町孫文魁方を襲つた强盜犯人容疑者として本署に連行取調べたところ原籍山東省掖縣生れ住所不定無職張玉福（二三）と判明、昨年暮れより市內連鎖街方面に空巣專門の竊盜を働いてゐた旨一部自白したが餘罪多數の見込で嚴重取調べ中

司厨長天然痘

四日早朝入港した洮南丸司厨長古館健五郎氏（四七）は航海中一月三十日發病入港と同時に診斷の結果天然痘と確定、療病院に入院した

楠本選手 決勝戰へ

【マニラ三日發國通】フイリツピンオールカマーズ庭球選手權試合に遠征の楠本平井兩選手は地元選手を連日打破り共に準決勝戰に進んだが三日楠本選手はフエリスアムボン選手を破つて決勝戰に殘つた平井選手は四日セオナルドガビア選手と對戰の筈

楠本選手　アムボン選手
六－二　六－〇　六－二

「法師ほど世にすさまじきものはなし」とかいつた兼好、自分の事は忘れてゐたのか、とも角近頃の僧侶の勇猛果敢さは、さこそ求道捨身の人と知られる。そのエピソード一つ……

……◇……

熱河聖戰のまだ始まらぬ前、關東廳の鹽原秘書課長を訪れたのは日蓮宗の僧二人、用向を聞くと「北滿へやつて下さい」その面貌、精進料理の加減か蒼白だ一寸揶揄する氣になつた鹽原氏「行くなら行つて殺されたがいゝ、それで君達の仕事はすむのだ」

……◇……

ところが僧はこはがるどころか大乘氣でその場は歸つたが、さてそれからは三日にあげず「熱河行はまだですか」とやられ、かの熱河聖戰が始まつたのでその話もお蔭でオチヤン、最近鹽原氏ツク〴〵歎じて曰く「俺はあの時ほど弱つた事はなかつたぜ、ハヽヽ」（寫眞は鹽原氏）

北滿特產の出廻り 增加の傾向現はる

漸次活況をみるか

中旬よりも下旬に五萬餘瓲增

【奉天】北滿特產出廻は依然振はず齊克線の如き一月下旬は三萬五千五百五十七瓲で前旬より四百十三瓲の減少を來して居る、而して一月下旬の國線全線の貨物發送瓲數は卅七萬五千五百七十八瓲で前旬に比し五萬六千百廿四瓲の增加を示して居る卽ち次の如くである

	一月下旬 瓲	前旬比較(△印減) 瓲
京圖線	八四、〇八二	△八七〇
吉海線	一三、一五〇	六、六五五
四洮線	六〇、八九五	一〇、二七五
洮昂線	三六、九九九	八、三三三
齊克線	三五、五五七	△四一三
洮索線	五、七二八	四、二四八
瀋海線	五六、四六六	一五、五七五
呼海線	三二、〇四八	九、六五〇
奉山線	五一、〇五三	二、六七七
合計	三七五、九七八	五六、一三四

この內國線搬込瓲數は三十七萬八千四百二十四瓲で中旬に比して三萬二千百六十七瓲の增加を來して居る、猶旬末在貨は八萬三千六百十九瓲で前旬末在貨より一萬八千六百四十四瓲の增加で追々と出廻り活潑を見る樣になつたが南滿に比し北滿京圖線の出廻りが減少の傾向を見せて居るのは特產出廻り惡と考へられるが何れはぼつ〳〵出るものと樂觀して居る向もあるが北鐵の運賃割引等を待機して居るのだらうと見て居る向など區々な觀察が行はれて居る

何と珍しい 靜かな就職戰線

奇現象、應募者なし

總局の電氣技術員募集

【奉天】鐵路總局は國線の機能を充分發揮せしむるため特に通信機能を司る電氣關係從事員の充實をはかるため既に二月十日を締切として電氣業務技術從事員を募集してゐるがあこがれの滿洲を目指してルンペンが押し寄せてゐるに拘らず滿洲でのこの求人に對しては餘りに應募者がないといふ奇現象を呈してゐる、希望者は大いに希望申込まるべきだ

▲應募資格 一、高等小學校卒業以上の學力を有し且つ通信電線路及び通信機の建設及び保守に五ケ年以上の經驗を有する者で年齡二十歲以上三十五歲以下のもの

一、電氣學校卒業程度以上の學力を有し且つ通信電線路及び通信機の建設保守並に試驗の何れかに三ケ年以上の經驗を有する者で年齡二十歲以上三十五歲以下の者

▲募集人員 日本人約五十名

▲應募者は次記書類を受付締切期日迄に總務處人事科宛提出すること

一、履歷書自筆のもの

一、身體檢查證滿鐵醫院作成のもの

一、寫眞手札形半身像

一、電氣學校以上卒業者は卒業證明書

▲試驗施行期日 二月十八日午前九時より學科並口頭試問を鐵路總局

尚試驗に合格採用されたものは總局員として滿洲國內鐵路總局各鐵路局沿線に配屬の豫定

佳き日を迎へて 北滿邦人の奉祝

皇子殿下御降誕御五十日と 紀元節の奉祝決定

【チチハル】來る二月十日は皇太子殿下御降誕御五十日に亙らせられ全國津々浦々に至るまで國をあげて奉祝すべく準備中であるが、チチハルにおいてもこの佳き日と翌日の紀元節を併せ奉祝し且つ非常時日本の第一線に立つ同胞の人心を振作するため記者團を中心に領事館、居留民會、滿鐵事務所、婦人會、畑部隊宣傳班にて奉祝行事を協議の結果大體次の通り決定を見るに至り、直に準備に着手する事となつた

▲御降誕奉祝

一、日滿各戶に國旗を揭揚し奉祝の意を表明すること

一、邦人各家庭に於て奉祝の意義を徹底せしむること

一、小學校に於て兒童に對し奉祝の訓話をなし紅白饅頭を與ふ

一、官民合同奉祝大會を居留民會主催にて十日正午より博濟工廠に於て開催し、會場にて婦人會員が奉祝徽章を販賣すること

一、奉祝大會終了と同時に邦人官市民及小學兒童は旗行列をなし領事館、〇團司令部にて萬歲を三唱すること

一、記者團主催にて花トラック、馬車に女給を滿載して市中を遊行すること

一、各團體の假裝行列が市內を遊行すること

一、十日午後一時半飛行隊で奉祝編隊飛行をなすこと

一、航空會社の飛行機は間斷なく奉祝飛行をなし五色の奉祝ビラを撒布すること

一、記者團主催にて午後六時より龍江飯店に於て奉祝の夕を開催すること

▲紀元節奉祝

一、各戶國旗を揭揚し奉祝の意を表明すること

一、此日を期し西曆紀元の印刷ひたるカレンダーその他の印刷物に皇紀を書き入ること

一、野砲隊にて正午に皇禮砲を發射すること

一、記者團主催にて十一日午後六時より龍江飯店に於て建國祭を開催すること

斯くして佳き日を重ねて迎へる一線邦人の歡喜は最高潮に達するであらう

長城第一線を視る(4)

今にして聞く…… 遵化攻擊の苦心

古北口にて 鵜川特派員

河北省は暖かい、河も凍つて居り雪も積んでゐるが熱河省のやうな寒さではない、山には松林があり、農家も草葺屋根が多く一寸風色を異にしてゐる、此處は日支兩國の停戰協定に基き非武裝地區となり、支那公安隊の駐屯により表面治安を維持されてゐるが最近英米を始め各國の間諜が潜入し且つ于學忠軍や共產黨の密偵が暗躍して相當物騷を極めてゐるとのこと、皇軍の河北作戰以來この國境地帶も一躍して世界的の舞臺に登場した譯である、一行が撒河橋を出發したのは午前七時であつた◇

トラックは夫れより漢兒莊の戰跡に向つて進行したが灤河の渡河危險な爲めその河べりで望見したのみ再び撒河橋に引き返しけふ二十六日の宿泊地薊州に向つて突進した、途中三屯營の市街を通つたが此處は敵將宋哲元が司令部を置き喜峰口の部下を指揮した處、わが空軍の爆擊を受け倉皇として逃げ出したと云ふが城壁は原形を止めぬ迄に破壞されて實に慘澹たる最後を止めてゐる、この附近より河北平野は徐ろに開けて遵化附近くの盆地、土地も肥沃のやうに見受けられる、遵化は排日の中心地、今でも國民黨の支部があり相當根強い排日工作を行つてゐるとの事である

◇

一行は遵化手前に下車、民家に入つて晝食をとつたがこの攻擊は三月十六日早朝より開始され十時半服部部隊の司令部到着にこれを包圍し一層猛烈な加へ然るに敵は頑强に抵抗し容易にこれを拔く事出來なかつたが午後時ごろになり砲兵の南門攻擊が功を奏し城壁の崩れるを俟つて一擧突入し、つひに占領する事が出來たのだと云ふ、神谷副官は當時の戰況について午前十一時半ごろでした、……

鐵嶺縣下自衞團 近く解散に決定

先づ縣下の狀況調査

【鐵嶺】鐵嶺縣公署では昨年事變前下の治安全く整備し事變前の靜穩な平和鄉となつたので……

宣撫工作實施

鞍山の協議

【鞍山】地方事務所では五日午後一時より市內各機關代表者會議を開き十一日の紀元節當日の催しに關し協議する由であるが本年は建國紀元の當日を意義あらしむべくかつは非常時國民の覺醒緊張を促すため大々的に祝賀行事を行ふ豫定であると

映畫會を開催

【鞍山】鞍山青訓後援會では十一日紀元節をトし富士小學校において大海戰映畫「敵は太平洋」その他の映畫會を開催するが、晝間は小中學生、夜間は一般公開、入場料三十錢であると

鐵嶺金組業績

【鐵嶺】月と共に躍進しつゝある鐵嶺金融組合一月中の業績は益々良好を示し會員の異動は無かつたが預金、貸出し等何れも左の如き好成績であつた

預金十二月末	一四、九七一圓
一月中の受入	四、六一二圓
一月中拂出し	二、三六〇圓

撫順社員會 役員決定

【撫順】昭和九年度の滿鐵社員會撫順聯合會の幹部役員を選出する評議員會は三日午後一時より炭礦事務所會議室に開催されたが、その結果滿場一致を以て左の如く役員の決定を見た

幹事長三上安美氏、幹事(庶務部長兼任)梅本正倫氏、同(事業部長兼任)佐々木雄哉氏、同(會計部長兼任)兼安長右衞門氏、同(通報部長兼任)松本重平氏、相談部長原田周藏氏、消費部長百田詞郞氏、婦人部長酒井肇氏、宣傳部長田崎淺四郞氏、調查部長木村孝知氏

なほ今回勇退した伊藤幹事長はいまだ曾てない聯合會としての重大時期に遭遇し、幾多の難問題を獻身的努力によつて解決しその功績は絕大なもので、今回の勇退は非常に惜まれてゐる

營口商議役員會

【營口】營口商業會議所に於ては……

鮮人の就籍願 漸く增加す

奉天總領事館に提出

【奉天】昨年十二月一日より在滿鮮人の無籍者に對する簡易就籍法が施行されることに決定したが滿洲國の情勢の一變により商租登記の施行實施の權利主張が出來ることゝなり無籍者としてはその主張が出來ないので最近奧地鮮農の無……

救世軍を擴充

姚主任の廳葬

鐵の都鞍山に 石炭の饑饉

撫順に宛て、抗議

鞍山中學高女 入學志望者

【鞍山】學志願書締切は何れも二月二十日にして本年は兩校とも地元及び沿線その他から多數の志願がある模樣で三日までの志願者は鞍中第一志望者百三十六名第二同四十四名計百八十名に達し鞍山高女も第一、二志望者計百五十餘名を數へ……

勇士の遺骨

平安校開校式

大連 JQAK 二月五日

南蠻彩船 (33)

鈴木氏亨作 布施長春畫

石川五右衞門 (三)

新刊紹介

滿洲日報
二月四日發行

尊氏問題を追究して 内閣倒壞に躍進
衆議院の冷靜態度に反し 貴院の一部に强硬論

【東京特電四日發】中島商相の足利尊氏論問題については三日衆議院豫算總會において商相の陳謝的釋明があつたが貴族院の一部はなほこれを追究してその責任を明確ならしめると敦圉いてゐる、衆議院の大勢は商相が陳謝した以上もはや追究することは大人氣ないとなし、殊に仔細にこれを觀れば一片の歷史論であつて尊氏の行を稱揚したものでないから、この際かゝる問題でいきりたて右翼の愛國業者に利用せしめては不得策であると冷靜な態度をとつてゐるが、貴族院の一部は例の綱紀問題で適確な材料を握り得ない上はこの問題で飽くまで突き進んで內閣瓦解にまで至らしめやうと意氣込んでゐるからこの論戰は尙ほ暫く續くものと觀られる

林陸相議會終了後 軍制改革着手
新たに全般的審議

【東京四日發國通】林陸相は三日衆議院豫算總會で政友の陸山貞吉氏から現在の常備兵力は近き將來改正する意思ありやとの質問に對し軍制の一般に亘つて將來改正を必要とする旨の答辯を與へ陸軍の態度を明らかにした、而して陸軍では曩に決定した軍制改革案は滿洲事件突發のためその實施を一時中止したがその後改善費によつて在滿兵力の增加、資材整備等一部の改革は實現をみたが滿洲國の獨立及日滿議定書の締約に基き滿洲國の國防に關する協同防衞など新情勢に對應する我陸軍の全般的改革を必要とするため近く林陸相から右の主旨を奏上して曩に決定した軍制改革案を一時打切り改めて常備兵力の全般に亘つて審議し改革を行ふ方針であつてその委員會は議會終了後五月頃設置する意向である

多門中將重態

【東京四日發國通】滿洲事變に勇名を馳せた多門二郎中將は昨年秋豫備役編入と共に仙臺より上京澁谷の自宅で宿痾の胃潰瘍で靜養中であつたが去月二十六日吐血したので同二十八日赤十字病院內科に入院、療養中だが可成の重態で家人は憂慮してゐる

事變論功行賞 三月第一回發表
兩將軍には功一級

【東京四日發國通】陸軍では滿洲事件論功行賞は行賞に伴ふ一時賜金の公債發行等が議會の協贊を經れば直に逐次上奏御裁可を仰ぎ發令する方針で連日功績審查委員會を開いて審查を進め既に第二師團、第九師團、福岡混成第二十四旅團に關する審査を終つて目下善通寺第十一師團關係者の功績審査を行つてゐるが、三月中若しくは四月初めには第二師團關係者の行賞を第一回論功行賞として發令されることになつてゐる、何分同師團は事變勃發當時駐滿師團として數十倍の兵匪賊を掃討し全滿洲の曠野に轉戰しただけにその功績最も顯著であるので當時の師團長多門中將は前關東軍司令官本庄大將と共に事變第一の殊勳者として金鵄勳章功一級並に旭日大綬章を授けられる模樣である

關東軍參謀長に 建川中將新任か
小磯中將は三月轉出

【東京特電四日發】關東軍參謀長小磯中將は三月の異動で師團長轉出に內定し、その後任の人選は最も苦心されてゐるが結局曩にジュネーヴ軍縮全權となつた現留守第○師團長建川中將が轉任するものと部內の觀測は一致してゐる

【東京特電四日發】三月行はれる豫定の陸軍大異動は陸相就任後日淺いのと議會關係を顧慮して中央關係の分はこれを後廻しとなし八月の異動と二段に分けて人事の刷新を行ふこととなつた模樣である、卽ち師團長から二三勇退者があり、この跡へ秦憲兵司令官、小磯關東軍參謀長、中村北支那軍司令官らが廻る豫定だと

ス總領事施代表を訪問

【ハルビン三日發國通】ソ聯總領事スラウツキー氏は我北滿外交特派員施履本氏を訪問

一、北鐵ソ聯職員六名の釋放
一、北鐵運賃引下民衆運動
一、銅山號警乘員白系露人十一名の釋放問題
一、北鐵管理局同理事會の窓硝子破壞事件

等につき約三時間半に亘つて會談する所あつたが施履本氏よりソ聯側の急所をつかれて辭去した

赤軍の逆宣傳

【ハルビン三日發國通】去る一月三日の深夜月光と雪明りを便りに外蒙桑貝子の赤色騎兵團より脫走したといふ蒙古人二名の齎した情報によるとソ聯教官は同地で折にふれては集會を催し日本及び滿洲國軍は近く蒙古を襲擊して來るから騷動不審の外來者を警戒し且つ防備を益々堅固にせねばならぬと宣傳してゐるが民心は相變らずの滿洲國を無條件に謳歌してゐると

北鐵ソ聯側 秘密運賃を設定
拉濱線その他に對抗

【ハルビン三日發國通】北鐵ソ聯側首腦部は拉濱線又は馬車輸送に對抗すべく先般來貨物吸收のため秘密割引運賃を設け自我の利益を計ることに躍起となつてゐるがその秘密割引運賃の骨子は左の如くである

「貨物發送驛（北鐵南部線）双城堡割引料二十二圓」蔡家溝割引料三十三圓」三岔河割引料三十四圓」陶賴照三十三圓張家灣三十九圓

右の外更に責任車輛數及び貨物の渡し期間制度を設けて所謂赤色運賃策により北滿貨物を吸收し隣接鐵道に經濟的打擊を與へんとしてゐる

日滿統制經濟問題 各方面も漸く理解
十河滿鐵理事歸任談

臘來滿鐵改組問題、撫順炭內地移入協定問題のため上京中であつた滿鐵十河理事は四日入港うすりい丸で歸連したが語る

撫順炭移入協定は存外順調に運んだ、內地における石炭好況時代は諸工業の活況に併行してなほ

當分 はつゞくものと見られてゐるが既に需要のピークに達したことは一般の認めてゐるところで、これ以上に增加するやうなことはあるまい、滿鐵改組案は自分として何も言へぬがこの問題を機會に次のことが言へると思ふ、今までは日滿統制經濟などのブロックとか日滿統制經濟などの問題は現在の資本主義制度を根本的に破壞するものとの考へがあり學者や思想家だけの理想論と考へられてゐたが最近では實際家が事業上の立場から眞面目に研究するやうになつて來た、卽ち內地の事業家に統制經濟の何であるかの眞相が解つて來たのだと思ふ、滿鐵改組問題に關する見方などもその

一例 で最初は社會主義の實行であるかの如くおびえてゐた連中も問題の眞相を知つて漸く落付いて來てゐるし社債募集の好成績もそれに原因するものと考へてゐる、特務部が如何に變化して行くかそれは自分の知つたことでない、然し特務部が如何に變らうとも經濟調査會は何等かの形で殘して置く必要があると思つてゐる、とに角現在經調の改革などは全然考へてゐない、東京に駐在員を置いたのは研究問題が具體化するに伴ひ內地と色々連絡協調をとる

必要 があるためで現在宮崎君の下に十名位の人がゐて仕事をやつてゐる、兎に角これから吾々は出來るだけ機會を見出して上京することで內地の事情が解らなくちや駄目だ

阿部三井支店長歸連

昨年十一月中旬以來上京中であつた三井物產大連支店長阿部重兵衞氏は四日入港のうすりい丸で歸連左の如く語る

安川筆頭常務が勇退されたので自然今回の人事異動が行はれたのだ、自分の上京はこれとは全然關係なく單に年末の割合に閑な時機をみて上京したまでだ、神戶支店長代理がカルカッタ支店に榮轉したので、その後任には別に支店次長を置くとになつたが多分高雄支店長代理の井上知博君が來ると思ふ、こゝ兩三年は變革時代だから三井としても相當善處しなければならぬことは勿論だが、滿洲における三井の業務方針が變更されるものとは思はない、非常時であるだけに民間の經濟力を充實することは緊要であるから我々としても一層努力の必要があると思ふ

內地財界の活況 樂觀を許さない
古澤錢鈔專務歸連談

昨年十一月末上京し月餘に亘つて內地財界事情視察中であつた錢鈔信託專務古澤丈作氏は四日入港のうすりい丸で歸連したが船中左の如く語る

內地財界が活氣づいてきたことは御承知の通りだが、然し餘りに片寄り過ぎて普遍的でないことは必ずしも樂觀を許さないと考へられる、卽ち景氣の良いのは軍需工業や輸出商品等であつて一般的でないのは遺憾に考へられる、第一不動產が値上りしないのと金利が廉いことはこの間の事情を物語つてゐる、この意味からいつてもも一と〳〵爲替を下げて輸出を獎勵する必要があると思ふ、現在輸出が旺盛だからとて日本人の生產技術の優秀を大いに誇つてゐる向もあるがこれは一種の自己陶醉ではないかと考へられる、この點もつと〳〵眞劍に考慮すべきものだと思ふ、次に滿洲國國幣の關東州內流通問題については大藏省方面ではさして切迫した問題として取扱つてゐなかつた、滿洲國としては速急に州內流通を希望するであらうが小銀貨の流通程度とか又關稅の納入といつた程度なら大藏省方面でも異存はあるまいと思ふ、要するに鈔票と國幣が共に流通する時期が來ることは自ら首肯されるところであるが、鈔票の既得權益に影響を來すことはあるまいからこの點は心配ないと思ふ

本溪湖煤鐵合同 實現永引く
伍堂昭和製鋼社長談

本溪湖煤鐵合同問題および日鐵創立に伴ふ業務上の連絡打合せのため上京中であつた滿鐵理事、昭和製鋼所社長伍堂卓雄氏は四日入港うすりい丸で歸連したが語る

本溪湖の合同問題は全然進んでゐない、不況時代には合同といふことは存外順調に運ぶものだが今日のやうに好況時代では餘程有利でないと合同は實現せぬものだ、この前評價委員三人で作つた案に對しても大倉組からは何等の回答を出してゐないので自分も出すのを止した、だから大倉組の門野氏とは二三度直接に會つたが到頭その問題には觸れなかつた、それは議會では日鐵の評價が問題になつてゐるので大倉組が今のところ評價を出す見込もないし要するに大倉組で考へておくことになつてゐるといつた程度だ、それに今回の合同は强制的にやらすといつたものではないし合同意見には各人共に贊成ながら相當實現が永引くことは事實だ、なほ合同實現の成否は製鋼所の諸計畫とは全然別で計畫は既定通りに進んでゐる、自分は今度の內地行を機會に製鋼所製品の取引先の交涉や重工業の現狀を視察をしたが過去五ケ年間の內地重工業の發達には驚ろいた、殊に吳の海軍工廠の技術的進步は非常なもので既に獨創時代に入りしかも他國にすぐれてゐることを知つた、軍器の精鋭の點では他國に比して何等心配はない、日鐵創立に伴ふ製鐵合同問題が評價の點で議會で問題になつてゐるやうだが自分は內容も知つてゐるし結局問題にはならぬと思ふ唯問題は製鐵合同をやつた以上より安い鐵を市場に供給するとが日鐵の責任でこれが實現されねば合同の效果はないことになる

撫順油頁岩工業 獨立的に經營か
撫順炭礦當局の意見

【撫順特電四日發】注目裡に着々進められてゐた撫順の頁岩セメント試驗製造はいよいよ百パーセントの效果を保證されるに至つたので近く本格的生產に着手することになつた、この事業の經營形態については滿鐵本社の關係者間にあつては傍系會社を設立して滿鐵の手で經營する意向の模樣であるが、これに對し直接關係を持つ撫順炭礦當局は飽までもこれを滿鐵の事業より切り離し獨立的企業の

形態 によつて經營すべきであるとの意見を固持してゐる、それはこれを滿鐵に於て經營すると鞍山の小野田セメント、吉林の淺野セメント等と競爭的立場に立つた際、それらの會社との關係上非常に不利な關係に追ひこまれる虞があり、また事業の性質として獨立經營に何等無理がないので、これを滿鐵より切り離すべきである民間企業を開發せしめる上からもるといふのである、しかしてこれは成るべく信用し得べき事業家に滿鐵のパテントを貸與し自由な立場において經營せしめるものであるが、この炭礦當局の意向に對して撫順市民は絕對的支持の態度を表明して居り、かうした

事業 の個人的經營は撫順の市況を活潑ならしめるものとして非常に期待をかけてゐる、なほ右につき久保炭礦長は語る

滿鐵本社の人たちは自分達の手によつて折角これまでにしたのだから飽までも滿鐵會社に經營させたいと考へるのは無理もないが、しかしなにしろ鞍山、吉林、撫順の三箇所の生產高は三十萬トンに達するが、現在の滿洲ではとてもそれだけは消費しきれまいと思ふ、さうなると勢ひ競爭となるが、撫順のセメントは滿鐵經營だからといふので他の會社からあまり手を伸ばさないで欲しいといふやうなことを持ちこまれたら

折角 の撫順のオイルセールも充分發展することが出來なくなる、そんな場合これが獨立企業となつてゐれば比較的自由な立場で競爭が出來ると思ふ、この邊のことは良く考へなければいけない、それにかうした事業までいちいち滿鐵の手で經營することはとかく民業壓迫だとかいつて痛くもない腹を探られるからなるべくこの際民間の手にこの經營をゆだねるべきだと思ふ

議會の滿洲問題論戰 (2)
治安工作も一段落 根本方策樹立の時
總動員的機關が必要

一月二十九日衆議院豫算總會において委員加藤久米四郎氏（政友）と關係各大臣との間に行はれた滿洲關係諸問題に關する質問應答

加藤委員 滿洲事件が突發致しましてから、及びその以前から致しまして、我國の對支政策、特に[illegible]政策は、由ずも[illegible]こそでありますが、明治大帝の御意圖と拜承致して居ります、之を國是と致しまして、今日まで滿蒙政策が着々と進行の途上にあることは、私は國家の爲に洵に慶賀する次第と思ふのであります、而して過去を顧みますと、我國は十萬以上の生靈を失ひ、十數億の國帑を費しまして得たる權益であります、之を生命線、國防線といふ嚴然たる而も絕對的な形式において、この主張を貫徹して今日まで參り、而も之を中外に闡明し、國を擧げて今日まで邁進して來たのであります、隨つて私はこの場合我が國軍が今日まで拂はれました、一死以て君國に報ずるといふ其の赫々たる偉勳に對しましては、更めて衷心より深く感謝を致す者であります、同時に軍部以外、直接に人柱となつて此尊い犧牲を拂はれましたことに對しましても、衷心より謝意を表する者であります。

滿洲國の建設、日滿兩國の共存共榮、更に進んで日滿兩國間に於きまする所の經濟的聯繫が確實に效果的に具現することがなかつたならば、我帝國の國運を賭して滿洲國建設に努力致しまして、焦土外交までも敢て辭さないと云ふ固き我國の決心は、水泡に歸することに相成るのであります、幾多の先輩將士の英靈に對しまして朝野の官民、殊に此內閣の諸公は何の顏あつて之に對することが出來ませうかと私は衷心より申上げたいのであります。

又私は質問を進めて行く上に於きまして、其徑路に於て、自ら滿洲に於きまする所の我が軍部の施設計畫に對しまして公平なる論究を試むることがありまするが、是は蓋し已むを得ないのであります、同時に又軍部の指導精神に付きましても、問題の結論を得るが爲めに之に言及することもあります、併しながら飽迄も我が皇軍の名譽を維持し、其目的貫徹の爲には及ばずながら吾々努力致したいと考へて居ることは、申す迄もないのであります、決して軍部の指導精神を非難しましたり、或は軍部が憂へられるやうに、軍民離反を來すやうな言動は、私は特に愼んで申上げぬのであります、又軍部の優越感を攖ふが如き不都合な考へを以て申すのではありませぬ、殊に事の軍機に屬し、或は外交上の機密に關し、國策上思料する點に關しましては、十分に自ら戒心を加へて申上げる積りであります。此事を豫め申上げまして御答辯を要求するのでありますが動ども致しまするさ云ふと、各大臣の御答辯が何か瞞着作業でも爲さるやうに、御警戒に御警戒を爲されまして、海軍大臣の言は れたやうに用心に用心を重ねられますが、さう云ふことのおありにならぬやうに、樂に御答辯願つて間違つたならば間違つたと、速に御取消し下さることを御願申げて置きます。

改めて總理大臣に伺ひますが、滿洲國が建設されましてから、軍事工作は大體一段落を告げ、此儘では平和工作に入ることが出來ないと、陸軍大臣は仰せられたのでありますが、大體治安に關する工作の完成を告げたことは、是はどなたも御異存ない筈でありまして、此秋に滿洲に對する根本方策を御樹てになる必要があると私は考へます、而も恆久的の方策、卽ち國是を一定致しまして軍事、外交、經濟其他の大綱を確立する必要があると私は考へます。

而して對滿國策確立の爲には、現在のやうに之を御樹てになる機關と云ふものがなくして、唯各省が割據致しまして對策を御講じになつて居りましても、何時果つべくもないと思ふのであります から、此際軍部も、或は拓務省も外交の當局者も、政黨も、財界も或は產業省も總動員致しまして、國策を樹立する爲に、或は審議會の如きもの、或は委員會の如きものを設置せられまして、更に私は御願を致すのであります、が此事を陛下に上奏されまして、政變―內閣の更迭がありましても方針の變らない、確乎不動の國策を御樹てになる必要があると私は考へます。

而も其審議會若くは委員會の中に事務局と云ふが如きものを置きまして、現在においては陸軍大臣若くは關東軍、其他軍部の方の意見が、主に對滿政策には有力になつて居りますから、此事を私は止めて吳れと云ふのではありませぬ、其御意見は此機關を通じて之を國策化し、國民總動員の形式において行ふことに致しましたならば、海に申し惡いことでありますが、軍部の專橫と云ふ非難を免れまして本當の軍部の意思が玆に國策として現れ得ると思ふのであります、この事に對しまして總理大臣は國策審議會若くは委員會といふが如き、國論統一の爲に御考へに相成りませぬかどうか伺つて置きます

齋藤首相 御意見は私も少しも違つて居らぬやうに思ふのでありますが、政府においては目下その心持を以て折角審議を進めつゝありますから、その上でなければ斯ういふことを致したならといふことは發表致し兼ねますけれども今加藤君の御質問の御趣旨においては、何等私は別に違つたことはないのであります、左樣御承知を願ひます。

◇故犬養首相は心境の變化、現中島商相は信念の異化。
◇尊氏の亡靈よ、モウ大抵に引つ込むがよい。
◇今さら「滿洲の米作阻止」も氣の利かない話。
◇檢察局面子の懺み、題して「兒玉博士の召喚問題」といふ。
◇はや近き世間の行事。
◇外はア內、鬼はア外、これは春襟はア內、鬼はア外、これは春…
◇外はア聯携、內はア分裂、これは春まだ遠き政黨の懺み。
◇立春や梅の蕾のまだ固し。

ばいかる丸船客

【門司特電四日發】六日入港ばいかる丸の主なる船客諸氏
瀧山野馬（三井合名）杉原武之助（會社員）太田利三郎、榊谷仙次郎（滿洲土建協會長）橫尾石夫、井上孝三、田中吉政

人事

◆江崎重吉氏（大連鐵道事務所長）四日午前九時發の列車にて奉天へ
◆伊澤道雄氏（鐵路總局次長）列車にて奉天へ
◆沼田砲兵少佐　同上
◆築島信司氏（國際專務）四日午前七時四十分着列車にて歸連
◆下津春五郎氏（鐵路總局總務處長）同上來連
◆入江正太郎氏（滿電專務）同上歸連
◆伍堂卓雄氏（昭和製鋼所社長）四日入港うすりい丸で歸滿
◆十河信二氏（滿鐵理事）同上
◆田所耕耘氏（經調副委員長）同上
◆日笠芳太郎氏（滿日囑託）同上
◆阿部重兵衞氏（三井物產支店長）夫人同伴同上
◆前川郁夫氏（三井製藥支店長）
◆[illegible]彦氏（旅順博物館主事）
◆[illegible]和善雄氏（滿洲モータース取締役）同上
◆古澤丈作氏（錢鈔專務）同上
◆陸軍將校滿支視察團一行十八名同上

生活の虹 (34)
菊池寬作　志村立美畫

怪我 (三)

醫者に、處置をして貰つて控室の方へ出て來ると、そこに綾子が心持青ざめた顏をして立つてゐた。

「いかゞでした?」
「何でもありませんよ。心配しないで下さい」
「お痛みになりません?」
「少し痛みますが、たいした事はありませんよ。貴女に心配されると、その方が却てつらいです」

二人は、連れ立つてその部屋を出た。

綾子は、子爵の傷を自分の失策だと思ひ、子爵はそれを自分の責任だと思ひ合ふことに依つて、二人の間柄は、急速度に親くなつてゐた。

怪我が取りもつ緣のやうに、二人は一つの事件の責任を分擔することに依つて、他人でないやうな氣持になつてゐた。
「お仕事に差し支へないでせうか」
「大丈夫です。今日一日位、手を使はないでも大丈夫ですよ」

二人は、二階のエレヴエーターの所へ來た。
「どうぞ、早くお癒りになるやうに」
と、綾子は云つた。
「貴女が、さう云つて下さつた丈て、もう痛みが止まつたやうですよ」
と、子爵はほがらかに笑ひながら云つた。
「では、私これで失禮いたしますわ。お友達に代つて貰つてゐますので……」
さう云つて、綾子は、折から上つて扉が開いた。
「すみませんでした。私、代りますから」
さういつて、綾子は乘り込んだ。そして、子爵に目禮すると、下へ降りて行つた。
（怪我をしてよかつた。何といふ幸運な怪我だらう。この怪我がなかつたら、自分と綾子は、單なる顏見知りの間柄として了つてしまつたどらう。この事件で、少くとも友達にはなれる。これを機會に、もつといろ〳〵な好意を見せることが出來る。少し痛いが、幸運な怪我だつた）

さう思つてゐると、綾子のエレヴエーターは、スル〳〵と上つて來た。
扉を開けて、綾子は笑みこぼれるやうな微笑で、
「お待ち遠さま」
と云つた。

「おほゝゝゝ」
と、綾子は全く安堵したやうに笑つて、
「私、これからほんたうに、氣をつけますから、これにお懲りなく……」
「なに、僕が氣をつけて、貴女に御迷惑かけないやうにしますから、これからも、貴女のエレヴエーターに乘つてもいゝでせう」
「まあ、おほゝ……妾こそ、おねがひしますわ」
そこで、二人は快よく笑み交した。
中央のエレヴエーターが、止まへ行つて降りて來ようとする中央のエレヴエーターの前へ行つた。
「ぢや、僕も貴女のに乘りませう。貴女が下へ行つて來るのを待つてゐませう」
と、子爵は云つた。

減刑及び復權の恩赦令は十一日發令
奏請方針が愈よ確定

【東京特電四日發】皇室の御慶事に伴ふ恩赦奏請方針は大體確定し御裁可を仰いで十一日を以て發令されるが減刑及び復權の二種に分れ二月十一日に刑の確定せるものについて死刑は無期懲役、無期懲役又は禁錮は二十年の有期懲役又は禁錮に、有期の懲役又は禁錮で刑の執行を始めないものは刑期の四分の一を減じ、刑の執行を始めそれが刑期の二分の一以上となつたものは殘りの二分の一を減ずること、皇室に對する罪その他兇惡惡質の特別の罪に對しては減刑せずさいふのであつて、五・一五事件の關係者はいづれも減刑を受け佐鄕屋留雄は無期懲役となる筈

からは何とも云へないのだ

博士の起訴を檢察局に要求せん
高井檢察官けさ赴旅

公判三日目、高井檢察官の補充訊問によつて端なくも兒玉博士が事件の重大な役割を背負つてゐた事が明かとなり、兇行當夜階下において博士が中園から短刀を受取つた事が告白され「博士をかばふ爲に檢察官には嘘を云つてゐた」と供述、これにより法廷は最後に大きな波瀾を見せたが、萬一中園の陳述が事實なれば當然兒玉博士に關する殺人共犯の疑惑がいよ〳〵色濃くなるわけで更に兒玉博士が殺人共犯として認められゝば、當時兒玉博士を起訴猶豫にした檢察局の重大な過失ともなるべく同時に檢察當局の責任問題にまで進展するのではないかと見られ事態は複雜性を帶びて來た、一方檢察當局では中園の最後の陳述が事實とすれば當然その責を免れざる譯で檢察局ではこれが善後策を講じ上司の指示を仰ぐべく四日日曜日にもかゝはらず高井檢察官は池內檢察官同道下田檢察官長を旅順に訪問するところあつた、何ほ事態がこゝまで進展した以上法院側としては當然兒玉博士を喚問すべく、召喚した以上當然、法院は檢察局に兒玉博士の起訴を要求するものと見られるが、その際檢察局が單なる面目問題でこれを拒絕するかまたは起訴要求に應ずるか、こゝもさすこぶる興味をもつて成行注目されてゐる

何とも言へぬ
下田檢察官長談

池內、高井兩檢察官は四日午前十時頃下田檢察官長を旅順に訪問し何事か密議をこらし正午辭去したが右は兒玉博士召喚に關するものでその內容は知る由もないが、右につき折柄大弓場に赴いた下田檢察官長を訪問すれば語る

來た事は來たが何でもない、まだ新年になつてから一度も來なかつたのでその挨拶に來たのだ兒玉博士の召喚については一寸話も出た——しかしその事は今一寸云へない、いゝ繫屬中の事でもあり所謂きわものだから私の口

愛鄕塾被告全部控訴

【東京三日發國通】五・一五事件の被告は服罪するものとみられてゐたが判決が豫想以上に重いので愛鄕塾關係十七名の辯護士會館で協議の結果豫定を變更し全部控訴に決定したよつて被告が獄中より控訴を取下げれば格別だが控訴公判の審理を受ける筈である

西大連體協發會式
けふ氷上競技

西大連體育協會では大連市役所、大連氷上聯盟、本社西部支局後援で四日午前九時から西市場裏スケート場で氷上運動競技會を開いたが出場者は小中學生を首め一般を合せ約五百名で各種競技を行ひ、午後一時閉會後、石川體育協會長岡野大連市助役、森川市會議長の他西大連有志參列の上西大連體育協會の發會式を舉行した

けふ立春初午
風もなく暖氣は續く

けふは立春で初午も重なつた
寢ごころやいづちさもなく
春は來ぬ　蕪村
久しい間のべつ幕なしの三寒ばかりで四溫を忘れられてゐたやうだがこの三、四日來頓に暖氣を催した、戶毎に堅い窓を明け放ちて外氣を樂しみ初午詣りをする家族連やショッピングするカップルも多かつた、然し滿洲の氣候は暦の上の歲時に當箝まらぬ、殊に移ろひ易い冬空だ、如何?にさ若草山に伺ひをたてゝみれば

急に暖くなつたのは大陸高氣壓が揚子江中流域に下り風が西に變つたためですが、この高氣壓は勢力が衰へつゝあるのでまだ二、三日は暖氣が續き風も大したことありますまい

との御託宣である【寫眞は春日町稻荷神社の初午】

少佐以下二十七體の遺骨は四日午前七時大連驛着午前八時三十分より埠頭待合所でしめやかな慰靈祭執行午前十時出帆の香港丸で上野砲兵中尉等送悲しき裏の凱旋をなした

全滿卓球個人選手權大會

滿洲卓球協會主催全滿卓球個人選手權大會は四日午前九時より滿日三階講堂で開かれたが試合は全出場者を四組に分つてリーグ戰式で開始、午前中にはA、D組のみ試合を終了、B、C組は大半を終了したが午後一時三十分までの各組成績左の如し（括弧內の數字は得點）

▲A組　鮫島（九）越山（八）田中（五）柴山（一）第一位鮫島、第二位越山
▲B組　岩崎（一一）河田（一〇）田谷（六）吉丸弟（六）安田（六）那須（三）津田（一）
▲C組　中田（九）井上（六）加藤（三）小川（三）山田（三）金胡（一）
▲D組　丸田（一二）櫻井（九）柯森（六）佐藤（六）津田（三）第一位丸田、第二位櫻井

貨物列車と衝突即死
モーターカー

【新京特電四日發】四日午前三時頃京圖線明月溝驛に於て裝甲モーターカーが構內に進入の際貨物列車に衝突しモーターカーは大音響と共に大破しモーターカー搭乘者五名は即死したが明月溝は新京起點四百十粁のところである

出所した中岡艮一

少女選手力闘活躍し續々、新記錄出づ
瀧孃日本滿洲新記錄

【安東特電四日發】全日本氷上聯盟主催の全日本氷上選手權大會第二日は、四日午前九時より鴨綠江リンクで續行、快晴なれども第一日に比し氣溫低下して零下六度風速四米三〇、殊にバックストレッチにおける向ひ風は選手を苦しめるにも拘らず李聖德、金正淵などは相變らず好記錄を擧げ滿洲選手依然壓迫さる、女子千五百では瀧三七子（奉天）が三分六秒八の驚異的タイムで斷然日本滿洲新記錄を作れば大リンクの周圍を埋める萬餘の大觀衆はどよめき壹岐姉妹（安東）汾陽泰子（奉天）簗瀨暢子（奉天）など續々日本記錄を破り可憐な少女選手の力闘に滿場涙ぐましき感激と興奮にさそはれる、戰績左の如し

男子千五百米

順位	氏名	記錄
第一位	李聖德（關東）	二分三六秒四
第二位	河村泰男（奉天）	二分三七秒一
第三位	金正淵（關東）	二分三七秒二
第四位	木谷德雄（安東）	二分四〇秒
第五位	尹明珠（朝鮮）	
第六位	安達和男（奉天）	二分四〇秒七
第七位	行田和（諏訪）	二分四三秒一
第八位	小池富治（諏訪）	二分四三秒四
第九位	瀰間留十（諏訪）	二分四三秒五
第十位	三代正勝（撫順）	二分四五秒

出場選手二十五名、朝鮮の尹明珠は諏訪の瀰間留十と三組にシートされる、最初より接戰を演ぜしめ第二周目のストレート半ばにて瀰間躓いて倒れ後れる、第一日目の第四位崔龍振は撫順の三代と組んで最初より好調、日本記錄（二分三三秒）に及ばざるも河村の滿洲記錄（二分三八秒）を破り更に第一日の第二位李聖德は安東木谷と第一組に顏を合せ最初より猛烈にせり合つた結果、更に崔龍振の記錄を縮める、奉天河村は同じく奉天安達と十一組に組み好調、崔龍振、李聖德の記錄に及ばざるも自己の保持する滿洲記錄を破る

女子千五百米

順位	氏名	記錄
第一位	瀧三七子（奉天）	三分六秒八（日本滿洲新記錄）
第二位	壹岐修（安東）	三分一四秒（日本新記錄）
第三位	汾陽泰子（奉天）	三分一六秒一（日本新記錄）
第四位	壹岐いさ（安東）	三分一九秒（日本新記錄）
第五位	簗瀨暢子（奉天）	三分一九秒三（日本新記錄）
第六位	木谷妙子（奉天）	三分二五秒四
第七位	岩田みよ子（撫順）	三分二五秒六
第八位	平野きみ子（奉天）	三分二八秒
第九位	木下みつゑ（安東）	三分二九秒五
第十位	四方ゆき子（奉天）	三分三三秒一

奉天汾陽は第四組で安東木谷と組み、最初より好調で、木谷を徐々に離し遂に三分十六秒一の日本新記錄（從來の記錄三分二十一秒）を作り女子五百米の首位、奉天の簗瀨と瀧は第七組に組んで出場、第一周は猛烈な競り合を演じ第二周目より瀧徐々に離してラスト・スパークも鮮かに遂に過般奉天において奉天木谷の作つた三分八秒八の日本最高記錄を更に縮めて三分六秒八の驚異的記錄を作り、また簗瀨も從來の日本記錄を破り期待の奉天木谷は安東壹岐と第八組に出場好記錄を期待されしも第二周目のゴール近くで顚倒して壹岐に敗れる、壹岐の記錄も日本新記錄となる、かくて戰績の結果女子選手權は奉天の瀧三七子が一二二、七七點にて獲得した、順位左の如し

順位	氏名	點
第一位	瀧三七子（奉天）	一二二、七七點
第二位	壹岐修（安東）	一二六、四七點
第三位	簗瀨暢子（奉天）	一二六、九三點
第四位	壹岐いさ（安東）	一二八、四三點
第五位	木谷妙子（奉天）	一三一、〇七點
第六位	岩田みよ子（撫順）	一三一、一三點
第七位	木下みつゑ（安東）	一三一、五〇點
第八位	平野きみ子（奉天）	一三三、五七點
第九位	四方ゆき子（奉天）	一三五、三三點
第十位	渡邊きよ子（奉天）	一三六、八點

滿鐵チーム優勝
對二中アイスホッケー決戰

大連氷上競技聯盟主催、アイスホッケー大連選手權大會優勝戰滿鐵對大連二中は四日午前十時より鏡ケ池リンクに於て開催、熱戰に觀衆を熱狂せしめ大接戰の末三對二にて滿鐵勝ち、昭和九年度の覇權を握る

第一ラウンド…滿鐵優勢を示し盛んにシュートするも二中GK好守して得點に至らず七分中央の混戰を二中後藤取り山之內にパス、シュート成り一點を先取▲十二分小寺中央よりドリブルで拔きシュートして同點となり▲混戰を續ける內にタイム

第二ラウンド…滿鐵直に攻め入り小寺ゴール前の混戰をシュートしてゴール成る▲七分二中後藤のパスを山之內シュートして同點となり▲タイム直前二中ゴール前の混戰を左右田プッシュなりゴール滿鐵一點を勝越す

第三ラウンド…滿鐵二中陣に攻め入り盛んにシュートするもGKの好守に危機を脫し滿鐵優勢裡にタイムアップ

滿鐵 3	1 2 0	1 1 0	2 二中

	滿鐵		二中
FW	田寺浦倉吉垣		內藤稲川
	右小松內有		之山
DF	左（古）		後高西泊
GK	尾		太田

滿洲國を承認せぬ極東大會は何處へ
解體するより途なし

極東オリムピック大會が難關に遭遇することは日本が國際聯盟を脫退した時からの吾々の懸念であつた、ジュネーブでは日本代表が立ち去つた後の委員會で萬國オリムピック大會とデビスカップ戰から

日本

を除名せよとの議案が出た、然しこれはあの際餘り子供らしい問題だからといふので葬られた、然しこれとても馬鹿には出來ない問題である、世界戰爭後ドイツの參加を長らく拒否して居た例もある

……◇……

大日本體育協會では滿洲國體育協會（滿洲體育協會の手を通じて）の依賴によつてロスアンゼルスのオリムピック大會に際し滿洲國參加の運動を試みて成功しなかつた只今でもその運動は續けて居る樣だが實は主義としてはこれとても不徹底極まる話ではある、だが日本運動界のオリムピックに於ける

勢力

は日本が考へて居る樣に強力なものではない、從つて滿洲國の參加不承認の問題でいきなり日本の面目が丸つぶれになるといふことはない、また世界四十何ケ國の加盟團體の承認を得ることもさう速急には行かぬ事情もある、然し主義としては飽くまで滿洲國參加を認めしむ可きである、のみならず萬國オリムピックは必ずしも獨立國家が單位となつて居るのではない、一つの獨立した旗とユニホームを持てる民族は一體と見做すと言ふので英國の場合はアイルランド、カナダ、濠洲、ニユージーランドなどそれ〴〵獨立して

加盟

して居る、近くは比律賓等もさうである、まして獨立を宣して居る滿洲國が參加出來ないと言ふわけは絕對に有り得ない

……◇……

これが萬國オリムピック大會の情勢である、然し極東大會に於ける場合は全然譯が違ふ、日本が自任して居る樣に實力においても盟主の地位にある、水泳は全部の得點を奪ふだらうし、陸上でも五分の四の得點は間違ひない、庭球野球も必勝だし、たゞ籠球排球蹴球が互角か?互角以下にある程度であるその日本が滿洲國を引つ張つてこれに

參加

せしめ樣とした、比律賓はこれを承認したが支那は斷然不承認の投票をなした、極東大會の憲法には斯かる重大問題は日本支那、比律賓の完全な意見の一致を要することゝなつてゐる

……◇……

恐らく支那は不承認と出て來るに違ひないといふ我々の豫想は見事的中した、さうなつた場合日本の執るべき態度は三つある

1、支那を說服して承認せしむ可し
2、支那を除外して大會を遂行する
3、解體せしむる（脫退ではない）

以上肚を決めてから交渉に取りかゝる可きであつた、然るに大日本體協の認識が不十分だつたのか肚がなかつたのか日本の態度はしどろもどろで

支那

の政治家達（運動政治家だけではない）に思ふまゝに飜弄されて居る、マニラに於ける準備委員會に出席する松澤委員が支那側委員の不出席聲明にあつて出發間際にこれを取消すなど全く呆れる外はない

……◇……

聞く處によれば今回から佛領印度支那や、シャムや、インドを招いて東洋在住の西洋人も加へたオープン・ゲームをやることになつて居て、それにさへ滿洲國選手の參加を支那は拒んで居る、これに對して斡旋役の滿洲陸聯、滿洲體協はおろか大日本體育協會は一向にこの問題を

公表

せぬ、日本選手の大部分はこの問題の性質を知らないからこの問題に對しては特に滿洲滿洲體育協會に對して輿論を起さぬ樣にと某氏へ親展秘密文書まで來てゐると傳へられてゐる

……◇……

何といふ醜態か、日本のスポーツマンだつて馬鹿ばかりの集まりではない、少しは骨の硬い人物も居る筈だ、何の必要あつて支那のいひ分ばかり通させるのだ、現在の體協の力では到底支那を脫退させてスポーツの正道に還させることは不可能だらう、また比律賓と相談して不承認を唱へる

支那

を除名して汎東洋大會を決行するだけの勇氣も手腕もあるまい、とした吾々の期する所は極東大會の組織解體と言ふ一手あるのみだ

……◇……

體育協會のこんな良い加減な煩わり政策の裏が解つたらそれでも極東大會に出場すると言ふ馬鹿な選手は居まい、少なくとも滿洲には國庫から六萬圓も補助しようと言ふ支部省も認識不足だ、解つたら金も出せまい、支那の不純なる政治家に操られつゝある極東大會は結局解體するより外に途はない、斯くてこそスポーツの空は晴れた

けさ遺骨凱旋

北滿戰線名譽の戰死者故江本敏武

全大連フイガアー大會成績

大連氷上競技聯盟主催フイガアー選手權大會は四日午前十時より中央公園リンクにおいて擧行されたが成績左の如し

A組　一等東（平均點二六・九）、二等グリゴチリ（同二三・五）、三等千草（同二一・七）
B組　一等前川（平均點二一・七）、二等眞貫田（同九）三等宮本（同八・三）

天氣予報

北西の風晴一時曇（五日）

各地溫度（四日）

地名	午前五時	午前十一時
大連	零下五	零度
旅順	同三	同二
營口	同一一	同二
奉天	同一八	同七
新京	同一六	同一〇
新義州	同一五	同七

新講談

丹下左膳 (7)

林不忘作　小田富彌畫

出る佛に入る鬼

「おうッ！不知火が見える！生れ故郷の不知火が——」

これが最後の言葉、司馬先生はたうとう婿の源三郎に會はずに、呼吸を引き取つてしまつた。庭で左膳と源三郎に劍林を向けてゐた弟子達は、一せいに刀を引いて、われ勝ちに先生の臨終に駈けつける。

急に邸内がざわめいて、明あかと灯が點つたと見る間に、サッと潮のひくやう、圍みの人數が引き上げて行くから、左膳と源三郎、狐につまゝれたごとき顏を見合はせ、

「鳥の子が、巣へ逃げ込みをつた何が何やら、さつぱりわからぬ、うはゝはゝゝ」

その時……。

ツーイと銀砂子の空を流れる、一つ星。

「あ、星が流れる——ウム、さては、こことによると老先生がお故くなりに……し、しまつたッ！」

刀を納めた源三郎へ、左膳は、

「あばよ」と一瞥呉れて、

「星の流れる夜に、又會はうぜ」

一言殘して、そのまゝズイと行つてしまつた。

勝負無し……流石の左膳も、この柳生源三郎に一太刀浴びせるには、もう一段、腕の工夫が必要と見たに相違ない。

このおれと、ほさんど對等に立ち合ふとは、世の中は廣いもの——かれ左膳、ひそかに心中に舌を捲いたのです。

一方、品川の旅宿へ立ち歸つた源三郎は。

これ猿の茶壺は手になくとも、最早一刻の猶豫はならぬと、急遽供を纏めて本鄕の道場へ乘り込んで來た……あられ小紋の裃に、威儀をたゞした正式の婿入り行列。

丁度この日、妻戀坂では、伊賀の暴れン坊を待ち切れずに死んだ司馬十方齋の葬儀。

その威勢大名をしのいだ、不知火流の家元のおさむらひですから……イヤその盛大なこと。

白黒の鯨幕、四旒の生絹、唐櫃胡床、眞榊、四方流れの屋根をかぶせた坐棺の上には、紙製の供命鳥を飾り、棺の周圍には金襴の幕……昔は神佛まぜこぜ、佛式七分に神式三分の樣式なんです。

この日、門前に犇めく群衆に撒き錢をするのが、司馬道場の習慣だつた。當時、江都評判の不知火錢といふのは、これです。

その、山のやうに撒くお捻りのなかに、たつた一つ、道場のお孃樣萩乃の手で、吉事ならば紅筆で、今日のやうな凶事には墨で、御禮と書いた一包みの錢がある。これを拾つた者は、お乞食さんでも樵夫拾ひでも、一人だけ邸内へ許されて、[illegible]に燒香する資格があるのだ。われこそはその萩乃のお墨つきを手に入れて、今日の幸運に與らうと、眼の色變へて押すな押すなの騒ぎだ。

こゝへ馬を乘り入れた源三郎を眼がけて、錢撒き役の峰丹波、三寶ごと殘りのお捻りを投げつけたのだが、偶然源三郎の摑んだ一つが、その、萬人の狙ふ萩乃のお墨つきでありました。

入場切符みたいなもの——招かざる客、伊賀の暴れン坊は、かうしてどんどん燒香の場へ通つてしまつた。

出る佛に入る鬼。

けふ故先生の御出棺の日に、司馬道場、飛んだ白鬼を呼びこんだもので。

「遲ればせながら、婿源三郎、確かに萩乃どのと道場を申し受けました。よつて、これなる父上の御葬儀は、只今より直に喪主として……」

源三郎の立派な挨拶に、室内の一同、聲を失つてゐる。あの戀する植木屋さ、見ずに嫌ひぬいてきた伊賀の若殿とが、同一人であることを知つた萩乃の胸中、その驚きと悦びは、何んなでしたでせうか。

女學生と與太者

松竹蒲田作品　中央映書館上映

「與太者と海水浴」に次ぐ野村浩將監督の蒲田與太者トリオの作品である。池田忠雄の原作脚色で朗かなナンセンスの一手で笑はそうとした意味なく面白かつた傾向から漸く一轉して來た作風を示してゐる。

即ち與太者トリオの阿部、磯野三井が小學時代の恩師北島先生の未亡人（吉川滿子）とその娘和子（水久保澄子）を助けるためにペンキ屋になつて働くといふ概念は子弟美談で、これに絡つて和子が三人の力で通ふ洋裁學校のインチキ振りを暴露し學校のパトロン近藤（坂本武）がギャングのために大金庫に封じこめられたのを救ふまで——阿部だけが與太者トリオの異端者でギャングの手下になつて金庫破りの名人の暗い影を持つてゐる。その金庫破りの妙手を以て近藤の一命を救ふのであるが、過去を清算すべく最後に警官の手に引かれて行く。

この終末も今までの目出度し〳〵と違つたところでありインチキ學校の暴露と言ひ、この最後の扱ひ方と言ひ從來の與太者映畫のツマであつた正義感がこゝでは一層强調されてゐる。この與太者シリーズがまだ續いて製作されるならばこの一篇が一轉期を劃しそうである。勿論シナリオのネタにも行詰つてゐるだらうが、與太者トリオでは相變らず阿部が一番面白く金庫や錠をあける度毎に忍術の手印を切るのはナンセンスものにうつてつけの思ひつきである。

愈よ今夜限り
日活館の名畫「夢みる唇」

名畫『夢みる唇』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上六十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社

名畫『夢みる唇』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上六十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社

榮養
胃腸
わかもと
紫外線浴と同様な抵抗力增强法
受驗期の學生に腦力を增進す
消化不良を防ぐ安全な離乳法
虛弱乳兒の人工榮養法
運動エネルギーの增進と過勞防止
キミ子とタケシ
三百錠入 一圓六十錢
發賣元 東京市芝公園
榮養と育兒の會